LA SEMANTO

種蒔く人

大正十年十二月一日（第三種郵便物認可）
大正十二年二月廿八日（印刷納本）
大正十二年三月一日發行（毎月一日一回發行）

行動と批判

第三年第四巻第十七號

巴里コムミユン

ロシアの子供を救へ

無産婦人號

國際婦人デー紀念

赤列車の客

水平社と婦人

BERKELEY LIBRARY UNIVERSITY OF CALIFORNIA

5861
2144
no.19

◇三月號◇

種蒔き社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

NIA DEKLARO

Iam antaŭe homoj kreis diojn. Sed homoj nun estas ilin mortigintaj. La destino de l'kreitaĵoj estas facile divenebla.

Nuntempe ne sintrovas dioj. Tamen ĉie aliformigaĵoj de dioj estas plenaj. Dioj devas esti mortigataj. Kiuj ilin mortigas, estas ni; kaj kiuj ilin aprobas, estas la malamikoj. Du kampadejoj kontraŭstaras unu la alian. Dum ĉitiu stato daŭradas, homoj estas malamikoj de homoj. Neniam estas inter ili la vojo de kompromiso; tie nur estas „jes" aŭ „ne," „vero" aŭ „malvero."

Vero estas absoluta. Ni do diras pri la Vero, kiun aliuloj ne diras. Homoj estas lupoj kontraŭ homoj. Landoj aŭ rasoj estas en nenia rilato por ili. Sub la lumo de Vero okazas unuiĝo kaj apartiĝo.

[illegible]—kune kun la kamaradoj el la tuta mondo!

La Semanto. (*TANEMAKIŜA*)

種蒔く人三月號目次

(題　言)
プロレタリアと婦人問題……山川菊榮
國際共産婦人デーのこと……岩坂幸子
國際婦人デーのために……井手とし
現代社會と婦人……林てる
女工生活の斷片……浪內やま子
女工と淫賣婦に就いて……細井和喜藏
鐘紡の配當と女工
無産婦人と水平革命……高橋貞樹
露獨革命と婦人の解放……クララ・ツエトキン
兩性問題と社會主義……守田有秋
共産黨と無産婦人……
ロシアの小さき同志を救へ……
巴里コムミユンとその敎へ……青野季吉
純粋なれ、彼等を記憶せよ……小川未明
鑛……海野榮
通俗藝術家出でよ……藤井眞澄

赤列車

宣言と決議……無産者同盟
本營戰と外營戰(季吉)——北昤吉氏の「逸獨國民性」觀(日乃樹)——野村吉哉の詩(亮)——「劇藝術」(孝丸)——稲富喜太夫(小牧)——赤き子供等(小牧)——再び無産兒童教育の獨立(N・M)——內辰閣下へ(啓蒙生)——福士先生の挑戰(弘二)——ロシアの教育(初之輔)

◇世界欄——聾人欄……
◇表紙及びカット……柳瀬正夢
◇火事の夜まで(小説)……今野賢三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

國際婦人デー

フランス大革命の口火を切つたものは、「パンを！　パンを！」と絶叫して、ヴェルサイユ宮殿に押し寄せた無産婦人の大衆であつた。

ロシア革命の序幕を切つて落したものも、實に、無産婦人であつた。一九一七年三月八日！　それは社會黨のきめた『婦人デー』だつた。ペトログラードの無産婦人の大衆は、この日、『パンを！　パンを！』と絶叫して一大示威運動を行つた。その爆發が機會を呼んで、遂に、十一月の無産階級の革命にまで展開したのだ。

されば、革命における婦人の活動を重視し、第三インタナショナルは、この日をもつて、『國際婦人デー』を定め、全世界の無産婦人が一致して、階級意識を呼び起すの日としたのである。爾來、各國の共産黨インタナショナルは、この日をもつて、年々に新たなる無産婦人運動の出發點としてゐる。

わが日本には、今日まで、無産階級婦人運動と名づく可きものはなかつた。しかしそれは、組織ある運動がなかつたといふだけで、無産婦人の偉力は十分に示され、[illegible]

本誌の、『國際婦人デー』を紀念せんとする小さき企てが、やがて起る可き全日本無産婦人運動の一導火ともならば、至幸である。

われわれの姉妹、全日本の無産婦人、團結せよ！

東167819

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

プロレタリアと婦人問題

山川菊榮

□

「元始女性は太陽であつた』といふ叫びの下に、青鞜社同人が婦人の人權を主張して以來、既に十二三年を經過した。歐米の婦人運動が教育及び職業の自由、參政權の要求を以て始まつたに引かへ、日本の場合は、『戀愛の自由』てふ標語によつて代表された傳統的家族制度に對する反抗――家族生活に於ける婦人の個人的自由の要求――が重きをなしてゐたことは特徴的な事實である。これは一面には共等の運動の指導者が有產階級の出身であり、文藝家であつて、社會の經濟的壓迫よりも個人的自由に對する熱望を感ずることが强かつたせいでもあらうが、一面に於ては、日本中流階級の婦人は、政治運動、經濟運動に進む前に、先づ以て封建時代の遺物たる傳統的家族制度の殼を打破ることが、必然の、そして重要な手段であつたことも證明して居ると思はれる。日本に於けるが如き家族制度の束縛は、近代の歐米にはその例がなく、隨つて當時の青鞜社同人の主張した程度の個人的自由は、歐米にあつては當然の事として既に認められてゐた所で、そのために特に戰ふ必要はなかつたのである。家族制度に對する日本婦人の反抗、その個人的自由の要求、奴隷的婦人道德に對

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

する大膽な叛逆は、恰も回敎國の婦人のヴエール廢棄と同じく、婦人の思想的革命全體の基調となつたのである。

婦人の權利の消長が常に財產制度の變遷と相伴ふてゐることは今更いふまでもないが、日本でも長子相續法の確立されるまでは、女子も男子と共に財產相續の權利を有し、隨つて家庭の內部に於て或程度の個人的自由をもつことが出來た。所が鎌倉時代に入ると、不斷の戰爭に備へるために、一家族を一個の軍事的單位と看做し、家長をその首長として、一朝事あるや、家長が家の子郞黨を手足の如くに操縱する便宜上、一切の財產を家長に專屬せしめ、家長にはその一族に對する專制的支配權を與へた。玆に於てか一切の財產は家長たる長男に歸し、他の子女は家長に隷屬し奉仕することによつて扶養を受ける家の子郞黨となり終つた。家族內に於ける女子の地位が全く奴隷化したのもこれより後のことである。長子相續法以後、血統の純淸を期するために、旣婚者と云はず、未婚者と云はず、女子に對しては最も嚴正なる貞潔が强要せられ、武家の寡婦は再婚さへ禁ぜらるゝに至つた。『操は女の生命』といふような標語の下に女子の貞潔を奬勵し始めたのは此時代である。然しかようにして一般婦人から戀愛の自由を奪つた武家時代は、同時にこの『女の生命』と稱せられた操を公開し、賣買する制度を公認し保護して、遊廓を男子の公然たる娛樂及び社會の機關として發達させたといふ、極めて皮肉な矛盾を曝露してゐたのであつた。

鎌倉時代以後の極端な男性中心の家族制度は、婦人から全く個人的自由を奪ひ、意思の自由を奪つてしまつた。かくて婦人は家長の意思と利益の命ずるがまゝに、物品の如く賣買し、授受せられ、結婚は本人の幸福のためでなく、或家族と他の家族との間の單なる便宜上の問題に化してしまつた。

口

明治維新後、資本主義文明とそれに伴ふブルジョア的自由思想の輸入によつて、封建的な婦人の屈從に多少の批評を試みた者もありはしたが、まだ社會全體の經濟的發達が、婦人の生活とその思想とに根本的な變化を與へるまでに達してゐなかつたので、多少の新しい試みは、單に皮相的な歐風の模倣に陷つて、程もなく社會の表面から拂拭されてしまた。か

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の『青鞜』時代以前の男女同權の主張や、參政權の要求は皆なこの類であつた。當時の思想習慣を反映した民法が、男女の權利に著しい差等を附し、女子の男子に對する隷屬的な地位を確立したことに對して、散髪で風を切つて横行した當時の同權論者、所謂女壯士の間から一言半句の抗議も聞かれなかつたことなどは、彼等の自覺の程度をよく現してゐるものである。

明治三十二三年の頃、福澤翁の公にした『新女大學』は純然たるブルジョア的自由主義の立場から封建的家族制度、奴隷的女性道德に對して忌憚なき批評を加へ、家庭に於ける婦人の人權とその自由とを主張したもので、其頃まで現れた兩性論の中では、最も徹底的な、最も大膽なものであつた。

丁度此頃、日清戰爭のあとを受けて資本主義は急激な發展を示し、それと共に婦人の教育及び職業も發展した。高等女學校の制度は次第に普及し、在來官立の高等師範のみに限られてゐた高等教育の機關には、新たに目白の女子大學と女子英學塾とが加へらるゝに至つた。かようにして一般經濟狀態の發展は徐々に婦人の生活と思想とに變化を與へ、個人的自由に對する熱望は漸く高まつて、傳來の家族制度に對する不滿と疑惑とを培かつた。

日露戰爭の促した國民の經濟的及び思想的發達は、更にこの勢を一層急激に進展させた。當時の青年子女に愛誦された與謝野晶子氏の戀愛詩は、實にこの時代の青年男女の憧憬を代表したものであつた。潮のような勢をもつて流入しつゝあつた資本主義文明は、あらゆる方面に於ける傳統の破壞を促した。流行の自然主義は、『現實曝露』『幻影破壞』の標語を以て一世を風靡した。是等の思潮を婦人界に受け入れて、婦人の生活に於ける偶像破壞の急先鋒となつたものが平塚明子氏であつた。

當時の青鞜社同人の思想は、戀愛の自由を基調とする個人主義の主張であり、封建的な家族制度に對する婦人の反抗と人權擁護の第一聲であつた。青鞜社同人の思は、今日に於てこそ既に受容れられて居つて、寧ろ餘りに幼稚な、遠慮深すぎる要求としか思はれぬ位ではあるが、當時の中流階級の婦人の間に於ては、とにかく勇敢な、革命的な、舊思想、舊道德に對する挑戰として、表面に現れたより以上に刺戟を與へたものであつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大戰以來の資本主義的發展は、從來婦人の生活と思想の上に來つゝあつた變化を一層促進し、一層顯著ならしめた。婦人職業の發展は、不完全ながらも或程度の經濟的獨立を可能にし、よつて或程度まで、家族制度の束縛を脫した生活を可能にし、或程度まで、婦人の思想的獨立をも可能にした。曾ては家庭に於ける個人的自由の要求に甘んじてゐたブルジョア婦人が、最近に至つて政治上、法律上の平等を要求するまでに至つたのは、此或程度までの婦人の經濟的、思想的獨立の證左であると見てよからうと思ふ。然し、そうした種類の運動しても、當分まだ婦人の間に大衆的行動の起る樣子がなく、少數の指導者のみの奔走しか見られないのは、まだ一般的に家族制度の束縛を脫し切らぬがためであらう。然し戰前あれほどに熾烈を極めた英國の參政權要求の運動さへ、婦人の中に少數者の支持を受けてゐたにすぎず、大多數は無關心であつたり、反感をさへ抱いて居つたことを思へば、日本の今日の狀態は怪むに足りない。

然も歐米のブルジョア階級の婦人は、各々獨立の財產を有し、大體に於て男子と平等の高等敎育を受けてゐてさへ左樣なのであるから、日本のように、長子相續法の結果、通則として嫁入道具の外に財產をもたず、經濟力に於て知識程度に於て、到底男子の敵でないブルジョア階級の婦人に、戰鬪的な氣力の缺けて居ることは寧ろ當然かも知れない。

□

家族制度は私有財產を中心として發達したものであるから、財產のない中以下の階級では、昔も今もさほどに個人的自由を壓迫するだけの力となつてゐない。そこで無產階級に於ては、ブルジョア階級ほどに不自然な、不平等な男女關係は存在しないが、その代りに階級全體としてブルジョアジーに隷屬し、その搾取に甘んずることを强ゐられてゐる。隨つてこの階級の解放する力は、男女を問はず、一に階級意識に基く一致團結をおいて外にないことは明白である。

所が遺憾なことに、久しい間の傳統の結果として、プロレタリアの間にまでも男女關係に對するブルジョア的偏見が未だに根を張つてゐる。そして階級意識及び階級的團結の問題は、單に男性の間にのみに限られた問題で、女性の關かり知る問題でないが、少くとも女性に對して積極的に宣傳する必要のない問題であるかのように思はれてゐる傾向がある。大戰

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

前まではドイツ及びイタリーを除くの外、何處の國の社會主義運動も、また組合運動も、對婦人の宣傳をあまり重要視してゐなかつた。勿論孰れの國に於ても婦人は一時的に賃銀勞働者の列に加はるにすぎないのではあるが、資本主義の發達につれ、婦人の賃銀勞働者の數が增加すると共に、その從業期間も延長され、既婚の勞働婦人の數が高まつて來た。また直接賃銀勞働に從事せずとも、大多數の婦人はプロレタリア階級の主婦として、階級全體の解放の問題に密接な利害關係をもつてゐる。隨つて彼等を眼前直接の物質的利益に戀々としてゐる大局に無關心な、利己的な小ブルジョア的反動分子たるに留めておくか、又は自分一個、又は自己の家庭のみの利害を離れて、階級全體の利害を考察し、理解し得る、多かれ小かれ戰鬪的な要素とするかは、運動全體の進行の上に重大な關係をもつてゐるのである。婦人の向背が革命の進行に致命的な影響をもつことは、屢々ストライキの場合に證據立てられるが、ロシア革命の經驗は、殊にその顯著な證據を擧げた。玆に於てか第三インターナショナル及び赤色勞働組合インターナショナルは、婦人の組合加入及び政治的自覺のために持に力を注ぐことゝなつた。

日本に於ては、歐米より以上にプロレタリアの主婦の負擔が過重であり、その活動を拘束する事情が多い上に、封建的な男性中心の思想習慣がプロレタリアの間にまで浸潤して居るので、兩性の平等といふ觀念の上に立つ階級意識の振興が容易でない。然し婦人を除外した運動は不具の運動であり、婦人を除外した階級意識——もしそうと云ひ得るならば——は不具の階級意識である。プロレタリア階級の男子は、婦人の宣傳に無關心である限り、自分らの家族であり友人である無產婦人の大衆が、日々曝されて居る多くの危險——過激な勞働や、姙產婦に對する無保護の狀態や、賣淫の陷井や其他——に對して全然無感覺な、階級意識の缺乏した反動分子であると云はれるとに甘んぜばならない。現在の處、婦人の境遇と男子のそれとの間にはかなりの相違があり、兩者の知識程度にもまた距離がある。隨つて婦人に對する宣傳はそれだけ困難であり、特殊の工夫を要するには違ひないが、これを全然放置して、無產階級解放運動の何たるかを知らしめるだけの努力を吝む結果は、當然味方たるべき者を、敵の陣營に追ひやることゝなるのである。日本の無產階級運動はすべての方面に於て幼稚であつたので、今までの所、婦人の問題は閑却されがちであつた。然し徹底した運動は、全ての問題に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ついて明確な綱領をもち、總ての場合に大衆に先じてその赴く所を示さねばならぬ。吾々の運動が婦人問題を閑却することは、やがて運動全體の重大な弱點を残す結果となるに相異ない。プロレタリア階級の婦人を、階級全體の解放運動に引つけることに努めぬ限り、彼等はブルジョア婦人運動に參加を餘儀なくされるに相異ない。彼等を敵とするか味方とするか、これは婦人問題に對する吾々の熱心如何によつて定まるのである。

國際共産婦人デーのこと

岩坂幸子

(一)

一九二一年六月、モスクワで開かれた第二回國際婦人大會に於いて、ブルガリアの同志は、毎年三月八日を以て國際共産婦人デーとするの案を提出した。二十八ケ國の八十二名の代表者は、心からの贊意を表し、滿場一致でこれを可決した。

勿論、既に勞農ロシアでは、三月八日は婦人デーとして毎年記念されてゐたのであつた。今より六年前一九一七年のこの日、長い、無意味な、而も殺戮的戰ひに、疲れ果てたペトログラードの無産階級婦人は、平和と自由とを要求して、決死的一大示威運動を試みた。この勇敢な行爲は、實に彼のロシアに於けるプロレタリヤの革命への導火線となつたのであつた。

なほ、同月五日、革命のためにその全生涯を捧げ、遂に反動革命の犧牲となつてベルリン街頭で兇手に斃れたローザ、ルクザンブルグの誕生日に當るのである。無産階級婦人にとつて名譽あるこの五日より八日を中心とした七日間を、更に

婦人週間とするといふ事は、誠に意味深いことではあるまいか。

世界の共産黨婦人同志は、この得がたい機會を最も有意義に利用すべきである。即ち、無産階級婦人の經濟的、政治的及び社會的地位の向上を計り、全世界の無産階級男子と一致協力して、[redacted]ね。

（二）

第一回の婦人デー、即昨一九二二年の三月八日には、勞農ロシアは勿論のこと、資本主義の國々に於ても、それ〴〵この目的を以て、同志の活躍を見た。中でも獨乙に於ては、最も盛大に、且つ有意義に行はれたその大略を左に記してみやう。

獨逸に於ける婦人週間は、三月八日から同十五日まで行はれた。熱心な婦人の同志は、この記念すべき日の爲に、到るところで忙がしく活動した。

獨逸婦人共産黨の機關雜誌『共産黨婦人』は特別號を發行し、勞働婦人の悲慘な生活狀態、及びそれに對する意見等を掲載した。また、別に小冊子『勞働婦人及少女達へ』を配布してこの婦人週間に於て行はれる各示威運動に、婦人勞働者の參加を大いに勸誘した。この小冊子は、勞働婦人達によつて、大いに歡迎され、或地方の如きは、秩序紊亂を名に、官憲のために沒收されたほどであつた。その他、共産黨に關係ある諸新聞雜誌は、出來るだけの紙面を婦人デー後援のために割き、婦人のために大いに氣焰をあげたのであつた。

また、各地に於ては、會合が催された。それらの席上、演說者は、大體この週間のための標語として、中央委員會で定められた母子の保護及、墮胎禁止法の撤廢等を要求し、無産階級婦人の利益に關する諸問題等について極めて平易に說いたのであつた。これらの集會に於ける最大の收穫は、多數の無産階級婦人が漸次共産黨に引きつけられて來たといふ一事である。即ち、曾ては、どんな政治的會合にも決して出席したことのなかつた婦人達がドン〳〵參會し、無産階級の婦人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は、どうしても、階級闘爭に參加しなければならぬといふ事を自覺するに至つたのであつた。その他、家内工業の盛んな地方に於いても、婦人共產黨の同志の熱心な宣傳は、それらの家內工業に直接從事する婦人達、若しくは、悲慘な境遇にある無產階級の婦人達を、大いに動かし、多數の共產黨加盟者を得たのであつた。しかし、これに反し、都市の多數婦人勞働者を雇傭してゐる大商店内に於いて試みられた宣傳會合等は、あまり芳しい結果を得ることは出來なかつた。

他方、示威運動の樣子をみるに、或地方では町の中央の大廣場を老若男女の群衆で埋め、また或地方では、勞働婦人の一團が、赤旗を先登に高くさして、目的の集合地まで、勇ましい示威行列を見せたところもあつた。中でも、ベルリン、ケーニツヒスベルグ、ハンブルグ、ライプチツヒ、フランクフルト等では、殊に盛大な示威運動が催され、實に男女無產階級の大團結が實現されたのであつた。

以上のやうな樣々な活動の結果として、この婦人週間後、各地に於いて、新しく婦人の研究會、或は種々の名に於ける會合等が、盛に試みられるに至つた。殊に、彼の墮胎禁止法撤廢の運動は、一層の熱心さで行はれるやうになつたのである。

獨逸に於ける婦人デーの有樣は、大體上記のやうであつた。

（三）

さて、來る三月八日は、我國第一回の婦人デーであるべきである。勿論、能ふ限りの力を盡して、男子に於けると同樣無產階級運動の本來の目的に向つて突進すべきで はあるが、我等は、その手段を選ぶに當り大いに考へねばならぬと思ふ。

何といつても日本の女子の社會運動はまだ〳〵幼稚である。勞働組合としても、或は社會主義團體としても、一つとして見るべきものを持たぬ狀態である。我國の無產階級婦人は資本家の奴隷であると等しく、又男子の奴隷である。この狀態の儘でおき乍ら、頭から階級闘爭を說き、[illegible]たゞ不安と反感を増すのみで、全く効果のないこと

となるのであらう。目的をのみ急ぐは賢士の策ではない。ごく卑近なる事物を利用して徐々に、現社會組織の不合理極まるものである事の觀念を明白に與へ、誤まられた資本家の勝手な宣傳、教育の爲めに、心の底深く押しやられてゐる階級的意識をはつきりと力強く、呼び醒すといふ事が、先第一に大切な事であらう。然る後には、團結の必要も、[redacted]自ら覺るにちがひないと信ずるのである。

この意味に於て、來る第一回婦人デーが充分、その効果を擧げ得る事を希望するのである。實に、『[redacted]産階級の自覺といふ事は、[redacted]る』とは味はふべき言だと思ふのである。

國際婦人デーのために

――思ひ出づるまゝ――

井手とし

十一月七日！偶然にもこの私の誕生日と、[redacted]が符號したことは、何んといふ不思議な嬉しいことであらう。

我々プロレタリアの太陽が、長い屈辱の歴史と、資本主義世界の密雲とを破つて、[redacted]

[redacted]私が生れながらにして、[redacted]であつたことが、今にしてうなづかれる。

この尊いわれ／＼のための、[redacted]

[redacted]任の半を、吾々婦人も分たねばならぬことを自覺しなければならぬ。即ち、三月八日の國際婦人デーは、自覺せる世界の無産階級婦人が、心を合せて未だ覺めざる姉妹のために、警笛を吹き、[redacted]積極

的にこれが遂行を助成するために、さうして尚進んで、[illegible]と、創造の勇氣を惹き起すために、その宣傳を行ふ日である。吾々はこの新らしい意義ある日に、同じ惱やみと喜悅を分つ、各組合同志の應援を、廣く得て、熾烈な運動を起したいと思ふ。

(この婦人デーの起因、及びその必要は、去年の前衛四月號に『婦人と無産階級革命』と題して、山川菊榮氏の詳細な記事がある。)

三千万圓の維持費

政府は今議會に、國家産業の衰退を阻止するため、戰時中盛んに火事盗式に私腹を肥やした、機業家、造船家達に、三千万圓を御下賜相成るといふ御腹案だそうである

流石はブルジョア、軍閥政府だけあつて、實に幾十万の失業者を思ひ切り無視した御名案だと唖然たらざるを得ない。資本家の親玉である武藤山治ですら、之れには反對を稱へてゐるといふ。(まさか正心正銘の言葉でもあるまいが所謂現代式資本家振りを一寸發揮してみせてゐる。)

この怪豫算が、八、九分通りは通過するだらうといふ、それは造船界の覇王松方が、政友會と何んとかいふ關係にあるからださうである、こんなことは何にも珍らしいことではないが、[illegible]「チト愼重に願ひたいものである。

多事多端

昨今の新聞で見ると、實際國內、國外を擧げて多事多端である、これが世界を翺翔した大鵬の臨終の翼蔽であらう。

議會の氣息奄々たる時、新興の勞働階級及び農民達は、夜を日についで奮闘しつゝある。

あの從順無智と云はれた農民が、最近頻りと横暴な大地主に向つてその不當を鳴らしては續々と檢束されてゐる。岡山兒島郡の藤田組小作爭議は今後どう展開されてゆくことか、男達の弱腰に對して、せつぱ詰つた女房達の意氣はすさまじい勢である。折角一家族のものが總がゝりで、汗と膏で造りあげた籾を山と積んで一指だに觸れるものは片ぱつしから、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

臭い處へ引き込まれる。農民は襲ひ來る飢餓と戰ひつゝ奮戰してゐる。

藤田組は、

この徹底した地主の慘酷と貪慾が、

レニンの危篤が又も傳へられる時、我が政府から川上公使が入露し、對露政策の上に、何等か爲さんとしてゐる時、例の江連海賊事件の强抗議が落下するといふ始末、日本の外交も長い間味噌ばかり付けてはゐるが、民衆と政府の間に、板挾みの體で華やかなやうでその實餘り好いお役目でもないらしい。

後藤市長は何にを今更ら感ずつてか、方々で拒絶の憂き目に逢つてゐるヨツフエ氏を我國に招待するさうだが、どうか心からの歡待と握手とであつて欲しいものである。

佛蘭西のルール占領、獨逸の憤慨と、罷業の示威で相對峙した持久戰は、各國の注目を惹いてゐる。

ワシントン平和會議も、ベルサイユ條約も、かうした事實の前には、一片の反古同樣である。既成の死んだ誓約書は（ブルジョア對プロレタリアの）

月二十一日）

現代社會と婦人

林てる、

『現代の社會は我々婦人に何を與へて居るか。』これに對する答へこそ、將來の婦人の生活を生み出だす重要な因子であ

る。

現代の婦人の生活が最も好ましいものであり、能ふかぎり幸福なものであるとする現狀讃美論者ならとにかく、又我々は地上の生活に於て何物をも求めない、其處は永久に苦しみの連鎖であり、娑婆であるから只我々は天國をのみ待ち望めば好い、其處には春の如き平和があり、天使の奏でる妙なる音樂があるからと云ふ樣なユトピアンならとにかく、正直に眞劍にこそ現實を直視し現實に生きやうとするものにとつては、この現在の社會生活が私達婦人に、生活の歡喜や幸福を與へて居ないばかりでなく、却つて多くのものを奪ひとつて居ると云ふ事は餘りに明白な事實である。それなら我々は何を與へられ何を奪はれて居るか。それには現在私達の姉妹は一體どんな生活をして居るかを窺うならば、その答へを得るのは決して難かしい事ではない。

まず第一に私達の目に映ずるのは一般の勞働婦人の生活である。彼女達の生活がどんなに悲慘を極めて居るかはその體驗をなめつゝある彼女達のみが知り、味ふ事の出來る苦い涙ではあるが、不幸にしてさう云ふ經驗を持つ事の出來なかつた私も、狹い見聞を辿つて彼女達の生活を知る機會は許されて居た。

かつて東京に在つた時、よく學校への往來に煙草專賣局の女工に會つた、そんな事によつて知り得る彼女達の樣にはほんの一部分にしか過ぎないであらうが、當時の私の心には深い印象を殘さずには措かなかつた。彼女達が一日の勞働を終えて歸るのは、いつも寄宿舍の消燈のベルがなるのに近かつたし、朝は冬などいつも薄ぐらい中から凍りついた道を歩く下駄の音を耳にするのが常だつた。過勞と貧困とに疲れはてゝ元氣のない中年女や何かしら淫らな話しを大聲にしあつてゆく年若い女や、嬰兒を背負つて乳をのませに通ふ憐れな老婆の姿などを私は暗い心でいつも眺めて居た。

こうした女工の生活は都會のみではない、より悲慘なのは、世人の監視から遠く離れた山奧の製絲工場の寄宿舍と云ふよりは、寧ろ牢獄と云ふ方が相應しい樣な所に押しこめられて居る多くの姉妹達の生活であり、又日の目を見ずに暗い坑內にカンテラ一つ便りにして終日地下の勞働に從事して居る女坑夫達の生活である。

さう云ふ所で若い生命が踏みにじられ、健康は奪はれてゆく。彼女達の血一液もあまさず搾りとり果ては骨までしやぶ

づて放り出すのが今の資本家や工場主なのである。病氣にでもなつて出るより他彼女達は其處から逃れられない。やつと逃れた所で彼女達の運命は極まつて居る。只死への一途が殘されて居るばかりである。この樣な巧妙な殺戮が私達姉妹の生命を日夜奪つて居るのである。然も我國工場法適用工場のみでも實に八十四五万の婦人はこの樣な危險に瞭されて働きつゝある。

これ等の勞働婦人にも增して悲慘なのは公娼及私娼の生活であらう。公娼は現在其數五万に及んで居る、私娼に至つては確かな數は知る事が出來ないが、驚くべき數に上るべき事は想像に難くない。週期的に襲ふ不景氣に、生活を支えるだけの收入がないため、又は失業した時婦人に殘された唯一のものをひさいでなりと露命をつなぐ事を餘儀なくされるのは不思議ではない。賣淫の外彼女達の取るべき道は許されないのだから。

一月の某誌に載せられた一娼妓の告白の如きは彼女達の生活を最もよく語るものである。父母にだまされて五百圓そこ〳〵の金で純潔な身を賣られ、每日何人ともなく、多い時は十何人かの客にまで接しなければならない。それで居ながら普通一人の客が張場へ拂ふ金は最も少なくて五圓ぐらいであるがその中で彼女が受けるものは常に十四五錢のみである、三年間に六千人の御客を迎へるほどの稼ぎ振りをして、而も殘つたものは、すり減らされて肉體と、たゞれた心と、世の侮蔑と、二千圓の樓主に對する借金とである。實際この樣な人が一度苦海へ身を沈めた以上一生その奴隷狀態を脫する事は、事實上が可能な仕組に出來あがつて居るのである。幸ひ足を洗ふ事が出來ても『娼妓』であつた故をもつて終生鞭たれねばならぬ。

以上は現代社會にあつて虐げられ、傷けられて居る私達姉妹の生活の一面である。現代社會は婦人に取つて（一般勞働者に取つてもさうである故に）極めてむごたらしい仕打ちに出でつゝある。

人類の歷史が始まつて以來、かつて他人を虐げる事も知らず默々として働き續けて來た私達婦人が、現代の所謂『文明』から受けとる分前は、たゞか樣に慘めな隷屬と慘酷な壓制とに過ぎないと云ふ事は、決して人類にとつて幸福な事ではない。然もこれは單なる歷史上の偶然の氣紛れの出來事ではないから、私達はその由來するところも深く考へ、婦人自らの

力によつて呪ふべきものは棄て、望むところのものは奪ひ返すべく必然なる歴史の進行と歩みを共にして最後まで戰ひつづけねばならぬ。

『財産は神聖にして侵すべからず』と云ふフランス革命のモットーによつて初めて決定的に云ひ表はされた現代の社會組織――所有權を基礎として造られた現在社會は持てるものにのみのもたらす所多く、持たざるものは吝さかなるのが常である。花の如く裝つた男女が華麗な溫室の如き宴會場に、窓外の木枯の聲さへ耳に入らず躍り狂ふ一方には、寒空に腰をちゞめて群れ歩く無數の『浮浪人』『宿なし』『乞食』をばその最後の住家たる橋の袂から追ひ拂ひ、薄粥の一滴をも奪ひさると云ふ現代の文明――是れ實に私達婦人を勞働市場に驅りたて、妓樓に送り込むところの條件をなすものであることは今更くだ〳〵しく述べるまでもない。[redacted]

この黑雲の如く捲き起りつゝ一般無產階級の運動、それを離れて婦人が隷屬と迫害と搾取とから解放され得るものでない。何となれば婦人運動は資本主義文明への[redacted]この一般無產階級の運動と本質上極めて多くの利害を共通にして居るからである。否『資本主義の彼方へ！』の運動を外にして現代の私達は一歩も動きがとれないからである。從つて私はかの現代文明に對する[redacted]しての無產階級運動の中に婦人のかん高い鋭い叫び聲も又さわやかな諧音として參加せん事を婦人解放の當然の經路と信じ且切望するものである。

現代社會に於て虐げられたるものとして現代文明への凡ゆる[redacted]婦人は同じ側に立つものである。そして、長い人類史の下に隷屬の運命のみ荷はせられたものとして、婦人はその個性の主張を將來如何に展開して行くべきか、それは現代文明配滅の後に於て、更に婦人自らの中に提起さるべき重要なる問題であるが、現在、この現實の上に立つ我々婦人は只現代に向つて[redacted]ない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女工生活の斷片

涙内やま子

一

俺達の行く處には、屹度生活難がある。俺達は常に犬や猫よりも、もつと以下な生活と兄弟なんだ。

生きんが爲めに食ふ。食ふが爲めに働く。働いても働いても貧乏の神がはなれない。まして勉强などゝいふ事は、俺達勞働階級には夢にもみられない。

かつて妾は勉强の出來るやうに、勞働時間の短い仕事を見出さうと思つたけれども、これぞと滿足される職業が浮んで來なかつた。

どうせ女工より他に手職がないんだから、煙草專賣局へでも、傭はれてみやうかと思つた。一體妾を傭つて呉れるだらうか。もし傭はなければ、いやでも女中をしなければならない。

併し「女中は落第だねえ」と先輩の一人が言つたのを思ひ出した時、さうだ！ 俺には飯をたく事も、洗濯も、着物を縫ふ事も、子供を守りする事も、主人公の機嫌をとる事も知らない。女中なんか出來るものか、立派に落第な筈だ。

二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

妾は世の中に出てからすぐ貧乏の神にとつつかれて、やつとのこと露命を續けながら、小學校六年を型の如く終つて、其の秋にすぐ紡績會社へ金拾圓也で買はれたんだ。

そしてうら若い娘ざかりも、あの鬼奴に搾られ食はれ、心は荒れ果て、無智と窮乏とが惠まれ、人間として生きるが爲めに必要な一切は奪はれて、四指五體は堅い鐵の鎖で縛りつけられて、とう／＼賃銀奴隷といふ、社會のドン底の然も其下積みにまで、つき落されてしまつたのだ。

こんな具合に俺の身の上を考へてみると生きて居たくもない。だけど此れが俺一人じやない。然もこれから行かうとして居る局の中の姉妹全部まで、同じ道を辿つて來たのだ。さうだ。命をつなぐ爲めには仕方ない。鬼奴の前にでも頭をさげやう。斯うした覺悟はしてゐたものゝ、もし万が一、體が惡るいから傭はないと斷られたならどうしやう。さぜ政府の工場だもの、民間の工場とは違つて健康診斷も嚴びしいだらう。

三

いざ健康診斷がパスしたにもせよ。去年まで居た會社なんぞは、每朝着更へて出る着物も、少し働く間に水を流したやうになつて、其の上に細かな綿が飛んで來る。殊に顏や體のアセボに汗が流れる時の氣持の惡さは、全く口にも筆にも表はす事が出來ない。

併し其の時は人間が生きて行く爲めには――食ふが爲めには斯うして働くのが當然なのであらうと、諦めた事もないではなかつたが、體が衰弱しきつた時、自分の行く末を考へた時、人間としての立場から、婦人の立場から諦めて居る事の誤謬であつた事が、ハッキリ悟れた。――食ふと言ふ事の爲めにこんな生活に這入つてゐるのは、俺一人ぢやない。事實局の女工のみではない、全國六十万の女工の僞らざる赤裸々な姿なんだ。

四

こんな事を續けざまに考へながら、高く積み上げられた煉瓦と煉瓦との間を通つて、局の門へ這入つた。

「濟みませんが、面會させて下さい」

「あゝお前、局へ這入るのか、世話人が誰かあるか」

「えゝ今局で働いて居るAさんに會ひたいんです」

「さうか。ではあの階段を登つて行つて聞け」と敎はつた通り行くと、すぐAさんを呼んで吳れた。

身丈の高い、肩のとがつた、目の窪んだ、顏色の惡い、一寸見ても女工生活の幾年かゞ續けられた事がはつきりわかる。

力なげなしわがれ聲で

「Tさんですか、待つて居ました。すぐに醫務室へ行きませう」

と言はれるまゝに附いて行つた。

箱が山のやうに積み上げられてある薄暗い中を通り、今にも空が曇つた夕立でも降るやうな、ゴウ〳〵となる機械の中を通つて醫務室へかけこんだ。

五

部屋には看護婦が一人ゐた。一體どんな醫者が來るかしらん。體が惡いと言はれたならどうしやう。と不安な氣持で腰を掛けてゐた。

やがて看護婦が着更の白い單衣を持つて來た。そして體重と胸の幅と眼とを見た切り、

「これで宜いから明朝から出勤して居らつしやい。」

と申し渡された時「何んと粗末な診斷なんだらう」と、前の想像を裏切つた其の第一聲が叫ばれた。

それと共に今まで尊敬を拂つて居た□　傭はれるやうになつた事は嬉しい

が、資本家共の金儲けをいやが上にも大きくするが爲めに、出來るだけ安い〳〵賃銀で體が惡るくなつて働けなくなる迄、酷使しやうとする惡どい根性に對しては、飽く迄でも抵抗し叛逆せずには居られない。

六

前に勤めた民間工場より以上に病院の設備、衛生の設備の一切が完全に出來て居る事と思つた、その想像がハツキリ裏切られて終つたのだ。

こんな大きな專賣局に醫者の一人も置かない當局は、女工には醫者はいらぬもの、急病の場合は死んでしまへと言つてゐるのも同然だ。斯うなつては、いや、資本家制度の下には、犬猫同然どころかそれより以下なんだ。

それから一時間餘り、Aさんに明朝から働く仕事場を案內された。そしてゴウ〳〵とうなる機械と機械との間に立つていろんな注意をきかされた。

頭には砂の樣に煙草の刻みが、小さく切れて飛んで積もる。鼻と口にも這入つてセキが、とめどもなく續けざまに出た。

妾はこんな事をまともにみせつけられて、もつと樂な仕事場に更へて貰はふと思つた。だけど賃銀が三分の一も安いので致方なく此所に働く事に決心したが、ほんとうに深い底谷か、さもなければ暗い闇夜へ引き出されるやうな感じがした。そして俺達女工の末路を殊更考させられて悲しかつた。

これは妾が工場生活のほんの斷片の一章にすぎません。たゞ考へが先きへ廻つて馴れない筆が思ふ樣に運ばれないのが殘念です。

女工と淫賣婦に就いて

細井和喜藏

◇

今日の社會では、何でも彼でも厚ケ間敷く八ケ間敷く出ないと損だ。お上品ぶると云ふ譯ではなくても、音無しく默つて控へ目にしてゐた者はお仕舞にど偉い馬鹿を見なければならない。紡績を始め數多の女工がそれである。殊に紡績女工はさうだ。

社會、勞働、人道問題として纖維工業勞働者も最も其の風土に、中心に置いて考へられねばならぬ凡ての條件を具備してゐる。數に於いて、勞働條件に於いて、眞つ先に片付けなきやならぬ性質を有つてゐる。換言すれば資本主義の爛熟まさに其の極に在る。其れ丈け此の勞働者は非道い目にあはされてゐるのだが、發言をしなかつた故に今日まで餘りに之れが存在を輕く見られてゐた。

尤も其んな非道い虐待を受けて居り乍ら默つて堪へ忍び、苦みを兄弟にも打ち明けなかつたと云ふのは如何にも意氣地なく女工自身が惡い。併し合手は高がちつちやな子供や弱いと云ふ女子ではないか、默つてゐたからとて放つて置くのは第一兄弟としての僕達も餘りにエゴイスト過ぎると云はれやしないか？お互にこれからは厄介でも少しづゝ面到を見てやらうよ。

◇

「女工が最と美しいと、彼女達が默つてゐても到底はたが放任しては置かないのだがなあ」と僕は何時も思ふ。

近頃は頓と話しも聞かないがウエイトレス・ユニオンのことだ。表面どんな形ちを執つて現はれたか知らんが、僕は女給の中に組合を作る程階級意識に目醒めた立派な女子が居つて出來たものとは考へられない。其の裏面には必ず男子がゐて、色々な甘い酸つぱい力瘤が定めし多分に這入つたゞらう？

女工組合が出來ずに、女給組合が出來たとは全く文字通りお魂氣た變則だ。

だが白粉と香水と珈琲とバクとソオスと肉と洋酒の匂ひが渾然として漂ふ中で、西洋式運動によつて解放された彼女のことでも考へ乍らチビチビやつてゐると、全く華やかな氣分になるから――。上から下まで眞つ黒な棉塵だらけの着物に麻裏草履でもはいて、白粉もつけずに年中汗ばかりかいてゐる豚のやうな女子のことよりか、どうしても先きになるのは當然だ。

女工は美しくないが故に、誰も取り合手がないのだ。「おい全國の女工さん！　君達は親に金を送つたり貯金したりすることは廢めにして、ありたけの勘定は皆なお飾しに使ふがいゝ。さうしないと本當に大損をするよ。」

◇

誰やらの本に女郎の前職業を調べたら女工をやつてゐた者が四十％ゐたと出て居つたが、公私を問はず少し垢拔けのした女子は女工なんかして居るより淫賣をやつた方がどれ丈け幸福か知れないとつくづく思はせられる。また實際さうだからこそ、公娼の前職が大半までも女工なのであらう。

僕は大阪にゐた時分Ｍ・Ｋと云ふ友と二人で、松島高砂町のＫ樓と云ふ抱妓（こども）の七人ゐる家へセツセと通つたものだ。處が偶然とは云ひ條その中五人まで女工だつた。僕が馴染の若千代は近藤紡績に、Ｍの馴染は天滿に、他の三人は泉尾、和歌山、西の宮の女工であつて、よく工場の昔を語つたものだ。

銘酒屋でも四人許し女工出身者に出會した。女工は何處までも僕の運命について廻はる。

淫賣婦は兎に角にも物質文明の享樂を可成り多分に受けてゐる。自由が無さそうにも見へる公娼でも美の享樂は自由で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

殿堂に昇つてゐるではないか！ 増して比較的自由なよく流行る銘酒屋女子などは、實に仕合はせなものだ。だから女工が其んな生活に憧がれるのは當り前である。塵埃生活から脱却して、同じ程度の外部的自由はある賣淫生活に入り、内部的自由を得に行くのは最も賢い女工の執るべき道だ。ゾロリとした長襦袢を着て毛斯綸の蒲團に寢ることが、物質に虐げられた彼女には最大の幸福なのである。物質に渴へた者には先づ物質が何よりも貴いから。

「女工さん！ 惡いとか善いとか云ふ棺桶の中へ片足突つ込んだ老人の寢言は聞かなくてもいゝ、自分で憧がれたことは實現させるに喜びがある。暗い工場から逃れて、早く明るい灯の點つた街へ行くことだ。」

鐘紡の配當と女工

大正九年來の不況續きに、鐘紡は何處でどうするものか七割といふ法外な配當をして、可成世間から喧しく云はれてゐたが又もこの一月二十二日の株主總會に於いて武藤御大は七割維持の凄い腕を見せて株主連をよろこばせてゐる。しかし支那の戰後に於ける急激な綿業の發達增錘と一般消費の減退と生產過剩などの脅威に今我國の綿業界は陷りつゝあることを說き最後に女工の深夜作業の廢止の致命的（それは配當の減少を招くから）大問題を提へてゐることを警告してゐる。時間は短縮されても給料は矢張り從前通りに支拂はねば、煙草專賣局や、燐寸工場其他の工場から女工を、奪はれる恐れがあるからであると。

吾々には此後の鐘紡の態度に今少し注意を拂はなくてはなるまい。（二十三日）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

無産婦人と水平革命

高橋貞樹

本篇は前號の水平運動號のために執筆して頂いたのですが、締切に間に合はなかつたので、止なく本號に廻したのです。もとの題は「吾等の反逆と水平革命」ですが、本號が無産婦人號である關係上、筆者に無斷で題を變へました。筆者にお詫びします。(編輯者)

一

近代のブルジョア社會は前代の凡ゆる因習と慣性を打破した。極端な個人主義が唱へらて、私有財産の制が確立した。しかし、それと同時にブルジョアの社會は自己に有利な一切の社會制度、習慣を壞つことはしなかつた。唯だしなかつたのみならず、これを助長もし、支持もした。吾が國のブルジョア階級は、早くから當初の革命的氣分を忘れ、舊貴族のそれの如き有樣となつたため、殊にその現象が甚しかつた。

徳川時代の因習で破壞し去られたものは少い。或は其儘で、或は變形して殘存して居る。古い封建的鎖國的な風と、若い時代的ブルジョアの風とは、國家の政策の上にも、社會組織にも、私的生活にも隨所にこれを見出し得る。この二元主義は近代日本の明白なる二潮流であつて、早老せる日本のブルジョアジーはやゝもすれば封建的となり貴族的と爲る傾向を持つ。

近代の日本は其の外殼には近代的な眞に資本主義的な種々の要素を含んで居るにも拘らず、內部には依然たる徳川時代的要素を保有して居る。資本階級の政商主義、家長的專制と、これに屬する民衆の無氣力、無自覺とは最も著しい傾向で

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ある。厳峻なケースト制度にも似る階級制度は、今も厳として存在して居る。

吾が特殊部落の制は、かゝる不合理極まる制度より生れ、それに依つて支持さるゝものである。北海道と沖縄とを除く内地全土に、約三百万人の兄弟が住んで居る。人口の増殖は激しく、職業は得られずに飢えて居る。一般社會は吾等に對して通婚を許さぬ。同居も同火をも拒む。村々、町々の片隅に小さくなつて、密集的生活を營み、穢多よ非人よと嘲られるのが吾等の生活である。職業の自由は全くない。たゞ祖先傳來の皮造りと屠畜と下駄直しに從事する外はない。社會はあまりに吾々に對して冷い。特殊部落民の生活は遠く古代の奴隷と異らぬ。例へ都會へ入るも常に戰々兢々として身分を隱すことにこれ務めねばならぬ。産を積むこと、これに忌ふべき資本主義的慾望ではあらう、しかも特殊部落民の出身であるが爲に、これを拒まれ、業半ばに崩れたものがどんなに多いであらう。

通婚の拒否、それは吾が部落民に對して永遠に一般社會が侮蔑を與へ、社會的地位の向上を排せんとするものである。部落の出身であるが故に、結婚を拒絶されたものがどの位あるであらうか。其の爲に離婚され、其の爲に狂し、其の爲に死んだものが、どんなに多くあるであらうか。部落解放の一策として普通民との結婚を奬める人は、普通民で誰一人部落民との結婚を肯ずるものがないことを知つたならば、何と答へる積りであらうか。

吾等の心理狀態は一般社會とは全く孤立して居る。環境は吾等の心を暗鬱におしつけるのである。反逆の心は燃るが、組織的能力は極めて少なかつた。經濟的に活動することも出來ぬ結果は、劣等な經濟生活となり、不潔となるのである。

吾等を賤しみ、蔑む觀念は、何等價値のない歴史的傳統である。しかも一般社會には牢乎として部落賤視の風が拔けぬ恥づることのない獸的侮蔑を吾等に加へて居る。それは暗々の裡に極めて强い力を以つて吾等に迫り、ともすれば吾等をして現實生活に嫌惡を感ぜしめ、また吾等の心を狂する迄に憤らせる。穢多の名、穢多の稱、これが如何に吾等に對して致命的な侮辱であるかは、部落民でなければ理解することが出來ぬ。あらゆる不合理なる差別事件に面して、眞に涙もてこれを悲しみ、涙もてこれを憤り得る者は吾等部落民より他にない。

穢多の名、穢多の稱、これは部落民を社會生活から沒しようとする挑戰狀に他ならぬ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二

特殊部落の地位を正當に理解せんとする者は、發生の起源と歷史とを知らねばならぬ。特殊部落は明白に古代の奴隷制度の遺物である。

吾等の歷史は常に强權の白刃に脅かさるゝ弱者の歷史である。古代に在つて穢多と云ふ階級があつたのではない。古代奴隷の多くが穢多と云ふ社會群が形成さるゝに至つたのである。

國家の起源は征服である。異群と異群との接觸の結果、激烈な鬪爭が行はれ、一方の鏖殺、後には一方の奴隷化を生ずる。戰敗して奴隷化したものは、全く搾取群の財產である。奴隷は唯々諾々として支配階級の命に從ふ哀れむべき被搾取群である。

古代日本の奴隷には三種ある。部曲と、奴婢と、雜戶とである。部曲は民族財產であり、奴婢は家族奴隷であり、雜戶は工業奴隷である。この雜戶のうちには後世賤められた皮造りもあつた。大化改新の頃から法律上にも明白に賤民が存在し奴隷群の數も增し地位も惡化した。當時、天子の山陵を守る陵戶といふ奴隷もあつた。其の他、山人、うかれびと、傀儡子等と呼ばれた浮浪の徒があつたが、これも後代の賤民の起源たるものである。

穢多が明白な階級的存在を有するに至つたのは鎌倉時代であつて、穢多の字が當時既に存在して居る。穢多とはヱタの發音の宛字である。本來、ヱタは餌取の轉訛だと云はれて居る。穢多が賤しまれるやうになつたのは、古代人の誤解に基づく。原始人は血を忌む。また動物の死肉を忌み、死骸を忌み、墓地を忌む。從つてこれ等を扱ふ職業は不淨とされ、死肉の處分、製革、陵番、助產等は奴隷に課せられた。後にはかゝる職業に從事するものは良民と雖も、賤視されるに至つた。殊に賤民賤視の思想を煽動したのは佛敎である。常に口を極めて賤民を罵つたのである。

穢多の起源は職業的に言へば屠者と皮細工人と河原者とであり、これに從事させられた社會群が、社會組織の進化と共に、一の特殊階級を形造るに至つた。犯罪、負債、逃走等の原因により部落に落ちて來たものも少くない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

徳川時代に至つて、穢多の地位は更に悪くなつた。極端な壓制政策と峻嚴な階級制度とが此の時代の特徴であつた。世は暗黒であり、民衆のための榮ある時代を豫見せしむる一個の星すらもなかつた。社會的理想は頽廢し去り、利己的な消極的政策が全社會を縛つて居た。士農工商の四階級別があつたが、穢多は人間なみにされず、畜生扱ひにされて居た。穢多に對する苛酷な取締りは時代の移ると共に益々甚しくなつた。通婚、同居、同火の拒否はこの頃絶對に社會の一風習となつた。普通民と區別をするため、頭髪は二重元結とし、笠かぶりものは禁ぜられた。夜は城下に入るを禁ぜられた他の門を入るときは、犬の出入する潜り穴からさせられた。

生類憐みの令は出ても、穢多を生かす法令は出なかつた。一言逆へば、『穢多の分際に』といふので、斬り捨て、打ち首となつたのである。經濟的にも少なからず壓迫されて、『穢多のくせに掛け引とは生意氣だ』と云はれては、貧困を強いられて居た。刑罰なども、穢多に對しては特に重く、喧嘩兩成敗のならはしなぞは通用せずに、穢多だけが罰せられたことは少くない。

徳川の太平の世になつてからは、武具馬具等の需要が少くない、部落が經濟的に益々窮迫した。部落の人口増殖は普通民に數倍する。かくて人口増殖のために、限定された職業範圍を多數で競爭すると云ふ結果となる。因は果となり、果は因となり、貧乏は募るばかりである。しかも他の職業は奪はれて居る。餘儀なく、貧しい密集的生活を強いられるのである。

部落民の反抗は徳川時代に既にある。極度に虐げられ壓迫されたものはいつかは起つ。恨を呑んで泣き寝入りとなることが分つて居つても止むを得ぬ。死を決しての反亂がしば〳〵あつた。武州成瀬村の成瀬騒動の如き其の有名なるものである。かくて部落民は内に無限の恨を抱いて、頽廢した徳川時代から、明治の革命に移つて行つた。

三

明治の革命は行はれた。しかしそれは民衆にとつて何もならないものであつた。特殊部落に對しては、明治四年の八月

有名な解放令が出た。全國の部落民は喜んだ。しかも喜びは束の間、それは全く一つの空文に過ぎなかつた。部落賤視の思想は一片のお有難い法令によつては除かれぬ。新平民、特殊部落、後進部落、密集部落、細民部落、少數同胞等の種々な名稱を以つて今も部落は存在し、今も侮蔑され、今も迫害されて居る。

同情的差別撤廢運動、改善運動は起つた。成る程、トラホームは少くなつた。少しは清潔になつた。しかも普通民の間には部落賤視の觀念は除かれては居らぬ。小學校に於て、軍隊に於て、其の他凡ゆる所に差別の事實がある。部落の出身であるため、或は狂ひ、或は死んだ兄弟姉妹は數限りない。德川時代に絶對專制に屈した無智な人民の、部落民に對する侮蔑嘲弄は今も其の儘に存在して居る。印度のケースト制度は、其の儘日本に存在して居る。

改善運動は吾々に解放を與へぬ。それは部落の存在も認め、其の上に部落を改善せんとするものである。吾等を救はんとした從來の運動は、其の根本を誤つて居たため悉く失敗した。一千年來、迫害された吾々は明治の革命にも報はれるところはなかつた。卑屈とあきらめとを强いられて來た。晴らさんとしてなし得なかつたこの恨み、[illegible]る。慘酷なる階級制度に禍され、人間の權利をはがれ、畜生扱ひにされた吾々には、[illegible]る。

かつてあつた反逆は悉く、一時的或は個人的のものである。個人的反逆は少くない。『うぬ！　この恨みは』と云ふ叫びに端を發する個人的反逆は、部落民を强制的に或る方法へ向はせた。伊勢の五寸釘寅吉、河内の北海熊等は、其の部落出身なるが故に、遂に大罪を犯し兇賊となるに至つたものである。

小さな差別事件から起り、勢が擴がり擴がつて、一揆となり暴動となり叛亂となつたのもある。部落の騷擾と云はれるのも多くこれである。また生活の窮迫のため、暴動を起し、また他の暴動に參加した場合もある。先年の米騷動の如き、其の最なるものとする。

米騷動は全く民衆が生活そのものに脅かされて遂に騷擾を起すに至つたのである。部落民は實に卑屈になれて居た。全日本を四十四日間あの恐怖に陷れた騷動は部落民を脅す飢えの力が起したものである。米騷動に加はつたものが各々處罰

されたとき、極刑に處せられた三人のものは部落の出身であつたと云ふ。

吾々は殊更に叛亂を好まぬ。暴動を好まぬ。しかもこれを吾々に敢てせしむるのは飢えである。部落民は飢えて居る。經濟の自由は奪はれ、劣惡な生活を餘儀なくされて居る。しかも、社會的には迫害と侮蔑の絶え間がない。

水平社の運動は、部落民自身の行動によつて、これ等の奪はれた權利を奪還せんとするものである。今や全國に燎原の火の如く擴がる水平運動は、この目的を以つて進み行くものである。一切の同情を斥けて、自らの解放を圖るものである三百万の同胞は立つて、『よき日』の創造に向ふ。一千年の間、虐げられた人間が今立つて、『俺も人間だ！』と叫ぶ。これが吾等の運動である。

四

部落民の心理は一般社會と隔絶して居る。同じく被搾取者であり無産階級であり乍ら、一般無産階級との連帶感情はない。また從つて今の所は連帶の運動もない。古來の傳統は今も、兩者の結合を妨げて居るのである。

部落民は經濟的には全く無產階級である。猶太人の如く、經濟的に優勝すると云ふやうなことはなかつた。大多數の部落民は孤立無援の密集生活を營んで居る。被搾取者である點では、一般無産階級と全く變りがない。部落の人口增殖率も普通民のそれより遙かに高い。『貧乏人の子澤山』は當然の勢ひである。

部落の生產方法が手工業の範圍を脫せぬものであることも、經濟的に敗者たらしめた一因である。近年に至つて製革業の如きは、近代的な大規模生產でやるやうになつたが、多く部落外から搾取されて行くのである。部落の職業がおしなべて手工業の域に止まる限り、他の大產業部門に壓倒される傾向を有するのである。

部落民が本願寺に奉る金は、一年百萬を以つて算するが、これも部落を貧困ならしめた一因と云へよう。

兎に角、部落民は明白に無產階級の一群である。從つて水平社の運動も無產階級の運動である。吾々は權利を要求する人間の權利を要求する。經濟の自由を要求する。水平運動はこの目的のために鬪ふ。しかも吾等が無產者であるが故には

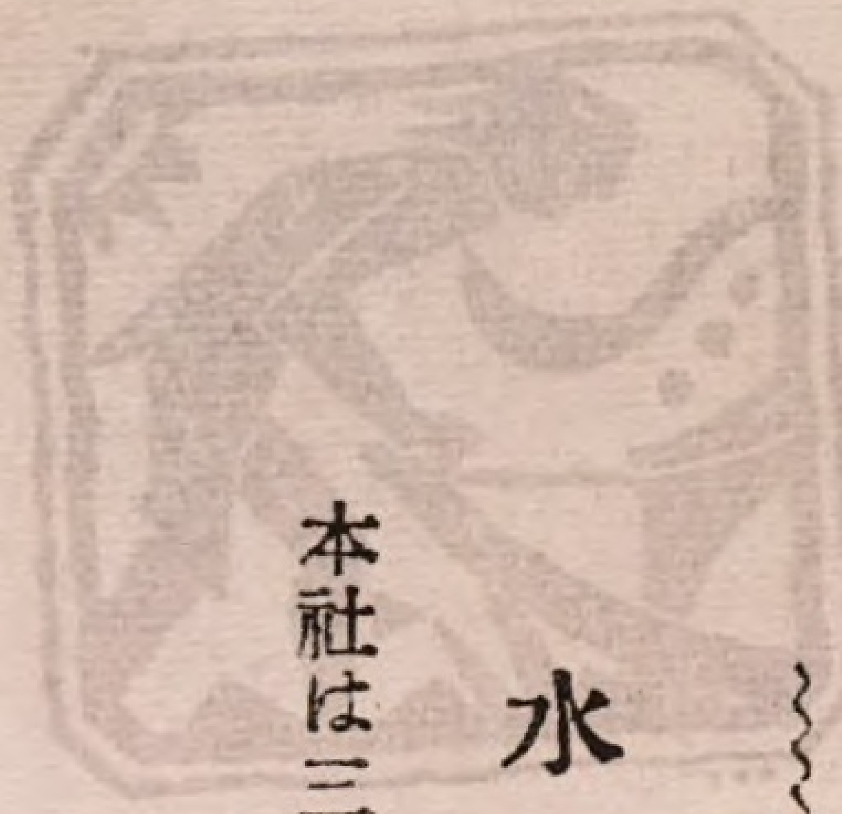
この要求も無産階級の要求である。

吾々を踏み附けておいて、さあ握手しようといふやうな同情は吾々には要らぬ。吾々は最早や同情を求めぬ。吾々はに闘爭があるのである。奪はれた人間を取り返すのである。踏み躙られて來たものが今ま立ち上つたのである。……る。

吾等の進み行く方向は吾等が最もよく知つて居る。吾等の運動が、如何に必要なものであり、不可避のものであり、眞劍のものであるかは吾等のみこれを理解し得る。

私はいつか或る人に、君等の仕出かすのは水平革命だらうと嘲笑されたことがある。穢多と呼ばれ、四つ足だと呼ばれたのと同樣に、吾々のこの生命がけの眞劍な運動に無理解な心意に對して私は心から憤つた。しかし、また私は、吾等に投げ與へられたこの新しい蔑稱に對して滿足する。虐げられて水平線下に踏みつけられたものが、全て水平線上に浮び上る其の日を吾等は望む。萬人が手に手を取つて水平線上に昇る其の日を吾等は待ち望む。

吾等はたゞこの一點を目指して進む。吾等が熱望し希求する、熱と光とに輝く水平の革命！（一一、四）



水平社大會（京都）

本社は三月三日の水平社大會へ同人を送り祝意を表します。

露獨革命と婦人の解放

クララ・ツェトキン

此論文は、ローザ・ルクセンブルグと並んで獨逸社會民主黨及び國際社會主義運動の双璧と稱せられ、獨逸共產黨の中央執行委員にして同時に第三インタナショナル婦人部幹事長として活動してゐる。クララ・ツェトキン女史の執筆に係るもの。ロシアに於ても、ドイツに於ても、婦人は革命に最大の望みを囑してゐた。然るにロシアの十一月革命は血統と財產に伴ふ一切の特權を廢滅し、筋肉及び頭腦の勞働のみを、あらゆる社會的政治的權利の基礎とした。ロシア婦人は家庭に於ても、社會に於ても、男子と平等の權利を得、母として生產者として、十分に力を伸ばすことが出來、新社會の最も有用な、最も尊敬せられてゐる成員である。が革命後のドイツ婦人は依然として奴隷の狀態を脫せず、勞働婦人は過勞と失業に惱み、街には賣笑婦が充滿してゐる。この二國に於ける婦人の狀態の相異は何に基くかツェトキンの此論文は是に答へたものである。(譯者)

ロシアの婦人

勞農ロシアの婦人は十六歲の年から五十歲まで社會的勞働に加はる。正規の勞働時間は男女共に八時間で、土曜日は半休である。姙產婦の健康に有害なものゝ外、どんな職業でも婦人に對して開放されて居る。同等の仕事に對しては同額の賃銀が支拂はれる。そして或種の行政事務は身體が樂で、婦人の體力に相當してゐるといふので、それに適した婦人は特にその種の仕事を習得させられる。勞農ロシアは亦、子供や母親に對する注意や手當の點で、他國に對して立派手本を出してゐる。姙婦は胎兒に有害な影響を與へるような仕事をすることは一切許されない。母親は產前產後各八週間の間、少

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しも働く必要がない。授乳中の母親は食料の特別割宛をうけ、その勞働時間は僅かに六時間で、三時間目毎に三十分の休憩を與へられる。十一月革命後の四年間に、授乳中の母親と子供とを保護するための色々の種類の團體が、二千ほど、衛生人民委員によつて全國に作られた。材料や、適當な衛生用具が中々手に入らぬので思ふ通りには行かなかつたが、それとてもそうした機關の設立や組織を中止させることはなかつた。何千の農業及び勞働婦人は、母親と幼兒のための此收容所を助けるために、看護婦、寮母、及び取締人として仕込まれた。

子供は十六歲まで國家から無料で扶養と教育とを受ける權利がある。學校の中に寄宿制度のものもある。十六歲より十八歲までの勞働時間は六時間である幼稚園は三歲から七歲までの子供を引受けて世話する。どの學校でも子供は暖かい晝食を供せられる。一九一七年十一月以來、學校の增設されたものは八万に及び、その收容兒童數は七百万人に達してゐる此努力がどれほど大したものであつたかを解するには、帝政時代一九一一年には僅かに五万五千の學校と、三百五十万の就學兒童しかなかつたことを述べねばならぬ。無產階級の治世の四ケ年間に是等の新設の學校で働くために、一万六千五百人ほど訓練された。

大多數の子供は共學の學校で育てられ、どんな學校でも、どんな課目でも、どんな練習でも特に女子に對して禁ぜられてゐるものはない。戰死者の遺兒のために三千以上のホームが作られた。また夏期學校や夏期植民地の外にも、腺病質、結核性、又は虛弱な兒童のための特殊の學校がある。婦人を家庭の勞役から解放する努力の中には、公共調理所、食堂、洗濯所、被服修理所等を擧げねばならぬ。是等すべての有用な施設は、婦人が母親として、勞働者としての義務を果たすことを極めて容易ならしめてゐる。

勿論勞農ロシアに於ては婦人は家族の自由な成員であつて、法律の前には男子と平等である。娘に對する父親の權力、妻に對する夫の權力は單に法律上に於て廢止せられたに留まらず、國家が子供を扶養し、總ての健康にして健全な婦人は日每に社會的義務を果し、完全な生活の權利をもつてゐるので、男性支配の社會的及び經濟的基礎も無くなつてしまつた結婚は、法律の前に平等の地位と、平等の義務と責任とをもつ、二人の公民同士の間の私的契約である。結婚の形式は最

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も簡單なものである。離婚も同じく簡單で、資本主義國にありがちな醜惡な表沙汰を伴ふことはない。ソヴイエツト・ロシアに於ては、公然の夫婦間で生まれた子供とそうでない子供との取扱に何等の差別もない。

ドイツの婦人

ロシアの婦人の生活全體に亙る大きな變化に比べて見る時、十一月革命によるドイツ婦人の解放は、何といふ違ひであらう！　何といふ貧弱さであらう！　一九一八年の民主的變化が婦人の選擧權を認め、婦人が總ての代表機關に選ばれる權利をも認めたことはよく知られてゐる。ドイツ婦人は高遠な希望をもつてその新しい義務と責任とを引うけ、自分ら自身及び子供らの地位を改善し安定させる正しい法律を作らうといふあらゆる決心を抱いてゐたのである。けれどもドイツに十一月革命を起させたデモクラシーは單なるブルジョア・デモクラシーにすぎず、隨つて婦人に男子と同等の權利を與へる法案は幾度びも幾度びも否決せられたために、是等の希望は過去三年間に全く粉碎されて終つた。依然として未婚の母は蔑まれ、婚姻外に生れた子供は當然の權利を奪はれてゐる。戰時中、平時は男子のする仕事の大部分を引受けたドイツ婦人『祖國の土を護ることを懇請せられたる』是等の選擧權を有する『勇婦』は、戰後に至つて、革命にも拘らず、そして『世界の完全なる改造』にも拘らず、その仕事先から放り出されて糊口の道を失つた。そして男女間の產業上に於ける古い爭ひは再び惹き起されたのである。ドイツの十一月革命の最も重要な產業上の勝利であつた八時間勞働制は、資本主義が四苦八苦の狀態に陷つてゐるために、單なる紙上の空文に留まつてゐる。婦人勞働者の保護に關する規定の大部分も同じことである。姙婦及び授乳婦に對しては國家は殆ど何もしてゐない。要するにドイツの十一月革命は男女の平等を實現するために何も寄與して居らぬ。それは古い民主々義的文化の國家婦人に對して既にしてゐる位のことすらもしなかつたのである。

ロシア革命と對照して、ドイツ革命がこれほど婦人のために役に立たなかつたのは何故であつたらう？　それはドイツ革命が無產階級を裏切ると等しく、婦人をも裏切つたからである。古いブルジョア政府と行政機關とは、ソヴイエツト又

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は勞働者評議會によつて廢絶せらるべきであつた。生活手段及び資本主義的方法を廢して、共產主義的生產がそれに代るべきであつた。然るに伯林の勞兵會は完全な革命を欲しなかつた。彼等は『大衆の蹶起』といふ考の前に戰慄し、お行儀の好い、民主的な、頭髮をちごらせて香水を匂はせた、中流階級的、客間的革命を求めた。がかような革命は現在の□□□□を完全に□□してその代りに新しい組織を建設するに足る力をもつものではない。故にその結果は、產業上政治上に於ける中流階級の勢力を强め、大實業家及び大銀行家を國の主人公たり支配者たるに至らしめたのである。資本主義の政府の下に於ては、生きた人間の權利は問題でなく、只一つ重要視されるものは財產であるといふことを、聰明な婦人は今までに覺つたに違ひない。

ロシア革命もドイツ革命も共に、熱心に婦人の後援を求めた。勞農ロシアの婦人はその聲を聞いてそれを理解した。彼等は最後の息を引とるまで、また最後の最後の血の一滴までも捧げて、勞働者と農民の共和國を、飢餓や寒氣に對し、又全世界の一致せる反革命的行動に對して防禦し護衛してゐる。彼等は何が危險に瀕してゐるのであるか、……る。完全な自由を要望するドイツ及び他國の婦人は、ソヴイエツト・ロシアと提携せねばならぬ。ドイツの十一月革命は婦人の第一の重荷を取り除くことに失敗した。ロシア革命が辿つた困難な、苦しい道に急ぐのがドイツ婦人の義務である。……いか。（山川菊榮譯）

國際婦人デー紀念講演會

本號で無產婦人運動のためにいさゝか努力した本社は、三月八日の國際婦人デーを紀念するため、八日前後に『國際婦人デー紀念識演會』を東京に於て催し、次いで橫濱、大阪、京都等で同じ催しをする筈になつてゐます。

兩性問題と社會主義

守田有秋

(I) 性の束縛と現代

(一) 潜在せる性慾

吾々が社會主義運動に於て、其の對象的敵として資本主義を取扱ふ性慾問題に於ては、一夫一婦の制度が、其の對象的敵として取扱はれねばならぬ。

其の順序として私は人間の性慾生活を一通り順序的に話して見やう。

先づ第一に幼年時代に就いて述べやう。一體人間の性慾といふものは、青年期に於て突發的に發生するものではない、それは人間の體の中に深くそして、早くより潜在してゐる、有名な獨逸の性學者モールの如きは、性慾的發露は、既に幼稚な時代から現はれてゐると稱して居る。

(二) 幼兒の性慾的發露

性慾的現性象は、已に乳呑兒の時代に於て現れて居ると性慾學者は唱へて居る。男の兒の中には、已に生れて三ケ月後に、其の生殖器に手をやつて無心の中にこれをいぢるものがある。女の兒では股と股を組み、プレツする、この現象は天使の如き乳呑兒にも、已に手淫(オナニイ)の發露を見得るといふ一證である。

此のオナニイの現象は、三つ五つ位に於て更に發展し、學年時代に於ては、ブランコに乘るとか、體操をするとか、相撲をとるとか言ふ樣な機會に於て益々發展する、即ち、潜在してゐる人間の性慾は、何かの機會を發見すると同時に、首を出すのである。そしてこの事たる、最も教師や兩親達の注意すべきことである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（三）　少年少女時代の性慾

所が少年少女時代になると是迄の性慾的發露は、漸次に進んで、「他の人間」に對象を發見するやうになる。そして漸次に正當なる發展を見出すのである。少しく長ずるに及んでは、子供の性慾は、自分の世話をして呉れる人を通じて發展する、外國に於ては、父母が其の兒女を接吻愛撫することにより、兒女は性慾的發展の階梯を與ふることが間々ある、父母に對して熱愛を有する女が、將來、戀愛的の生涯を棄て、一生父母の許に世を送り、若しくは結婚しても配偶者に對して極めて冷淡であるが如きは往々に見る例である、故に（日本に於ては必ずしもさうでもあるまいが）父母の溺愛は子供を早熟にする恐れがある。父母の愛の結果、子女にして、往々其の愛者の對象として、男兒ならば、自分の母と似た人を擇び女兒ならば、自分の父親に幾分なりとも似た男子を擇ぶこともある。

（四）　少年より青年の性慾生活

十四歲より、二十歲、二十四歲位までに、性慾は人間の體に於て長足の進歩を遂げる。此の間に於て男の兒は、殆んど百パーセントはオナニイを行ふ、即ち、百人が百人とも、オナニイを行ふ。

此のオナニイを適度にやると云ふことは、果して醫師の言ふ如く、非常に健康に害であるかどうか、疑問である。唯、少年の童貞を汚すと言ふ事が手淫を禁遏する說の大部分であるらしい。然し、適度のオナニイを行つた者が、其の生殖機關を害し、生涯取りかへしのつかぬ不幸に陷つてゐることは比々然りで、百人の中少くも二十人位は左樣な人があらうと思ふ。斯ういふ時代に、何故青年子女は、適當な生殖的行爲を營むことが出來ないのであらうか、それは現代の一夫一婦制度が嚴乎として今日の社會組織の根幹をなして居るので、これが爲に男女共に性の自由を束縛されて居るからである。

あの男は、今迄品行が正しかつた、あの娘は、傷物ではない、即ち、童貞を守つて來た、處女であつたと言ふことが、一夫一婦制の基礎となつてゐる今日の結婚制度に、最も必要な條件であるがために、男女共に、其の青年期を、オナニイに惑溺さすのである。

オナニイは前言ふ如く、禁ずべきものであるが、然し、少年が、娼婦と關係することは更に危險なことである。即ちこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れは一方に於ては花柳病により身體を傷けること丶なり、他方に於ては品性を墮落せしむる原因を作る。公娼は、現代社會組織の缺陷に基因する産物であつて、娼婦その者自身の悲慘なる境遇は同情に堪えぬが然しその境遇は驅つて、甚しく娼婦の品性を下劣にさしてゐる、然るにまだ世に經驗なき青年が、品性の劣つた娼婦と接近して、其の影響を受くることは、大いに考慮を要すべきことである。

一方少女の方に於ては如何偶々濱田榮子の如き天馬空を行く底の壯快なる行爲をなすものは例外として、日本でも外國でも、箱入娘として大切に仕舞ひ込んでおく娘は、性慾といふことに就いて何等の智識を有ず、人の妻となつても無能なるものが甚だ多い。されば少女には適當なる性的教育を施す必要がある。兎に角青年男女を正當に性的生涯に導くといふことは大問題であつて、そして、これは今日の如き僞善的一夫一婦制度により社會が各人の性的行爲に束縛を與ふる時代に於ては、實に困難なことである。

（五）壯年者の性慾生活

男子に於ては二十四歳、女子に於ては二十歳にして人は壯年の域に達する。此の時代に於ては殊に性慾が猛烈に起る。然し、この身心を燒きつくすが如き性慾を、無理に抑遏する時は、多くの場合に於いて神經に障害を來す。然し、男子に於ては、斯くの如き成熟期を待たずして、既にオナニイにより、不正規の滿足を得、或は娼婦に行つて、性の滿足を得る但し、一般プロレタリヤの青年は、大抵二十三、四位までオナニイに由つて性慾の滿足を得、從つて健康なる人は甚だ少數である。彼等の中には又、往々にして、素人の女と關係するものもあるが、長く關係を持續することは、非常に金のかかることでもあるし、又子供が出來ると言ふ恐怖に脅かされるので、多くの場合に青年は賣娼に行く、蓋し娼婦を買ふことは、極く簡單で、且つ安値に性慾の滿足を買ひ得るからである。この賣娼といふことは、已に此の方面に充分に經驗を經て來た老人連によつては、恥辱の如く言はる丶が、若い人達の中では、この方面で性の滿足を買ふことは、寧ろ當然のことの樣に考へられてゐる。

娼妓の地位に代つて、無産階級の青年と關係するものは、外國に於ては、女店員、女役人、其の他、無産階級の婦人達

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

である。然し彼等の關係は決して永續するものではない。唯或る時は待合で、或るは旅館で、唯一時的の關係が結ばれるに過ぎない。

日本に於いても、今日の經濟狀態では、早くより妻帶することは甚だ困難であるが、外國に於いては、三十歲以上でなければ、家庭を持つことは先づ困難である。玆に於いてか前述の如く、「戀愛なき」性の滿足を、娼婦または娼婦の代用をなすものにもとめる。即ち甲の婦人も乙の婦人も、彼等にとつては同一であるので、その趣味は、全く一夫多妻趣味である。彼等は或る時は、金錢により、又は贈物により、時には他の誘惑により、女を手に入れることを例として居る。一體男子といふものは、全部とは言へぬが、多くは斯樣な經驗を有するので、假令結婚をしても、從前の不正規な性慾生活の慣習が殘つてゐるので、從前の如き多妻趣味を追ふ傾向がある。又假りに、斯やうな男子が、一夫一婦の掟を遵奉するにしても、それは世帶のため、子供のため、協同の財産のため、或は病氣のため、年齡のため、止むを得ず、縛られて居るものが多いのである。

日本に於ては離婚することは、比較的に容易であるが、外國では、一夫一婦制に束縛されて居て、離婚の自由がないために、相愛により結婚したものも、結婚後に於ける幻滅の悲哀へ兒供が多かつたり家計維持が困難であつたりするためにより、離婚せんと欲するも、得ない者が澤山ある、即ち制度に束縛されて居るのである。

然し、結婚後に於て、男女相互が、何等戀愛的に結合して居るのでなく、單に經濟關係、利益關係に由り結合して居ると云ふことを發見しても、別れることが不可能なのは、外國に於ても日本に於ても、比々皆な然りである。而して斯樣なことの爲に、大に社會的に活動すべき壯年者の生涯が、破壞されつゝあるは、幾多世界に例證を見ることである。

是がために、外國の勞働階級には、前述の如く、賣娼婦に行くものが殊に多く、(日本に於ても恐らくさうであらうが)從つて花柳病に罹るものが、非常に多い。が然し、勞働者の中で結婚したものがあつたとすれば、それは又決して幸福の中に生活して居ない。(日本は別として外國は)、朝から夜まで働いて來る勞働者の夫婦、唯夜間だけ顏を合はす勞働者夫婦の境遇、及び其の子女の境遇が、如何に紳士階級の夫婦生活より劣つて居るかは、玆に云ふまでもないことである、殊に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

精神的の快樂を享くる機會の少い無產階級の男子が、一週數回の同衾要求は、勞働者の妻をして、多くの子供を拵へさし早く其の健康を衰へさしてしまふ。從て、其の妻女が、男子に取り、何等精神的伴侶たり得ないのは、妻女たる婦人が、何等精神的修養をする暇を見出し得ないからである。斯くの如く、結婚した勞働者の家庭生活は、頗る悲慘なものである。

斯くの如くして、無產階級の結婚、夫妻的結合が、餘り價値なきことは、外國に於ては、勞働者自身が認識して居る所である。

斯樣な次第で、現今の結婚なるものは、自由人に取つては餘り價値なきものと考へらるゝ。

以上私は、男子の方面を主題にして話したが婦人の方面は何うであるか。

今度の大戰に於て、最も慘害を受けたのは戰線に非ずして、寧ろ交戰國の家庭內であると云はれた程に、獨佛人の家庭生活は紊れた、即ち、現代の結婚制度の下に行はれて居る家庭生活は大戰によりて破壞された。是れ、戰爭の期間が餘りに長きに亙つたゝめ、妻女の九十パーセント、即ち、百人中の九十人は、長く空閨を守る能はず、且つ、諸方面より各種の誘惑に遇ひ、是れに堪え得ずして、所謂不貞に陷つたのである。然し、是れ果して世上非難するが如く、是等の婦人を道德上の罪人として非難すべきであらうか。

一體、外國の婦人で、有夫姦をなさぬものは甚だ少ない、これは、多くは妻女よりも良人の罪なのである。西洋のブルジョアの男子も、日本のそれと同樣に、結婚前は、盛んに、遊蕩三昧に耽る、此の慣習あるがために、彼等は結婚後に於ても、結婚前の遊蕩生活の繼續の如くに、新らしき細君を苛む、これ等男子の、性慾的エゴイズムのために、新らしき細君の、生殖器能は害せられて、性慾に對して全く冷淡となつて了ふ、即ちこれ等の多くの婦人は、結婚に對して、非常なる幻滅の悲哀を味つたことになるのである。斯樣な夫婦の間に於て、愛情の、日に日に冷却するは勿論のことである。從つて、家庭生活が面白くないから、男子は、益々娼婦或はこれに類似のものに性の滿足を求めに徊く、そして、毎日孤閨を守る細君は、新たなる愛を他に求めざるを得ざることになる。西洋に於て、貴婦人と稱せらるゝ人々は、何れも斯樣な

婦人である。即ち一夫一婦制は、ブルジョアの産した所の制度であり乍ら、ブルジョアの一部も、自ら其の制度に苦しんで居る次第である。

又此の一夫一婦制度のために苦しむものは、單に其の當事者たる男女のみならず、此の制度を無視したる多くの男女の間に、生れて來た子供が、其の累を受けて居る、殘酷なる法律は、これ等の子供に、私生兒の名稱を附して居る、此の私生兒の名稱が、如何に現代の社會制度に於て恥辱であるかは、玆に云ふまでもない。

さて娼婦は、何の必要があつて存在するかと云ふに、それは、前に繰返した如く、家庭を持つこと、出來ない人の爲に用をなして居るが、然し、一面に於ては、表面的に一夫一婦制に從はねばならぬために、玆に賣娼婦の必要が起つて居るのである。即ち、娼婦の存在は、現代の資本家的社會の性慾生活の反映である。

此の娼婦及び花柳病は密接な關係があるので、これに就ても大いに論ぜねばならぬが、玆には、二つとも省略する。

兎に角、ブルジョア所産の一夫一婦制度あるがために、そして、性の自由、解放が現代社會に求められざるがために、玆に其の弊として、賣娼も起り、次で花柳病も蔓延すると云ふことになるのである。

(II) 人類は本來多妻的乎

現代社會に於ては、大多數の人は、一夫多妻の生活をなしつゝあり、又これをやつて來た、唯だ僞瞞的、僞善的の小數者が、表面的に、一夫一婦の生活を營んで居る。して見ると、所謂一夫一婦が、人間の正道なりや、否やは、甚だ疑問である、現に、歷史の證する所によると、一夫一婦の生活狀態が、完全に、進步發展して來た事實を認め得ない、社會學上より見る時は、人間性に於て、吾等は一夫多妻的傾向を充分に立證し得る。

生物學上より見るに、家畜の如き、社會的群生をなすものは、一夫多妻的である、唯だ、猛獸の二三種中に、一夫一妻主義を嚴守するものがある。人間は決して、其の祖先は猛獸でなかつたに相違ない。社會的動物として、群生したものに相違ない、即ち、恐らく、一夫多妻的であつたことは否定し難いことである、次で、人間の原始生活に、群婚離婚の起つ

たことに依つて見ても、人間が、一夫多妻的であつたことが立證される、此の群婚制は、今日、尚ほ、濠洲の土人及ポリネシヤ、前印度のドラウヰダス人の間に行はれて居る。

歐米探險者の報告により、吾等は、多くの野蠻人中に、今尚ほ、一夫多妻的の生活をして居るといふよりも、寧しろ、結婚などゝいふことを仕ないで、即ち、野合のみにより生活して居る、蠻人社會のあることを知ることが出來る。

プロスバルテルの「人種學上に於ける婦人」と云ふ書物には、濠洲土人中には、結婚は一つの罪惡となつて居る。若し何等かの天災地妖が起りさうに思はれた時は、此の天災を回避させんがために、一般的の性交が行はれる。

此の外、結婚前に、花嫁御を親類や或は僧侶や、或は帝王が、先づ試驗をするなどの風習は、至る所に行はれた事實である。

これらの事實も、又社會が「娼婦」を認めると云ふことも、亦人間の一夫多妻的の傾向を示した一證とも見られる。舊きバビロン、アツシリヤに於ては、宗敎的の賣娼的行爲が行はれた、どの婦人でも生涯の中に一度は、ミリタの神殿に行かねばならぬ、そして誰れ彼れと云ふことなく、膝の上に錢を投げたものには、身を任せねばならなかつた（日本に於ても神社の附近に必ず茶屋なり遊廓なりが存在して居る、これはペルシヤの風習が傳つて來たのだと、波斯學者の昆氏は語れり）

勿論、一夫一婦的結婚は、蠻人の各人種中に行はれて來たが、これに伴つて、又一夫多妻も行はれて來た、一夫一婦が人間の必ず守らねばならぬ完全な性交の形式であると云ふことは、決して立證出來ない、勿論性慾生活に對しては完全な統計を取ることが不可能であるからである。

(III)　未來の社會に於て

さて吾等は、國家なり社會なりが、如何なる形式の性慾生活を正統のものとして認むるやを述べて見度い。一體人間が一夫一婦的でなく、一夫多妻的であると云ふことは、人間に向つて、一夫多妻の生活を『すべし』と云ふことではないが然し、一夫一婦制を遵守することは前述した如き幾多の不幸が之れに伴ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

資本家の國家が、一夫多妻及び一夫一婦制、何れかを採用せんかと云ふに、資本家は、其の資本、及び私有財産の擁護のために、適當の後繼者を必要とする、これが爲に、何うしても一夫一婦制を、法律により制定せねばならぬ必要がある

吾々、理想的社會を考へて居るものに取つては、[illegible]、性慾問題にも亦革命を行はねばならぬ、其の第一條件として先づ、現代各國に行はれて居る民法に、制定されてある結婚法の△△を行はねばならぬ。

若し、此の法律を削除したならば、忽ち男女結婚問題に、混亂が起る如く考へるものもあるが、然し、實際に於ては、左樣な心配は斷じてない、若し、現代の結婚法律の如き律法が存在しないならば、決して金錢結婚、政略結婚などが起る憂ひもあるまい、現代の結婚制度のために、人と人が、互の鐵鎖に縛されて、互に呻吟して居ることは、前述の通りである。殊に、法律的結婚に由らぬ子供を、私生兒と名付けて、母の姓を名乘らすが如き、甚だ謂れなきことである。勿論、父親の不明の場合には仕方もないけれど、それならば、産れた總べての兒供に、母姓を名乘らし、以て、斯樣な區別的、階級的の稱呼を廢するやうにし度い。

殊に、産れた兒供を、家族が教育するといふことも、廢して、小にしては組合、大にしては國家、(又は社會)に、子供の教育を委托せねばならぬ、家族内に於ける教育は、一般に考へらるゝが如く、決して良いものでない。寧ろ家庭教育と云ふものは、最も偏狹なエゴイズムな教育法であつて、組合なり國家なりは、これを禁じ、その組合なり、國家なりに屬すべき小供は、組合なり、國家なりが自ら教育しなければいけない。

如上の如く、一夫一婦制は、煩累を罪なき小供達にまで及ぼして居る。

私は未來の社會に於ける、教育、産兒制限等に關して左に項を分つて話して見やう。

(A) 教育に就て

吾々は、吾々の社會に於て、如何に子女を教育すべきや、それは、[illegible]

吾人類協同の福祉のために、生涯を捧ぐる人物たるべく、教育を施さねばならぬ、それは、今日の、一夫一婦制的家族制度の間に行はれる底の、利己的の教育ではないのである。

一體、現代の一夫一婦制の下に於ける家庭教育は、夫婦が、小さな、經濟的協同生活をなしつゝ、マッチの箱の如き家の中で、自分達の氣に入るやうに、特別に、小供の性格を作ることである、父母は自我的生活のため、自我的教育のため營々として、己れの年の老ゆるを忘れて居る。斯様な、教育に、百害あつて、一利なきことは明かなことで、吾々の未來の社會に於ては、廢させねばならぬことである、之を要するに、此の教育法は私有財産制が齎したものであつて、現代社會を長く害しつゝある。

(B) 産兒制限に關して

資本家的國家は、其の國家擁護のために人口の減少を怖れる、これ法律と道德の名により、國家が墮胎を禁止して居る所以である、現今墮胎の許される場合は、母體が危險に瀕した場合、醫師により之を行ふことを許されて居るきりである未來の社會に於ては、姙娠後三ケ月、墮胎が危險である場合の外は、適宜に許可されて良い、社會も組合も、婦人に向つて、子供を養ふことを强制する權利はない、即ち、今日の如く、嚴重なる墮胎禁止は、未來の社會に於ては△△でない。元來、婦人は子供を欲する願望があるものである、何も殊更ら墮胎を嚴制して、子を澤山産ませずとも、吾々の理想的社會では、産れて〳〵仕方がないと思ふ。しかし十人も十五人も産れさうな場合に、各人が、これを墮胎することは、△△であらねばならない。

(C) 共産主義と性慾生活

さて、何故一夫一婦制が、法律上現代に於て嚴定されて居るのか、それはエンゲルの言つた如く、資本主義は、其の根帶を、ブルジョアの家族制度の上に置かなければならぬからである、ブルジョアの家族の幸福を防禦することは、即ち、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

資本家が其の私有財産を防禦することである、ブルジョアに取りでは、現代の結婚制度を廢することは、一大事の如く考へらるゝので、かの露西亞に於ては、「婦人の共有」が行はれて居るなどゝ、飛んでもない噂を立てゝ、現代結婚制の敵を傷はうとして居るのである。

要するに、獨立したる完全なる性慾生活は、…………

そして先づ、次の如きものでなければならぬ。

(一)……　何等の制御を受けないもの、儀式を用ふるも用ひぬも自由である。

(二)産れた兒供は、約二十歳まで、國家なり社會なりが敎育する、生みの母は、其の敎育機關に於ける、敎師なり、保姆なりに從事する事を得。

(三)十八歳以下の少年少女と性的行爲をなすことは禁ぜねばならぬ、それは衞生に害があるからである。

(四)花柳病患者、又は花柳患者と性交したものは隔離病院に入れる。

(五)各人は、……　定時健康診斷を受けなければならぬ。

(六)强姦、姦死、並に此の種の殺人犯は、罪される、然し現代法律の制定する姦通、一夫多妻、同性愛は犯罪ではない。

(七)ルーデサツク、其の他産兒制限法又は病氣豫防法は公然許可さる。

(八)避姙は、危險時を經過して居れば許さる、何人も自由に之を行ひ得。

(九)遺傳病を有する人間は、政府の醫師により痛苦なく去勢するを要す。

(註　去勢さるゝも性交は行ひ得べし)

離婚及敎育

(一)配遇者は、其の片一方の希望により、結婚的形式より脱することを得。

(二)政府は、姙娠中の母に對して、法律的に保護をなす義務あり。

(三)子供は、二十歳まで政府が世話をし敎育をなす。

以上は我等の理想とする所であるが、左に露國の結婚法を擧げて見やう。

(D) 露國の結婚

露國現代（一九一九年）の結婚法は、過渡時代の法律である、從てその考へを以て見る必要がある。これを絕對理想と考へてはならない。

（一）結婚年齢は少女は十六、男子は十八歲。
（二）各人唯だ一つの結婚をなし得。
（三）親戚又は宗教等の故障なし、即ち親權者などは認められず。
（四）第二の結婚は、第一の結婚の廢止後に行はるべし。
（五）配遇者の一方の希望により、離婚し得、然し他方に於て訴訟を提起し得。
（六）結婚者は、一方の名を名乘らず、雙方の名を稱す。
（七）露國民たるには、結婚によりてなる能はず相當の手續及規則に從ふを要す。（例ロザ・ルキゼンブルグ女史は波蘭人なり、獨逸人と結婚して獨逸人となりたり、斯やうなことはロシヤにては許されず。）
（八）結婚のために、一方が他方に住居を移轉する必要なし、又財產を協同にする必要なし。
（九）若し、配遇者の一方が生活する能はず、而して、他方が彼れの生活を補助し得るならば、これを補助すること。
（一〇）結婚せざる母は、其の產みたる子の父より、生活を保護する、其の父が、多數の場合には、其の女の負擔は、各關係男子分擔す。
（一一）兒女は、父母の財產を相續する權利を有せず。

人間は、一夫多妻趣味を有すると同時に、又一夫一婦趣味を有す、然し趣味と制度とは全く別問題である。少くとも、或男子が、第一の婦人と關係して居る間は、たとへ一日でも二日でも、それに滿足して居るのである、そして、第二日に、第二の婦人に結合せんとする場合は、一應第一の婦人に通知して、その方の結末をつけて後、第二に行かねばならぬ。婦人とても同樣である、兎に角、

――――――――――――――――――――――――

――――――――――――――――――い。（完）

ヨッフエ氏歡迎

勞農露國のヨッフエ氏が日本へ來たことは日本の無産階級運動にとつて大きな意味のあることゝ思ひますが、今私だちはこれに關して多くを語る自由をもつてゐません。この際、私だちは今後の私だちの努力を約して、歡迎の辭に代へ度いと思ひます。

四月號豫告
朝鮮同志號

朝鮮の一同志はいふ。

「我々は日本人は我々の仇敵であると信じてゐた。然しながら、この社會制度を知るに從つて、我々朝鮮人の敵は日本人ではなくて、日本人中のブルジョア階級であることを知つた。我々は日本の無產階級と共に、日本の〇〇〇〇〇〇ばさねばならない。」

また、他の同志がいふ。

「僕は日本の同志に切望する。暫らくその無我の同情を止めて、決死的努力を以て、〇〇〇〇〇〇〇〇〇らなければならぬと」。

種蒔き社は四月號を「朝鮮同士號」とした。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

共產黨と無產婦人

△第三インタナショナルの今年度の婦人活動▽

三月八日の婦人勞働者の赤色インタナショナル記念祭を今年は次の合言葉の下に祝はねばならぬ。「萬國の共產黨よ勞働階級婦人を擁護し助力すべく再起せよ」

此の合言葉は、勞働階級の解放の爲の闘爭に於て、萬國の共產黨に依つて遂行された、婦人に關する二面の任務から起つたのである。

勞働婦人に關する世界共產黨の二面の任務とは、一方資本主義國に於ては婦人の活動を促急し、自衛の爲に階級闘爭のあらゆる形態に於いてその自覺及び利害の念を發展させる事であり、他方、勞働者が實權を掌握して居る國に於ては、共產主義的建設の事業に婦人を參加せしめる事なのである。此の點に於ては、共產黨の任務は男女勞働者共に對して同一である。しかし、此れと共に、共產黨は婦人勞働者に關して更に一個の任務を負はされて居る。即ち、勞働階級中最も虐げられた部分としての彼等婦人の利害の擁護と、母性としての婦人の特異なる利害關係の防禦である共產黨は次の事實を忘却してはならぬ。即ち、勞働する婦人は單に勞働階級の一員たるのみには止らず、最惡の地位の下ブルジョワ國内にに於いて參政權無き事、家族的束縛及び家政の苦勞等）糊口する、勞働者の一部類たるのみには止らず、實に、社會から姙娠及び出產なる追加義務を負はされて居ると云ふ事である。此の、第二の、婦人に負はされて居る社會的義務の爲、（これは自然的に男性は免れて居る。）共產黨は、種族の母たる婦人の利害と力と健康とを防禦し保護する、附加的方法の必要を認める。

共產黨や勞働階級は、婦人が產業に這入るのを妨げてはならぬ。全然それとは反對に、彼等は婦人を社會的に有用にして効驗ある勞働に引きつける事が、生產力を一層增加

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

させる爲には缺くべからざる事であると同樣に、不可避なる事を、充分理解しなければならぬのである。只、有用なる勞働のみが——即はち國民經濟の場裡に參加すると云ふ事のみが——婦人を隷屬的地位、即ち無參政權屈從、から解放するであらう。しかしながら、婦人を有用なる勞働に誘ひ込むと共に、勞働階級——即ち人類の有用なる勞働の模範保持者は同時に、勞働する「母」の利益を自らの保護の下に置き、婦人勞働に對する特異の防禦を、人類の母たる婦人の健康を護る特別なる方法を、獲得すべく之れ務めねばならぬ。

此の婦人勞働の問題に對する二重の態度に依つて、共產黨は、婦人にも同等の權力を求めんとするブルジョワ的フェミニズムとは異つて居る。フェミニストは婦人問題の一面のみしか見ない。婦人の心理的特質と、その天然の本性とが婦人に母性の特殊なる任務を負はせるてふ、明白なる事實に照して知るべしである。フェミニストの理想とする所、即ち權利と義務の點に於ける男女の同權は、婦人の心理的特質と、其の結果として社會が與へる特殊の任務とを否定するものである。ブルジョワ的婦人參政論者は、婦人埠頭人足が背に男と同じ重量の荷を負つて居るのを見て有頂天になつて喜んで居る、所が、其の、同じ事實が共產主義者には、かゝる非衛生的勞働を婦人に課する事に對して少くとも一個の母たる婦人勞働者の健康を保護する爲に其の狀態を改良せんものと、戰ふ決心になるのである。

我々の同志の一部は、共產黨が婦人問題に對して取る態度の全豹を見盡さずに、婦人勞働者に對する共產黨員の任務として、かの參政論者やフェミニストの誤謬を繰返へして居る。かゝる同志諸君は、婦人勞働に對する運動の領域に於ける我が黨の任務は必竟次の一事であると想像するのだ。即はち、婦人の勞働者及び農民に我が黨の仕事及び戰ひに加入を勸め、彼等に階級意識を起させ、意志の力と獨立の氣概を發達させる事であると。つまり、彼等は他の事が自然に變る事に期待して、我が黨の無產階級全般に對する任務を說いて居るのである。「勞働階級が勝利を占める時我々が共產主義を確保した時、錯折せる婦人問題は、自然に解決されて仕舞ふであらう。」と此れは實に論ずる迄も無い眞理である。しかし、其れにも不拘、上記の如き、或る一部の同志の意見は、一方に偏して居る、共產黨は無產階級全體の爲の目的にのみ、その運動を制限する事は出來ぬ其の任務の中に、人類種族の母たる婦人に關する特殊なる

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

注意に迫られたる實際的な要求をはぶく事は出來ない。婦人の社會的任務、即はち母性、の中から、新しい調子、新しい色彩と形式とを與へる事によつて生活組織を一層重くさせる新奇な種々の任務が湧いて來るのである。人類は實に長い間、婦人に作られた、かの一方に偏した教養の魔術にかゝつたまゝ過して來て居た。即ち母性の社會的任務から起るすべての重要な問題が、從來、其の重要なる事に於て第二次の物であると考へられて居た事である。しかし、此の現在に於て、人類が一個の經濟組織から他の組織へ遷さうとして居る秋に、新舊兩世界の間の避くべからざる戰鬪の流血に際して、更に社會的動搖、經濟的危機、飢餓の流行の前に臨んでは、如何に人生を特異に觀察する者にも人口の程度と其の正則的增加の問題が、實に特殊別異なる重大價値と意義とを有するてふ事は、實に理解し易い事であらう。

健全なる母性は、社會的政治上、重要なる問題となる。婦人は、人類種族の母たる重要性の見地から計られねばならぬ。資本主義諸國に於ては、ブルジョワ政府は人口の率に關して腐心し而して奬勵金や特權等の特殊手段の下に出產率の向上を計つて居る。勞農ロシヤの勞働しつゝある全人口は、勞農ロシヤの婦人の勞働者及び農民が、市民としての權利と責任とを悅びつゝあるのみでは無く、更に、生命ある勞働力の部隊であるのみには止らず、實に亦、未來の健全なるヂエナレエションの母親であるの事實を顧みれば、勞働婦人に急速なる援助を與へ得るのである。

勞働婦人を、無產階級全般としての鬪爭の場裡に勸誘するのみでは無く、更に一個の婦人として母親としての利害を常に胸に抱く必要あるを悟らしむるの問題は、世界的に現代の事情の結合によつても亦命令されて居る。驕傲なる資本主義の侵襲に依つて、先づ損害を受けるのは婦人である。大規模の罷免と失業とは第一に婦人勞働者を惱ます。又生活費の騰貴は收支を相償はせる爲に勞働者の妻の神經を傷める……賣淫の急速なる增加があり、嬰兒の死亡率が增加の傾向を示す、未來の母たる婦人の憔悴は來るべきヂエナレエションの活氣の減退を惹起させる。無產階級は、無數の勞働に從事する「母」の苦惱の上に、聯合的階級努力に依つて留意し感應し、而して勞働婦人の必須の必要より生じた要求を、それの現實的な、火急な戰鬪的問題の中に含む事に、非常に利害を持つて居る。

三月八日の赤色記念日は、かるが故に、單に婦人のみの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

記念祭には止らないのである。それは組織に依り婦人部局を通じて行はれる、共産黨の普通的な記念日となる。若しも從來此の三月八日が、共産主義の建設の爲の一般的鬪爭に加入せしめん事を目的として、婦人勞働者のみに訴へられて居たとしても、今や、擴張して只今より無産階級と小作人階級との男性に對しても訴へる事が、共産黨の任務でなければならない。單に婦人勞働者をして、自らの救濟は共産主義とソヴィエットとを維持する事に存する悟らしめる事のみでは充分ではない。更に、ありとある勞働者及び農民も亦、同樣にして、母性と女性との保護は共産主義政策の一個の重要なる任務である事を敎へられねばならないのである。熟考と決心とを以て必要なる世界的運動を處理する爲には、勞働に從事する全人口が此の問題を充分なる眞劍さを以て考慮するだらう樣に、配慮されねばならぬ。

故に、ロシヤ共産黨は、全無産階級の協同的努力に依つて三月八日の婦人勞働者の赤色記念日を、婦人勞働者及び農民に對する具體的の助力と結合する事を提案する。此の危險多き年に於て、勞働に從事する婦人の要求の滿足の爲に鬪爭するの重要なる事を理解し得るは、全世界に於て、共産黨とそれの世界的首腦部たる共産インタナショナルのみなる事實を、婦人勞働者をして、確信し且、判然と感ぜしめ得べき樣に爲されねばならぬのである。勞働に從事せる婦人に對して與ふる助力援護は、何等の例外なしに、經濟と組織（純物質的なる意義なると同時に倫理的意義の）領域に於て爲されねばならぬ。

ロシヤに於ける該黨は三月八日に於て、各地方のE・Cと縣の敎育局と靑年共産主義者同盟（ワイ・シイ・エル）等の援助により、勞働に從事せる婦人の狀態に對して、急速なる救助を與へる樣な方法を以て、以上の計畫を實現（少くともその大體を）させなければならぬ、特に、例外的に不利の境遇にある者即はち、失業中の獨身の農業婦人、子持ちの婦人、勞働してゐる女生徒、飢餓に迫りし婦人等に對してゞある。政府各局の人員淘汰（必要であり、賢明である所の）、及び多數の計算は、實に屢々誤解されて居、現今の經濟的難局に際しては、先づ婦人に痛痒を感ぜしめるのである。無慮百千の、勞働に從事せる婦人及び事務員は、實に心細い地位に居る——人員淘汰の下に於ける大規模の罷免に加ふるに、彼等は亦庇護さるべき何物も無くして殘されて居る。それが殊に大都市に多いのである。そして彼等の子供は托兒所や幼稚園から追出されて居るのだ。かゝる事實の內の大部

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

分は偶然的な事であるが、一つ此處に　明白な一般的法則がある。即はち、女は男よりも罷免され易いてふ事がある人員淘汰委員が次の問題に出會した時、即はち、誰を罷めさせるか（メエリかジョンか）と云ふ時に、昔のブルジョワの僻見を以て、彼はメエリを選んだのである。「さうだ、彼女には養ひ手があるだらう。でなければ、他分、出來る事だらう」。——此の古い頭が、未だに明らかに見えて居るのである。勞働階級の利害の見地に立てば、それの反對の答が出なければならない。即はち、婦人は單に勞働に從事する一つの力」であるのみではない。又、彼女は母である未來の兆である。社會に取つては、婦人をよい境遇に置く方が、男を置くよりは、重要な事なのである。時々、次の議論を聞く。即はち、婦人の勞働は必要ではあるが男のと比較して其の度合が鮮い、と。此の考へ方は、多くの未熟練な婦人勞働者の事を云つて居る時、理窟が立つ。そしてこれは、殘念にも、未だに多數なのである。しかし、此麼場合に於てゝも、かゝる婦人をその職業から追出す事が、社會の損益に及ぼす影響を注意して計る事が必要なのである。婦人を罷免する事に依つて生じた損失は、男の勞働者の能率を增加する事によつて、償はれるであらうか。失業婦人は賣淫の群を增加させ、それは花柳病の蔓延を助長する事となり、又、營養不良の結果として虛弱な子孫を世の中に產み出す樣になり、更に全然、生活せんが爲に、勞働に從事する夫或は父の厄介にならねばならなくなる。此れより更に危險な事が、社會の爲に此れ以上有害な事が、存在し得るであらうか。この問題は、簡單に無雜作に片づけるには餘りに重要である。インタナシヨナル婦人勞働者記念日に、ロシヤ共產黨は失業婦人の狀態の改善の爲に、次の手段を提出する。

（一）事務局及び工場の人員淘汰の內に爲された懸念のある誤を發見し次第、それを訂正し改正する事。

（二）失業婦人の狀態改善の爲に、彼等を協同的產業に（春季の近づきつゝあるを以て、蔬菜栽培團體）に組織する事。

（三）失業手當の分配に於て屢起るそれの不正則を除去する事。

（四）兒童を託兒所及び幼稚園より移轉させる事を禁止する法律の適切なる施行を、實際的に試し又更にそれを促行する事、等。

幾多の失業せる無產婦人の境遇に對して活動的な利害關

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

係を包括すると同時に、共産黨は猶、無數の孤獨なる農村の婦人、寡婦、元兵士の妻、捨てられたる妻、等に對して急速なる援助を爲さねばならない。勞農ロシヤの農民中、婦人の數は男のそれを超過する事、實に八百万である。彼等の大部分は自分で土地を耕してゐるのである。しかるに婦人が自ら、何等男の働き手の力を借りずに、仕事を立派にやつてのけると云ふ事は出來ないと解する方が道理である。而して其の結果たるや田園は放棄される事の爲に荒れ果て、そして其の爲に國民の經濟が惱まされるのである。農業の正則的發達と革新の利益の爲には、獨身婦人の管理する農園を扶ける事が必要である。三月八日には、我が黨は此の點に於ては 次の 如き實際的方法を進めねばならない。

(一)種子、苗等を供給する時獨身の農業婦人に對して第一の優先を與へる事。

(二)原野の耕耘に當つては、相互扶助會の手を經て、獨身の農業婦人に對して男手を供給する事。

(三)獨身の農業婦人を協同的の農工業團體に組織する爲の、統一的運動を管理する事。

(四)農業婦人の母として又家政婦としての苦勞を鮮なからしむるを目的として、托兒所及び同樣の制度の組織の爲の特殊基金の基礎を、町村及び縣區の協同的團體と提携して、三月八日に於て作る事。

勞働に從事して居る母親達の狀態の改善は、我が黨の主要なる問題となる。經濟的再建と、健全なる人口の増加とに關聯して、共産黨は完全を期して、母性の保護の問題に付いて計畫せねばならぬ。即ち國家的庇護の古型ではなく自助の主義の最も廣い意味の適用の組織を通してゞある。

組合、工場管理、協同事業及び、相互團體は、母親と子供の保護の爲に作られた諸機關を、即はち譬へば托兒所、母親ホーム、子供ホーム等を、氣を付けて扶ける樣に、又能ふ限りの手數に依つてそれを擴張させる樣に、ならなければならぬ。是の如き計畫を八月三日に各所で採用するならば事件は餘程進行する事であらう。

苦學する女生徒の場合に於ても、これに優るとも劣らぬ注意が必要である。現在に於ては學生の狀態は實に變則的であり又全く覺束ないものである。

勞働に從事してゐる男女青年は智識に渇し學問に飢えてゐる。此の智識に對する飢渇をして根を張らしめるのは、勞農ロシヤに取つて重大なる利害關係となる。即はち、我

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

我の經濟的生活を復活させ又我々の產業を再建する事は、實に全く只だ、智識を極力普及せしむる事に依つてのみ成就するのである。我が共和國は、此の智識欲を鼓舞すべきである所を、他の難問に全く沒頭してゐて、その精力を過費してゐる青年が、補充的智識を得んとて、我々の勞働して居る所の不可能な觀過すべからざる狀態をば、知らずに放置してゐるのである。勞働に從事してゐる青年は實に英雄である、飢餓、寒氣、專門的設備の缺陷等、智識の道程にはあらゆる種類の障害が橫たはつて居る。しかしそれにも不拘、智識に對する渴はその障害を打ち負かすのである。男女學生を援助するは我が黨並びに我が共和國の重大問題である。此の點に於て幾多の實際的手段がめぐらされねばならぬ。先づ第一に、農村及び勞働してゐる女生徒の物質的狀態を改良せねばならない。即はち彼等の寄宿所を完全に修補し、更に新しいものを加へ、彼等の食物衣服等を完全に保證する等である。次に失業中の女生徒の名簿作成、及び彼等に種々なる仕事を與へる事等の方法が攝られねばならぬ。最後に、婦人に對する專門的職業の訓練の基礎を擴張する爲に、特別な注意が拂はれねばならない。これが最も主要な問題なのである。即はち婦人にのみ限られた勞働がない事が、勞働婦人の生活や勞働の蹉跌する障害なのであり、又週期的失業の原因なのである。婦人勞働の制度を騰げる事は單に勞農ロシヤの有用なる勞働者の隊伍を增加せしむるを意味するのみには止まらず、實に婦人の境遇を向上せしむる事、即はち彼等婦人を男より獨立せしめ、又それを扶けしめる地點を與へる事、或は彼女をして失業の窮迫の下に於ける賣淫の怪物より身を免かれしむる事を意味するのである。婦人に對する專問的及び一般的教育の勃興と勞働に從事してゐる學生等に對する力を極めし援助の擴張とは、三月八日の爲の活氣ある呼び聲である。

最後に、三月八日に我々は次の事を忘却してはならない即はち、飢餓に襲はれてゐるヴォルガ地方に對する救濟が我々の根本的な不變的な問題として殘してゐる事である。更に、此の仕事が我が黨のあらゆる運動と集合との不斷の心得として支持されなければならぬ事である。如是にして三月八日は我が黨に依つて我が國の勞働する人口全般に涉つての、婦人に對する保護援助の日と爲されるのである。ブルジョワの婦人參政權論者は男女の權利を越えない。萬國の共產黨は只だ男女の同權を要求するのみには止らず、更に實に婦人を未來の働らき手の母として に對する特別的

留意を主張するのである。全世界の勞働階級（婦人を含む）を指導して完全なる解放と無產階級獨裁の完成と堅實化とを齎らさんとする共產インタナショナルを支持せねばならぬのは此の故である。勞働婦人及び農業婦人の助力にして無くんば、ロシヤに於ける民衆の經濟的向上は、又農業の增加と產業の發達とは、出來ない事なのである。又他方に於て、經濟戰の勝利にして無くんば、無產婦人に最も打擊を與へる失業に對する、母親と子供の廣く眞なる保護の發展の方法も立たぬのである。三月八日の共產黨の任務は共產黨インターナショナルの旗幟の下に集り來る婦人勞働者及び職業婦人を增加させる事である。

ルール占領に抗議

佛のルール侵入と、それに反對する佛國無產階級に對する佛國政府の壓迫に向つて、全日本の無產階級思想團三十六團體は、二月二十七日、佛蘭西大使の手を經て本國政府へ抗議しました。本社もそれに加つて微力をいたしました。

無產階級の文化

如上の題を以て、平林初之輔の論文集が出た。あれは平林が、大正十年と十一年に書いた、二十篇の論文を集めたものである。無產階級の鬪士としての平林の、尊き鬪ひの產物であるから、出來るだけ廣く讀んで欲しい。而して、今の病床の人としての彼を慰さめ、はげまして欲しいものである。價二圓、牛込早稻田鶴卷町泰文社發行、——編輯者——

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ロシア小のさき同志を救へ

相ついで起れる Catastrophes——戰爭、封鎖、飢饉——は罪のない何十万の兒童を家なしに、孤兒にし、飢ゑさせ健康を破壞した。嗚呼それは何人の罪であつたか、僕たちは餘りによくそれを知つてゐる！

戰爭——歷史上最初の無產階級國家をあの資本主義諸政府の犬であるコルチヤツク、デニキン、ウランゲル、セミヨノフ etc, etc の魔手から救はんと邊疆に出征した父親たちの多くは遂ひに再び還らなかつた。

封鎖——『犬』たちの失敗を知つた資本主義諸政府の次に採るべき手段はこの封鎖であつた。彼等こそ文明を破壞すべき悪魔ではなかつたか。

飢饉——それは餘りによく知られてゐる。旱魃、內亂、封鎖、わが子のため一片のパンの殼でも探し求めんと家を彷ひ出た、飢ゑきつた父親たちは遂ひに還つてこなかつた。

諸君よ、プロレタリアの子たちよ！　何十万といふ新時代の子（ニュージェネレーション）——ロシア革命の相續者——は今や滅亡に瀕してゐるのだ。

もしもソビエツトロシアにして生存すべきものであるならば、この兒童たちも亦生存すべきものではないか。未來は兒童たちの肩にかゝつてゐる！　これら無數の兒童たちを收容し、これに家と食物と養育を與へるのは、僕たちプロレタリアの義務でなくて何であるか。

僕たちはこの仕事のために諸君の時間と金とを要求する第一、諸君自ら一人の孤兒を收容せよ、第二、他の私人或は家族に一人の孤兒を收容する樣に說服せよ、第三、諸君の勞働組合、諸君の友愛的、社會的、慈善的團體として一團の孤兒を收容する樣に說服せよ。

諸君よ、諸君は即刻この仕事を始めねばならない。

憐れな孤獨な、飢ゑたる兒童たちは今や暖き椅子と、一片のパンを諸君に嘆願してゐるではないか。諸君よ、諸君の金は奇蹟を齎らすであらう！

ロシア兒童救濟具體案

一、ロシア舊貴族の邸宅を改築して各戸に百人宛の兒童

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を收容し、十戶を a children's colony と稱して病院を一つ附屬せよ。

二、兒童一人當りの設備費が約十圓、一人當り一ヶ月維持費約四圓である。

三、本社は第一期計畫として兒童五人一ヶ年維持に從ふ總費二百九十圓である。

（御寄附下さつた方には一々受領證を差上げませぬ代りに本誌上で御報告します。——責任者——）

規　定

一、兒童五人設備費並に一年維持費合計二百九十圓を以て第一回送金とします。

二、寄附金額には制限はありません。

三、送金方法は成るべく振替を利用されること。

四、設備費に幾何、維持費に幾何と分けたい方はその旨明記されること。

五、毎月一人當り維推費（四圓）を出す餘裕のない方は毎月半人分（二圓）又は四半人分（一圓）或はそれ以下でも毎月つゞいて送金下さればこの救濟運動の眞精神に合致するでせう。併し毎月一定額送金して下さる方はそれを豫約する旨を附け加へて下さること。送金は向ふ一年內を以て第一期とします。

六、この救濟運動を全國化する一方法として地方の讀者諸君が中心となつて兒童の二人でも三人でも救濟する會を作つて頂きたいこと。それと本社とは必ず連絡をつけること。

七、用件は種蒔き社ロシア兒童救濟掛宛照會して下さい。

一九二三年二月

東京市外千駄ケ谷穩田一〇一
（振替口座東京五九三八七）

種蒔き社

責任者　平林初之輔
監督者　秋田雨雀
　　　　有島武郎

寄附者芳名第一回報告

（二月五日〆切）

一、一圓　谷賀廉介（東京）
一、同　近江谷益代（同）
一、五十錢　近江谷三枝（同）
一、同　近江谷玉井（同）
一、同　近江谷健美（同）
一、同　近江谷鑌八郎（同）
一、同　島山雅郎（宇都宮）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一、一圓　松本弘二（東京）
一、五十錢　松本フジヱ（同）
一、一圓　今野賢三（同）
一、同　松本淳三（同）
一、五十錢　松本葉（同）
一、一圓　山川亮（同）
一、同　青野季吉（東京）
一、五十錢　青野ミツホ（同）
一、一圓　佐々木孝丸（同）
一、五十錢　佐々木幸惠（同）
一、同　佐々木文枝（同）
一、同　柳瀬正夢（同）
一、一圓　金子洋文（同）
一、五十錢　金子シヅ（同）
一、一圓　小牧近江（横濱）
一、五十錢　小牧光子（同）
一、同　矢津九郎（東京）
一、同　山口氏門（同）
一、同　市川義雄（同）
一、同　若松忠一（同）
一、同　柳橋貞雄（同）
一、一圓　近江谷晋作（同）
一、同　村松正俊（同）
一、五十錢　村松イク（同）
一、同　村松カツ（同）
一、一圓　平林初之輔（市川）
一、五十錢　平林ヨシ（同）
一、同　平林アキ（同）
一、一圓　津田光造（蒲田）
一、五十錢　津田ツネ（同）
一、一圓　上野虎雄（同）

右小計二十五圓也

□急告□

雜誌が、讀者諸君の方へ隨分屆かないらしい、郵便局の方でか、何處でか取られるのぢやないかとも疑はれる。然し、それは仕方がないとして、屆かなかつたら一寸知らして下さい。送ります。——發送係り——

巴里コムミユンとその教へ

青野季吉

人類歴史最初の勞働者政府たる巴里コンミユンの樹立されたのは三月である。それは、全世界の無產階級の忘れるとの出來ぬ月である。今月はそれから五十二年目になる。コンミユンは僅か七十日餘で倒れたが、ロシア勞農革命はコンミユンの示した經驗から、多くの事を學んだ。勞農革命の勝利の有力な一因は、確かに、巴里コンムユンであつた。ロシア革命を無產階級革命の出產とすれば、巴里コンミユンは正にその最初の陣痛であつた。私はいや極く手短かにコンムユンの史實と、それから得た無產階級の教訓を調べて見やう。

巴里コンミユンの史實はざつとかうなのである。

一八七〇年七月十九日、フランスはプロシヤに宣戰を布告した。ナポレオン三世の豫想は見事に外れて、プロシヤ軍は連戰連勝、長驅して、巴里を包圍した。

巴里の籠城は冬まで續いた。翌七一年一月二十七日、政府は私かにプロシヤ軍と休戰條約を結び、二月一日、チエールが國民議會の牛耳を執つて、講和條約を議定し、兎も角普佛戰爭は終りを告げた。

戰爭中、武裝せる巴里の勞働階級は、常に戰ひの繼續を望んでゐた。ところで一度び平和にかへると、政府の新首腦チエールは、大地主と資本家の階級支配のためには、巴里勞働階級の武裝を解かなければ、枕を高くしてゐることが出來ぬのを覺つた。彼は先づ第一にそれに着手した。三月十日夜、政府軍の一隊は、國民軍（武裝せる勞働軍）の大砲を盜み取らうとしたが、失敗に歸した。武裝せる巴里は恰かも一人の如く政府軍に抗し、こゝに巴里と、曩にヴエルサイユに引移つた政府との間に戰ひが宣された。『一八七一年三月十八日の拂曉、巴里は雷鳴の如きコンミユン万歲の絕叫をもつて呼び醒された。マルクスは『フランスの內亂』で、さう描いてゐる。

三月二十六日、巴里コンムユンが樹立され、翌々二十八日宣言された。『市民諸君！　諸君のコンムユンが樹立された。……諸君は諸君の運命の主である！……』との布告が

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

辻々に高くかゝげられた。

三十日には、徴兵制度と常備軍とが撤廢され、國民軍(叉は護民軍)が唯一の軍隊となり、武器を執り得る全巴里民は之に屬することゝなつた。同時に、地代は免除され、質物は返還され、外國人にも等しくコンムユンに加へれた。

四月一日には、コンムユンの官吏の最高給料が、年額六千法(三百四十磅)を越へざることゝ決定された。

翌二日には、敎會と國家の分離、宗敎的目的を有する一切の國庫支出の廢止、一切の敎會財産の沒取が宣布された。

六日。斷頭臺が大衆歡呼の中に燒き棄てられた。

八日。一切の宗敎的偶像、禮拜、即ち『個人意識の範圍に屬する』一切のものの撤廢が宣せられた。

十二日。大奈翁の建立したバンドームの廣場の記念柱は『國民的虛榮と國際的嫉視』の記念だとして破壞された。

十六日。一切の工場及び職場を組織化し、協同的に活用す可き命令が發せられた。

二十日。パン燒職人の夜業が廢止され、惡親方の巣窟だつた職業登記所が閉塞された。

三十日。質店の閉鎖が命ぜられた。

五月五日。コンミユンは、ルイ十四世の死刑場なる小祠の破却を命じた。

かうして巴里コンミユンの理想家だちが、あらゆる方面にその積年の理想を手つ取り早く實現してゐる間に、ヴエルサイユのブルジョア軍は刻々――を磨いてゐた。五月の初旬に到ると、モウ巴里コンミユンはその全注意と勢力をそれに向けなければならなかつた。いまヴエルサイユ軍の方の、軍誌を一見するとかうである。

四月七日。ヴエルサイユ軍はセイヌ河の橋を占領した。

四月中旬から下旬。ヴエルサイユ軍は明らかに優勢となり、これまで左顧右眄して、一度びはコンミユンに妥協のワナを投げたチエールが、高言を放つやうになつた。

五月三日、南翼において、ヴエルサイユ軍は、ムーラン・サクエーの角壘を奪取し、十四日にはヴアンヴの角壘を占領した。

二十一日。ヴエルサイユ軍は、とうとう、巴里に入城した。

彼等が巴里に入るや、近世史に類例のない――を行つた。一週間の巴里は、修羅の巷と化した。それはまことに『血みどろな一週間』であつた。コンミユン人の捕縛され

たもの五万五千人、――――――――――――――――――――――――――――――――た。

かうして、巴里コンミユンは倒れた。人類最初の勞働者政府は殺されたのだ。

――死んだ――――

× × ×

マルクスが、巴里コンミユンから得たる敎訓は何であつたか? コンミユンの翌年一月二十四日附で、マルクス、エンゲルスが『共產黨宣言』の新獨逸版につけた論文には『共產黨宣言のプログラムも、今日では、所々時代後れとなつた……別けても、巴里コンミユンは、勞働階級は、單にその在りあわせの國家機關を取りあげて、それを自分等の目的に使用するわけにはゆかないことを、明白に示した。』と言つてゐる。しかもその最後の敎訓は、マルクスの『フランスの內亂』中から引き來たつたものである。これこそ巴里コンミユンが、マルクスに與へた最重大な敎訓でなければならぬ。

ロシア勞農革命の產婆役レーニンは云ふ。『議會政治・――――、勿論、代表機關と選擧といふ原則の廢棄ではなくて、代表機關を・今日の如き單なるお饒舌りの場所から、――――ることである。コンミユンは議會制度たる可きでなくて、同時に立法部と行政部とを兼ねた實行の機關たる可きであつたとのマルクスの一語は眞である。……吾々は議會制度のないデモクラシーを考へなければならぬ』と。それこそは實にソヴイエツト制度だつたのだ。

赤軍を編制して勞農革命を保障したトロツキーは云ふ。『巴里コムミユンには、その鬪士だちの準備の不足、プログラムの矛盾、指導間の不一致、劃策の不決定、その遂行上の混雜があつた。それがコンミユンをして敗北に終らしめたものだ。しかし私は、最初の無產階級共和國の、青白い黎明――ラヴロフの言葉――としての巴里コンミユンを尊重せざるを得ない。』と。

巴里コンミユンの與へたこれらの敎訓によつて、ロシア勞農革命は、準備と一致ある共產黨を頭とし、ソヴイエツト制度を胴となし。大赤軍を手足として、勝利の戰ひを戰つたのだ。(了)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

赤列車

純粋なれ、而して彼等を記憶せよ

小川未明

個人の生活を他にして、「人生」があり得ない如く、民衆の一人である、自己の生活を他にして、所謂「民衆」なるものがあり得ない。

民衆の中に！　これは、いゝ言葉だ。しかし、私達の頭に描くやうな民衆が、いつたい何處にあるのだ。

民衆といへば、正直で、眞實で、勤勉で、義理の精神に富んでゐる人達を想像するだらう。そして、そのことは、單に想像する丈けでもなつかしいことだ。

しかし、こんな人達の集團が、いま何處にあるか？　ゴルキイの「夜の宿」を讀んだ人は、あの中に、たしかルカ老人の言葉であつたか、——正義の國は地圖を開いて探がしたけれど何處にも見當らなかつた——と、言つてゐる。それと、同じことだ。

たゞ、私達は、さういふ懐かしい民衆を眼に描くのだ。さうありたいと希ふのだ。ちやうど、正義の國を私達の力で、この地上にいつかは建設したいと希ふと同じなのだ。其の希望だけで滿足するのだ。そして、恐らく、そのことは、絶望ではないだらう。

民衆の精神は、自分から持たなければならない。一人の感激によつて、民衆は勇氣付けられるのだ。個人の生活を離れて、人生の內容があり得ない如く、一人の感激を離れて、民衆の靈魂はあり得ない。

自分の向上と、眞實と、而して、犠牲の精神は、即ち、民衆を醇化するものだ。自身の努力によつて、民衆は、ます〳〵美しく、正しいものとなるであらう。

自己犠牲の精神！　これより、民衆を美しく、正しく、淨化するものはない。民衆と自分と對立して、別な存在と考へてはいけない。自分は、即ち民衆の一人なのだ。自分の正しくあることは、即ち民衆の正しくあることとなのだ。

みんながさう眞に信じた時、民衆は、強く、勇ましく、感激に滿ちた存在となるのだ。

プロレタリアの精神を有する者は、自身の行動について常に鑑み反省しなければならない。自身がプロレタリアであるといふことの意識は、正しい人間であるといふことの意識だ。

物質のために、名利、榮譽のために、互に陷穽し、欺瞞し、嫉視し合ふ如きは、自身の良心に問うて深く恥じなければならない。これは、プロレタリアの精神ではないからだ、資本主義制度の下に奴隷たる人間の心理であるからだ。

プロレタリアの文學は、プロレタリアの行進と終始しなければならない。背後に、プロレタリアのあることを忘れてはならない。プロレタリアが、搾取され、機械視され、苛酷な虐使をされてゐる間は、プロレタリア文學は、反抗と、闘争と、正義のための叫びでなくてはならない筈だ。

プロレタリアの大衆を離れて、プロレタリア文壇の別に存在する理はないのだ。絶對にあり得ないのだ。

所謂、民衆作家の精神の眞價は、蓋しこの一點で明かに區別されるであらう。

最近、プロレタリア文學に對して、漸く批難の聲が起つて來た。この時に於て、私達は、警戒しなければならない其の批難する者には、二つの意義があり得るからだ。

一つは、其の作家の精神が、眞のプロレタリアの精神でないために批難することである。これは、正しいことだ。かうして、プロレタリアは、醇化されなければならない。眞の戰に赴く者にとつては、嚴密な撰擇は必要であるからである。しかし、私は、この場合、其の批評家は、プロレタリアの精神を有する純粋な人であることを信ずる。それでなければ、彼に、批評の權利はないからだ。

もう一つは、ブルジョア精神を有する批評家によつて、放たれた批難である。これは爲方のないことだ。寧ろ當然なことであつて、プロレタリアは、飽迄挑戰しなければならない。

たゞ、最も憎むべきは、眞にプロレタリアの精神を有せず、またブルジョア文化のために盡す誠意があるのでなく利巳主義のために、曖昧な立場に居つて、味方と信ずる者を攻撃する輩だ。

プロレタリアの行進、言ひ換へれば、民衆の意志は、すでに定まつてゐる。同じくプロレタリアならば、これを愛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

護すべきである。しかるに、自身プロレタリアの精神からして、從つて、プロレタリアの事業と生活を愛する意志なくして、表面味方となり、却つて、陰に眞理の進行を阻止せんとするならば、明かに、我等の敵である。

私達は、自己をます／＼純粹ならしむべく鞭撻すると共に、一方かゝる輩に對して深く警戒しなくてはならない。そして、プロレタリアを陷る者を、永久に記憶せよ。

鐘

海野榮

昨夜私の家の近くに家事があつた。

私はあのせはしない何處か人の心を不安に驅る「半鐘」の音を耳にする度に必ずヘルツエンの事が頭に浮んで來る。ヘルツエンが露西亞共產主義の創始者であつて、彼がロンドン亡命中に發刊した急進雜誌「鐘」が六十年代の露西亞改革に大影響を及ばしたことは今更此處に述べるまでもあるまい。

彼は一八一二年に生れ一九七〇年に世を去つた。その生涯を通じて彼が現した著述は實に夥しいものである。

彼の性格は非常に貴族的な個人主義的色彩に富んでいたが彼の純眞な藝術家肌の熱情と急進的な革命思想、並に人心の奧底に觸れねばやまぬ劇烈な彼の文章は殊に當時の青年の間に多數の共鳴者を見出した。彼れがツルゲネフやバクーニン其他多數の藝術家や無政府主義者に取卷れてゐた事實から見ても彼の人となりの一端が窺はれる。

ヘルツエンは社會は互に自由な個人の單なる集合であつて、社會と個人とは互に獨立してゐると考へた。そして彼も他の多くの露西亞社會學者と同じく、露西亞社會は特種な「進化」の徑路を取つて發達すると確く信じてゐた。彼のこの主張と今日の勞農露國の現狀とを對比して考へて見るのも興味の深いことと思ふので、以下に彼の大體の主張を述べて見る。

彼の主張する處に依ると『露西亞人が歐羅巴人種に屬してゐるからと言つて、物理學的な絕對不變の法則に依つて歐洲諸國民が通過して來たと同じ進化過程を彼等も通らねばならない理由は少しもない。若し舊諸國民が融合して獨特な一國民を造るに足る新らしい土地があるとすれば、西歐諸國と異つた狀態の下に獨特の生活始源を持つて發達することの國民が歐羅巴人の轍を踏んで行かねばならない理由

は少しもない。殊にその國民が歐羅巴の將來を自覺していたなら斯くの如き必要は全然ない譯である。」

一露西亞は是迄獨特の發達はして來なかつたが、或るものを保存して來た。露國民は農地コンミユーンがあつた爲めに、蒙古の蠻人や、歐羅巴式の地主や、獨逸の官僚主義から免ねることが出來た。コンミユーンは非常に破壞せられたけれど、今日迄國家の干渉に對抗して來たのである。コンミユーンが今日も尙ほ存在し、私有財産制度がコンミユーンの財産を瓦解せしめなかつたことは露西亞の爲め大いに慶賀すべきである。又露西亞が總ての政治運動や歐洲文明から疎外されたことも露西亞の爲め喜ぶべきだ。』

「佛蘭西の未來が勞働者の手に歸するものとすれば、未來の露西亞は農夫の手に歸するだらう、社會革命思想は歐羅巴思想である。然しそれだからと言つて西歐國民でなければ其を實現し得なとい言ふ理由は少しもない。事實假令社會主義が衰微しつゝある社會を再興して其の使命を全うし得ないことが實證せられたとしても、露西亞は其を必ずや全うするだらう。露西亞には固定したり化石したりしたものはない。露西亞內にあるものは皆な如何なる形をも取り得る豫備期にある。」

「[illegible]た國民思想となり得る。歐洲では[illegible]無秩序と恐怖の怪物の樣に思はれてゐるが吾々には[illegible]露國民の未來の幻像となつて現れる。」

「如何にせばコンミユーンを維持し、同時に個人に自由を與へ得るか。如何にせば地方自治體を擴張し、同時に國家の統一を計り得るか。露西亞の未來の問題は實にこの二點にある。露西亞國民生活と西歐の科學。この兩者の結合が[illegible]」

「露西亞農民の未來文明に對する貢獻は三つの要素からなる。是等の要素は古くから露西亞にあるのであるが、吾々は今日漸くそれを自覺し出した。そして是等の要素は西歐の經濟改造運動中には缺けてゐるものである。」

その三要素とは即ち、(一)各人が土地を[illegible](二)その共有(三)地方自治制の三つで、是等の要素を基礎としてこそ初めて未來の露西亞は發達し得ると言ふのが彼の主張である。

私は昨夜の火事でヘルツエンの「鐘」が思はれてならなかつた。

通俗藝術家出でよ

藤井眞澄

こゝに云ふ通俗とは、文字通り俗に通ずるといふ意味でお粗末だといふ意味ではない。「俗」といふ言葉は、「僧俗」といふやうに、元來僧侶に對して出て來た言葉だ。それが次第に時代と共に變化して、一般民衆といふ意味になつたものと思はれる。「俗惡」「卑俗」「風俗」「俗人」などと用ゐられて、ともすれば「お粗末」といふ意味に使はれる。がさういふやうにしたのは、特權階級たる彼等僧侶や貴族や武士や學者どもが、其地位を威張りたい――といふのに多くの源因を有つてゐると思ふ。それは兎に角、こゝで僕用ひるのは、佛教で云ふ「衆生」から生れ、今日の「民衆」にまで進化して來た、それと同じ意味の言葉だと思つて貰いたい。最もよき意味の、廣久にして偉大なる意味の、それだと思つて貰いたい。

日本の所謂る文壇なるものは、自然主義勃興當時から、次第々々に特殊的なものになつて來てゐる。最も惡き意味の、高級なものになつて來てゐる。元來自然主義は近代科學の發達と共に勃興して來た、中產階級、智識階級の、個人主義の思想上に於ける運動であるから、(政治上では民主主義運動)さういふやうになるのも、一面無理からぬ事だそれは封建階級を上に攻擊すると共に、貧民勞働者を下に抑壓するものだ。從つて其藝術も亦、上に僧侶武士文人階級の貴族文學を破壞し、下に舊町人舊百姓の通俗趣味を輕蔑しようとするの態度となるのである。而かも歐羅巴の自然主義には、其底に立派な科學精神が澄み、その個人主義は直ちに社會主義にまで徹底したのであつたが、日本のはさうは行かなかつた。科學精神も遂に古く、個人主義も表面に流れて、今日の如きみじめな自然主義小說とは成り果てゝ了つた。そこで其反動として、新趣味派、新貴族派、人道派、宗教派が出て來て、今日の此の滑稽な時代錯誤とはなつたのである。

それに日本の小說家の多くは、南歐の貴族的な小說と、ロシヤのインテリゲンチヤの小說との、惡い影響を受けてゐた。それも今日までの文壇が、特殊的であり高級ぶつてゐる有力な原因の一つである。それについての詳しい事は他日に讓るが、今日擡頭のプロ作家の多くさへ、この傳說をなか〳〵受けてゐるやうである。

舊ロシヤは貴族と農奴の二階級で、この貴族の中からインテリゲンチヤは生れたものだ。而してそれから出て來た文學は、農奴解放の文學ではあつたが、それは教育のない農奴には味へるものではなかつた。農奴には謂はゆる普通教育さへなくて、彼等文學者から見れば、野蠻人に等しかつた。野蠻人には野蠻人に適はしい、鄕土藝術傳說藝術があつた――それは今日のロシヤの謂はゆる農民藝術の源泉をなすものだ。この折角の革命藝術家の農奴解放の文學も其考案と其表現は遂に、インテリゲンチヤ以外のものではなかつた。智識階級が智識階級に宣傳するものであつたのだ。少くとも今日の日本の文壇小說家により多く讀れてゐる物は、實に斯かるものである。ドストエフスキー、トルストイ、チエホフ、ツルゲネーフ、ゴルキー、アルツイバセフ……それは立派な革命小說家ではある。が、それは皆んなむつかしい。

南歐の文學の傳統は、必ずしも高級なものばかりではない。ユーゴーの如きデューマの如きゾラの如きも、なかなか通俗的な作を出してゐる。ユーゴーのレ・ミゼラル」は云ふまでもなく、デューマの「モントクリスト伯」なんか大したものだ。ゾラの「巴里」や「ジエルミナール」や「トウヴエーユ」などは、通俗小說として實に立派なものである。が、前も云つなやうに、日本の自然主義小說家には、近代科學の精神なく、その個人主義を染めて社會主義に徹底する事が出來なかつたので、モーパツサレやフローベル邊りの特殊趣味の猿眞似に終つて了つた。

今日のプロ文學派は、以上の如きヘンな自然主義の傳統をより多く受け、その反動派である新趣味派、人道派、宗敎派等と戰つてゐる。從つて彼等のものが、其敵であるブル作家の作より、其考案に於て又其表現に於て、却つて特殊的となり高級ぶつてゐると見られるのは致方もない事實だ。新趣味派菊池寛や里見弴、宗敎派倉田百三氏や賀川豐彥、人道派武者小路などの表現は、プロ作家のより却つてやさしところがあるのは、即ち以上のやうな由來因緣によるのである。

僕等は昔から常に其點を慣慨して、而かも大いに怨まれ憎まれて續けてゐるのであるが、今やプロ文學流行にならんとする好機を以て、更らにこの問題をクリ返さうと思ふ。先づ算盤の上から考へて見よ、文壇小說の讀者といふものは、一千乃至二千に過ぎないのである。而かもそれは一般民衆ではなくて、文學希望の青年に過ぎないのである。如

何に彼等仲間に偉大なる評判を得たところで、其得る收入や、知れたものである。毎月少くとも百枚ぐらゐの原稿をコツ〳〵と書き上げなくては、其生計は保てないのである論より證據——其好評嘖々たるプロ文士の先輩を見よ。思ひ半ばに過ぐるであらう。收入の點は兎に角、新しき時代と新しき社會の要求を考へて見る時は、必ずしも文壇中原の鹿のみを追ふのが、本當の藝術家の職分でもない事が分かる筈である。プロ作家は自然主義の傳統を受けた文壇の讀者の、其またおあまりを頂戴する以上に、新趣味や人道派や宗敎派等の有つ、其多數の讀者を奪はなくてはならない。否、それ以上に新らしき多數の讀者を得なくてはならない。そこで必然に「通俗藝術創造の必要」が起るのである。從つて「社會講話」「通俗小說」「家庭小說」「傳統小說」「歷史小說」「怪奇小說」「探偵小說」「民衆劇」「俗謠」「映畫劇」「科學童話」……などの革命化といふ問題が起るのである。

今日流行の通俗作家には、昔に較べて、なか〳〵おもしろい者が見られる中里介山の「大菩薩峠」や大泉黑石の「老子」などは注意せられるべきものと思ふ。中でも探偵小說の新しき出現者として、僕の最も興味を有つ者に白井喬三なるものがある。それには革命精神があるのではないが、少々の社會批判と多分の時代背景がある。その考案や文章は實にうまいものだ。特に是れが日本的なところを贊成したい。英のドイルや佛のルーパンに較べて、決して彼れは勝るとも劣らないと思ふ。日本にこの作者を得たといふ事は、一つの誇りでさへあると思つてゐる。彼れは如何なる身分の人か知らないが、もつと新らしき評論壇の問題になつていゝ人だ。

日本の映畫劇は、日本の曾ての自然主義文壇よりも、猶いゝみじめなものである。このまゝでは將來の發展はないと云つていゝ。勇敢なる新人よ、出でゝ之を救へ！

昔から堺枯川は其老練な譯筆を以て通俗藝術に努力してゐるが、それが飜譯であるだけ、天下の人氣を集中するに至らない。社會講談に老巧なる白柳秀湖があるが、まだパツとした人氣を得てゐない。平澤計七、井田秀明の社會ロ演も、なか〳〵物になりさうもない。

プロ小說の先驅者などゝ評判されてゐる「黑煙」出の連中は、一ばん特殊文壇のわるい中毒を受けてゐる。斯く云ふ僕の芝居なんか、讀物としては難解で「そこに痛ましきブル傳統の殘骸を見る」といふのが、定評である。が、何時までさうでもあるまい。今に皆んなもつと氣の利いた物

を作るであらう。

プロ作家の中で、尾崎士郎、中西伊之助、加藤一夫、金子洋文……などいふ人々は、通俗小説に向ふのに適はしい文壇臭くない自由な筆があるやうに思ふが、何うであるか？

が、既成の人々は兎に角、これから新しく藝術に向はんとする天下の青年よ、君等はどうか、僕等の今までに示してゐないところの、偉大なる通俗藝術の創造に向かはれたい。文壇的中毒にかゝる事なく、全然新しい、最高の美を有ち、而かも最低の表現を示す、おもしろい、分かり易い民衆藝術の建設に努力されたい。

それにつけても必要なのは、新らしき民衆の科學的精神を體得する事であらう。新社會學、新心理學、新生理學などは云ふまでもなく其基礎である。藝術方面で大いに其刺戟を受けるのには、傳奇小説や探偵小説の飜譯もいゝが、特に僕として勸めたいのは、ヂヤック・ロンドンの小説と表現派の活動寫眞である。が、それをよく／＼消化吸收して日本的獨特の創造にまで完成しなくてはならない。

種蒔き詩集に就て

過去一年に於て、本誌でもつとも活躍したのは聾人欄ではなかつただらうか。で出來るとか出來ないことか一寸見當はつかないけれどもその『聾人欄』の詩ばかり集めて「種蒔詩集」を出版したいと思つてゐる。それは現在の日本詩壇へなげる爆彈のつもりである。否、單に詩壇ばかりでない。藝術至上主義者の手淫文壇への、大きい反抗だと思つてゐる。で前號にも豫告した通り一冊五十錢見當で、今から豫約をしたいといふが、希望者が約二百人もあれば直ちに實行する。まだ五十人位しか申込がないが、續々と申込んで欲しい。豫約が思はしくないやうなら、きつぱりやめるつもりである。もともり金もお返しする。でこのことに就いての通信其他に就いては、便宜上から詩集と朱書して貰ひたい。（臨時責任者松本淳三）

宣言

世界の資本主義は今や最後の致命的矛盾に到達した。五ケ年間の戰爭も、此の矛盾を決濟し得なかつたことは、歐羅巴の資本主義復興の基礎として結ばれたヴエルサイユ平和條約が、佛國のルール占領によつて、公然破棄せられた一事によつても明かである。世界の資本主義は、內からは固有本來の矛盾のに爲に、外からは無產階級の蹶起の爲に、今や根底から搖るいでゐる。

玆に於てか各國のブルジョアジーは、無產階級の陣營に向つて

日本のブルジョアジーも亦、國際資本主義の協同戰線に立つてゐることは、無產階級運動に對する最近の態度のうちに明白に現れてゐる。そして政府が今年の議會に提出せんとしてゐる無產階級運動の徹底的鎭壓を目的とする三種の法案はブルジョアジーの斷末魔的努力を最も露骨に現はしたものである。

小作爭議調停法は、調停の名の下に、實は司法權の威力によつて小作人の解放運動を阻止しやうとするものであつて、國家の權力をして、地主階級に代つて小作人階級と戰はしめやうとするものである。

勞働組合法は、勞働階級の鬪爭の必要に應じて生まれ、鬪爭の機關として、鬪爭の必要に應じて發達しつゝある勞働組合を、資本家階級に最も有利な形態と方向とに封じ込まうとするものである。組合法案の精神は、勞働組合の公認ではなくて、勞働組合の法律的毒殺にあらざれば法律的去勢である。日本の勞働階級の幾多の犧牲によつて發達した組合は、今やブルジョア議會の一片の法律によつて、勞働階級の戰鬪の機關から、勞働階級を永久に隷屬せしめる機關たらしめられやうとする。

過激法案は都會も農村もに亙る一切の無產階級運動を威嚇し牽制し、苟も其運動が眞に資本家階級を脅やかすに足る威力となつた場合には、勞働組合運動たると小作人組合運動たると其他の社會運動たるとを問はず、過激社會運動の名の下に活動分子を一網打盡して運動を粉碎しやうとするものである。過激法案は又無產階級運動の國際化を阻止し、無產階級解放の最大の一條件であり、無產階級運動の最大の力の源泉たる萬國の無產階級の團結と協力とを、絕對に不可能にしやうとするものである。

以上三法案は形を異にし、其の適用の場合を異にすると雖も、其の精神は一つであつて、三つの法案は相俟つて、初めて無產階級運動を完全に鎭壓し得るものである。殊にブルジョアジーの政治的權力と國家機關とによつて無產階級運動を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

粉碎しやうとする一點に至つては、三つの法案は全く精神を一つにする。

――――――――――――――――――――る。故に吾々はブルジョアと共に彼等の政治に參與し、彼等の政治に對し共同の責任を分たうとするものではない。

――――――――――――――――――――――――――――――ぬ。

全國の同志諸君！

起つてこの暴法を一蹴せよ！

決　議

一、單行法によると、刑法の一部修正によると、又如何なる法文形式上の改變修正を加ふとを問はず、昨年の議會に提出せられたる過激社會運動取締法案と同一精神を存する一切の法律案に徹底的に反對する。

一、勞働組合及び勞働組合運動の無條件公認以外、苟も勞働階級の戰鬪機關としての組合の形態と行動とに干渉する一切の立法に對して、徹底的に反對する。

一、調停を名として小作人運動に壓迫を加へんとする小作爭議調停法案に對して、徹底的に反對する。

一、以上の法案に對しては、全國の勞働組合、小作人組合、其の他の無産階級團體と協力して、有ゆる手段に訴へて飽くまで之を阻止せんことを期す。

一九二三年一月

過激社會運動取締法案反對　無産者同盟

事務所　東京市麻布區森元町二ノ一九前衛社内

加盟團體

曉民會。水曜會。木曜會。『進め』社。社會主義研究社。前衛社。民衆社。無産階級社。種蒔き社。農民運動社。勞働新聞社。勞働週報社。社會思想社。勞働者運動社。風來俱樂部。自主會。下層民社。赤勞會。壤人社。無産社。インタナショナル社。流彈社。コスモ俱樂部。（以上東京）。大衆時報社。前進社。北星會。斥候隊。（以上在京朝鮮人團體）。火曜會。赤衛社。大阪下層民社。（以上大阪）『同志』社。（京都）赤衛團。（神戸）赤名會。（名古屋）牧民會。下層民社。（盛岡）秋田勞農社。秋田青年思想研究會。（秋田）信州自由青年聯盟。下伊那文化會。（飯田）北部無産社。石川勞働同盟會。（弘前）北土會。（石川）創生會。（新潟）岡山有志會。（岡山）赤想會。（北九州）曉人社。（鳥取）

批評

本營戰と外營戰

無産階級の政治運動

無産階級の政治運動の問題が、だいぶ盛んになつて來たそれと關聯して、勞働黨樹立の問題も、いろんな種類の人の口に上つてゐる。山川均氏の「解放」の論文、「當面の問題としての勞働黨」は、それらのなかで無産階級の立場に立つた尤も現實的根據を有つたものだ。

山川氏のその論文は無産階級の政治運動に、議會政策と直接行動との二つの道のあることを指摘し、日本の無産階級が、事實、現在、後者の動向をとつてゐることに、注意を喚起したものだ。そして山川氏は、解決を下すことを差控へ、問題として提出してゐる。それは全く『問題』であつて、容易に解決の下せるものでない。しかし一刻も早く解決を下さねばならぬものだ。

ハツキリと到達した明徹な結論がない場合には、直覺的に到達した潛在意的識な不明確な結論に基いて行動しなければならぬ。しかし、結論を公然と明確に提示した方が、遙かによいのだ。

勞働黨樹立如何になると、だいぶ議論があるが、[illegible]。事實現在、山川氏の指摘してゐるやうに、日本の無産階級は、直覺的に到達したその潛在意識的な結論で『行動』してゐるのだ。これに關聯して、二月の「社會主義研究」にあるロソフスキーの「戰前及戰後の勞働組合」は、是非一讀す可き文字だ。「……けれども、政治、と『は經濟の集中したものに外ならぬことは、一點の疑ひもない。是等の思想（政治と經濟を分離する革命的サンジカリストの思想など）は、如何にも革命的性質を有する思想であるかの如くに見へるが、事實に於てはブルジョアジーのために利用されてゐる。然るにブルジョアジーは自己の鬪ひのためには、曾て政治と經濟とを少しも區別したことはない。」このなかに、無産階級の政治運動の必然が、尤もよく

説かれてゐる。

とにかく、無産階級の政治運動の問題は、勞働運動の一紀元を劃するもので、眞劍に考究されなくてはならぬ。

無産婦人運動

日本にもモウ本統の無産婦人運動が起らねばならぬ。選擧權獲得運動や、地位向上運動とは異つたところの、無産婦人自身の運動が起らねばならぬ。本誌本號の企てが、いさゝかでも、それに火を點じ得たら幸ひである。

それはそれとして、共產黨インターナショナルが、無産婦人の母性の擁護のために、力强いキャンペンを起さうとしてゐることは、大いに力强い。それは實に、人類の未來を證す大いなる光であると云はねばならぬ。

誰の言葉であつたか忘れたが、無産婦人の反逆は、『母性の復讐』だと云つたが、それは實に、至眞の言といつていい。それをまた『母性の奪還』と云つてもいゝであらう。ロシア共産黨が、本年以後の努力として、無産婦人の母性を高く指示してゐるのは、いかにその行進の正しきやを語るものである。

しかしそれは勝利を得た無産階級國家や、勝利に近づきつゝある國のことである。我國のごとき場合には、そこに自ら別種の無産階級婦人自身の、任務がなければならぬ。その自覺、自覺に基く組織、それを先づ、われわれは要望する。

農村青年の前進

半月ばかり前だ。長野縣飯田の自由青年聯盟のi氏が訪ねてこられた。その聯盟が三百有餘の聯盟員を有し、蔚然たる勢力を張つて、農村資本家に對抗してゐることは周知の事實だ。i氏はたまたま聯盟員大部分の思想的飛躍の徑路を語つてくれた。曰く、私たちは長い間、有島武郎氏や武者小路氏の思想を、自分の思想としてゐたものです。しかしそれでは滿足出來なかつたのです。どうして私だちが全體として動いて行く思想を有たなければならなかつたのです。で、どんどん、そんなものを棄てゝ進んだのです。そして××××××ズムに、本統の光りを見たのです。それからi氏は、まだ同縣湖畔地方の一部青年が、有島氏などに心酔してゐる事實を語り、そんな青年ほど非活動的で、獨自主義で、本統の兄弟とならないと怒つてゐた。（有島氏などを引合ひに出してすまないが、この一農村青年の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

言葉が、より多く尊いので、失禮を敢てする。）

いつたい彼等農村無產青年が、「どうしても滿足出來ぬ」のは、何故か？　通り言葉を使へば、彼等の生の人間性が武者小路氏などの人間性から、うんとはみ出してゐたからだ。彼等の「人間」が、武者小路氏等の「人間」と、輪廓が同じでないからだ。彼等の「人間」が、舊い「人間」の鐵壁を蹴破つて、おどり出たのだ。それは實に、「人間」に向つて刄を向けたものに外ならぬ。

實際の生きて働いてゐる人間の中に、刻々に膨脹して行く人間をよそにして、「人間」の偶像の前に、眠くなるやうな、禮讃渇仰を捧げてゐる徒を、憐まずにはをれぬ。

健全な進行のため

プロレタリヤ藝術運動家の陣營の中から、プロレタリヤ藝術家に對する、警告や、規正や、叱責の聲が聞かれる。僕は、この事實を、プロレタリヤ藝術運動の進行のために極めて、祝福す可き現象だと考へる。これあつてこそ、プロレタリヤ藝術運動が健全に進行するのである。それは實に、この運動の根强さ、階級的な意義、革命的な搏力を、力强く示すものでなければならぬ。

由來、藝術家には、神經過敏な、末梢神經的な人間が多い。まだ巣立つたばかりのプロレタリヤの藝術戰士にも、そのブルジョア藝術肌の殘影の止つてゐることは云ふまでもない。そこで、これらの人々は、如上の陣營內の規正の聲を聞いて、之を陣營の分裂とか、協同戰線の斷絕とかと早合點し易い。われわれの戰鬪意志の上から見て、かゝる早合點を斷じて許せない。

協同戰線は、決して、弱卒の頸つなぎではないのである協同戰線は、飽まで、强兵の有機的索動である。鋼鐵の如き協同戰線も、一ケ所に鉛の弱線を交ふれば、直ちに破斷する。その鉛の個所を取除き、これに鋼鐵の大きな線を取代ふる事、それは實に協同戰線の、戰鬪意識の命令であるそれなくして、如何にして、力强い決死的の戰が戰はれやうぞ！　常にその用意を忘れず、それに向つて準備することあつてこそ、戰ひは健全に進行するのである。

僕は、繰返して述べ度い。僕だちの戰ひは、一時期、一波濤を以つて完成する戰ひではない。それは實に階級的の長い長い戰ひである。されば、たゞ敵の陣營の崩れ立つのを見て、歡聲をあげることに夢中となり、味方の陣營に敵兵のまぎれ込むことを忘れたならば、それは既に敗北の第

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一歩を踏み出したものである。

プロレタリヤ藝術運動の健全なる進行のために、その階級鬪爭上の意義のために、僕は、味方の同志たちが、常に相戒め相正して、行進せんことを希望して止まない。

彼等の絶望的行動

反動派の文藝家、批評家が、無産階級の藝術戰士に向つて投ずる擲彈を檢査すると、たゞ絶望的蠢動と判定するより外はない。

見よ。當てこすり、すねたもの言ひ、輕い皮肉、空笑ひ臆病な超然、時々野次をとばす高見の見物主義、チョン髷に長脇差の大見得、紙と鋏の俄細工、足をふるはせての星群觀測……それを除いて、反動派の陣營に何があるか？　それこそは、ブルジョア自由主義者の、總決算の、投げ札である。

こゝにまた狐の如き智慧を有する一群の人々がある。その全幅の努力は、文壇緩衝地帶の樹立にある。星學者も來い。道化役者も來い。プロレタリヤの戰士も、敢て辭すところでない。吾らは階級を超越する。この欽定憲法をふりかざして、緩衝國の建業に、日も之れ足らぬ有樣である。この立國の大業に、わらじばきでのこのこ出掛ける馬鹿者も、廣い世間に中々多い。社會運動でも藝術運動でも、彼等の得意の字幕は、『局外』である。而して、無産階級の陣營より放つ光彈の彈道に、局外の泉地（オーシス）の存在を許すや否やは、彼等の狐智慧を以つてして、遂に解す能はざるところである。

プロレタリヤの藝術運動が、力强き進行を示すにつれて彼等の絶望的蠢動が、絶望的逆襲に變る時があるかも知れぬ。この時に、プロレタリヤの戰士にとつて、尤も尊ぶ可き軍律は、理論と實際とにおいて、堂々たる戰陣を張り、巾廣き素肌の胸を以つて、ぶつかつて行くことである。

兄弟だちよ！　吾等の戰ひが階級的なることを銘せよ。兄弟の一人を生かすことは、敵の百人を仆すよりも尊きを知れよ！（季吉）

北吟吉氏の「獨逸國民性」觀

——獨逸國民性と其の政治的缺陷——

（外交時報二月號）

一

全體の論旨はこうだ。『獨逸國民は最も多量に近代人的特長を有して』ゐる。云ひ換へれば『多面性、多樣性、對立性、矛盾性』。が獨逸國民の特色である。『カントを生んだ國がトライチュケを生』んだことから云つても以上の性質は否定出來ない。併し又獨逸人には『近代人としての特長以外更に他の方面に』も特長がある。それはサンタヤナの云つた樣に獨逸人は「egotism即ちエゴーを中心として人生と世界を考へる、否エゴー以外の何物にも盲目である點」である。即ち獨逸人は『自己を中心として考へる自惚心の發達した Egotist であり、又時には自己を神化するegotheist である』これは『英國人が先づリアリテイーを見て事物を相對的に考ふるのと正反對である』かく獨逸人は『凡てを絕對化しなければ止まぬ。從つてミリウに對する理解は乏しく、殊に他の個人及び國民に對する理解が足らぬ。獨逸人が政治上には常に階級的地方的偏見に捉はれ、政治的不寬容、政治的分立に陷るのは勿論のこと、外交上の失敗の多いのは主として、これが爲めである』だから結局獨逸は『ビスマルク的統一か、然らずんば小主觀の相殺による無政府分裂あるのみである』と。

二

北氏は以上の如く斷案を下した後、『獨逸國民性に根ざす政治的缺陷』の現れとして外交並に內政の上に實例を引かれてゐる。前者は英米の參戰したことや伊太利日本の英側になつたこと等月並の說明に過ぎない。後者即ち內政失敗の實例として『獨逸の官僚』が大戰中『獨逸に於ては社會黨のみにて天下を左右する能はざるが明かなる如く、之を無視しては何等の政治をなす能はざるを知らず、之と提携し、進んで社會黨の有力者を入閣せしめて擧國一致の實を擧ぐることを得なかつた』ことを引いてゐる。且つ又講和後に於ても『本來の政治的不寬容』のため、例へばラウテナウの暗殺の如く獨逸政界は混沌を極めてゐることをあげてゐる。

三

『元來國民なる概念は極めて漠然たるもので』あるから從

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つて亦國民性を明確に論ずることも非常に困難なことである。よしんば北氏の云ふが如く特長國民の『持つてゐる政治制度』や『夫れが活動する時代』を『考慮』に入れてもある特定の國民性觀は危險極まる企てと云はねばならない。現にこの論文に於ても北氏は獨逸國民性を論ずる例として或は『獨逸人は……』と云つたり或は『社會黨のシャイデマンは……』と云つたり或は又『ユンカー其他官僚の徒は……』と云つてみたりして讀者は歸趨に迷はざるを得ない。例へば北氏は獨逸外交の失敗、延いては獨逸の戰敗は『獨逸國民』の自惚れのため『國際心理に暗い』ためと云つてゐるが、一體戰爭はどうして起るのか、今日の government と mass とはどんな關係にあるのか僕は改めて北氏に尋ねて見たい。だが北氏の說を獨逸の社會民主黨にあてはめれば立派にあてはまる。開戰當初社會民主黨が『對露防衛』を理由として軍事豫算に贊成したのは正に官僚の心理と軌を一にするものだから。けれども善人なる北氏は決してそんな皮肉は云つてゐない。却つて軍閥、官僚の迂過をわらふ例として『又對露單獨講和の際も社會黨は要求條件の合理的(!)なるを求めたに、ホフマン將軍は長劍を撫してトロツキーを威嚇し……』と云つてゐる。この前後で察すると『社會黨』は軍閥官僚と違つてさすがに目先きに富んでゐたのであると云はれる。してみると『社會黨』員だけは『獨逸國民性』の少くとも一つの缺陷から免かれてゐる。シャイデマン欣べ！ノスケ欣べ！エーベルト欣べ！が併し君達はまた〱『政治的缺陷』から全然免かれない。君達は『對露防衛』を理由として戰爭に贊成した人だから。たゞロオザとリーブクネヒト及びその一派だけが戰爭反對のその點に於て(動機は措いて)北氏の所謂『政治的缺陷』『國際心理に暗い』ことから免かれ得たのである！が併し君達のスパルタカス運動は『鐵腕の統一』に失敗してしまつたのだ。あゝこれ何ものゝ罪か。北氏によればこれ一に獨逸人の『本來の政治的不寛容』によるのである。もし『獨逸國粹人民黨』も『社會黨』も何もかも『政治的不寛容』をすてゝスパルタカス團の足下にひれ伏したならば獨逸は世界に於ける第二の無產階級國家』としてロシアと共に世界革命運動に貢献し且つ又全世界のプロレタリヤにあの『一月十五日』の悲しい日を齎らさずに第二の新しい『十一月七日』を齎らしたであらう！

四

僕の言は詭辯かもしれない。けれども僕は『獨逸國民性—

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とか『政治的不寛容』とか云つた樣な曖昧なチヤランポランな言葉を好んで用ひる人の議論の結論を拜借したい許りだ。(僕らも好い加減『日本國民性觀』には弱はされてゐる。畢竟するに北氏は月並みな一外國人として獨逸にあつて『獨逸國民性』を觀察したのと今まで讀んだ他人の著書によつてと叉自己の思索とによつてこの論文を物されたものであらう。それは同時にたまく氏がやはり月並みな『階級超越論者』であり『階級意識』のない人であり、單なる政治學者哲學者であることを表明するものである。かくて暫く『論壇』より隱れた北氏、ある種の期待をかけられた北氏は幸か不幸かやはり依然たる北氏であつた。(日乃樹)

野村吉哉の詩

なにか食べたいな
二日三日と食へない日が續くと、
おれはやりきれなくなつてたちあがり部屋のなかをぐるぐるとあるきまわる
ああ何か食べたいな
溫つたかな湯氣のたつてゐるそれをおもひうかべ

四日五日と食べない日が續くと
俺の魂は灰色をした影のなかを
よろめきよろめきあるきまわる　(灰色の影)

ここにある二十五錢の銅錢
これはこれから行かうとするお湯錢とあすの朝のごはんをたべることができる
しかしこれは
それだけにしかつかふことができないのだ
そしてこれつきりしかないのだ
それで私はこの銅錢をそつと机の引出して入れてみる
そしてこんど開けてみるとなにか奇蹟でもあらはれて
これが十倍になつて現れてくることをまじめくさつて念じてみる　(奇　蹟)

この二つのか短かい詩を讀んだだけでも、野村(舊性中島)吉哉といふ男の天分が知れる。僕はまだ一度も會つたことはないから、どんな人間か知らぬが、この他に僕の好きな詩には『鳥になる』といふのがある。これは一寸長いもので玆に引用しかねるが、鳥になつた人間が、美しい『娘

さんの鳥』と一緒に大空を飛びながら
人間でゐた時のやうに間代の心配もなくなつて・
ほんとにさつぱりした氣持になつて
（いまに鳥の言葉にも馴れるだらう）
ゆつくりと
朝の上空を俺は飛翔したのである

（鳥となる）の終節

鼻つぱしばかり强がつた、鑛金物のプレロタリアの詩よりは、この作者のやうな、しんみりした、しかし如何にもプロレタリア氣分の浸透した、この純眞プロレタリア詩（野村君の言葉をその儘借用して）を僕は好む。

願はくば、少しばかり有名になつたとて、直ちにブルジヨアに寢返へりを打つやうな、非藝術的商賣人となること勿れだ。印鑑遠からず、共例は直ぐ君の眼前にブラ下がつてゐる。加餐自重して、君の天分を夜店の賣物に出すこと勿れだ。玆に僕の愛敬する野村吉哉の詩を賞賛する事依而如件（亮）

『劇藝術』（創刊號）

『當今プロレタリヤ藝術家を以て任ずる人々はブルジヨア藝術破壞の旗幟を眞向に振り翳して革命藝術の創造に努力しつゝあるもの〻やうだ。彼等の合言葉「共同戰線に！」の叫びは喧しい。然りと雖もその作品の有つ力は未だ人の魂を撲つに足らず……此の時にあたつて我等「劇藝術」を創刊す云々……』

以上は二月から新たに創刊された雜誌「劇藝術」の創刊の辭より拔き書きしたものである。これだけの言葉を見ただけで、この雜誌の發刊趣旨は大體了解出來る。この發刊の辭の終りには吉田興三氏の署名がある。そして卷頭に同氏の戯曲「或る資本家の夢」（一幕三場）がある。

僕は創刊の辭の素敵な意氣込を見て、大いにどぎもを拔かれた譯だ。何故といふに、前場の言葉のも少し先きの方に、『……小冊子なりと雖もその目的とするところは大である。革命藝術のために、共同戰線に參加するといはんよりは寧ろ、その先驅たらんと欲するものである云々』とあるからである。その意氣込や壯とすべく、その見識や敬すべきであるかも知れない。然し僕は、藝術家が、革命運動の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

共同戰線に於ける先驅者だなどゝは思つてゐない。おさき走りといふことを先驅者と云ひ得るならば別だが……この點先づ筆者吉田君と僕とは根本的に意見が違つてゐるやうだ。が、まあ何にしても旺んなものである。兎角アナクロナウスな演劇雜誌ばかりしかない日本に『小冊子なりと雖もその目的とするところは大』なる別の雜誌が出たことは嬉しい。先づ以てその發展を望んでおこう。

偖これから憎まれ口を利く段取りになつたのだが、全紙目を通して見ると、どうやら、徹頭徹尾、文字通りに憎まれ口を利かねばならないやうだ。

卷頭の『或る資本家の夢』といふ戯曲は、前にも云つた通り、創刊の辭の筆者たる吉田與三氏の戯曲だが、その潑溂たる所説に較べると、だいぶハンディギャップのある作品だ。

全體を讀み終つてから後へ殘つた印象は、その荒削りな點と云ひ、わざとらしい諷刺と云ひ、特にとり立てゝ云ふ程の問題でもないのに問題らしいものを作り上げて見せやうとして是と云ひ、何となく、多作家ユージューヌ・ブリユーの出來の惡い社會劇を讀んだ時の樣のやうなものであつた。會話の遣り取りなどはかなり達者でもあるし、全體の纒め方などは仲々手に入つたものとは思ふが、全く新人の手になる新しい作品といふ感じを與へる點が一ケ所もない。一々具體的な批評を下す氣になれない。氏の次ぎの作に接し得る機會があつたならばその時に云はして貰ふ。

評論(或ひは感想)の欄へ來ると、第一に三島章道氏の『映畫製作組合』と云ふのがあつたが、これはその妙に氣取つた書き方が僕の肝癪を爆發させたので最初の二三行だけしか讀まなかつた。だから何も云ふことはない。

『舞臺藝術斷章』――久能龍太郎氏。

「戯曲家の矜持」と題する中で、「若し、戯曲家が人間であり得るならば戯曲家は全くの自然人であり、完全な社會人であり、最も豐醇な詩人であり得るであらう……戯曲家を單に高遠な哲人とのみ思ふは、あまりに戯曲家の本質を形而上に見すぎた病的な缺陷である。」と云つてゐる。この人は「人間であり得ない」戯曲家といふものがあとる思つてゐるらしい。がそれは兎も角として、人間である戯曲家ならば、何故にその戯曲家は「全くの」自然人であり、完全な」社會人であり然も「最も豐醇な」詩人であるのだらう？そして若し以上のやうなものであるならば、それは何故「高

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

遠な哲人」ではないのだらう？「高遠な哲人」といふやうな言葉の中には、「自然人」とか「豊醇な詩人」とかいふ言葉の待つ意識が働らいてはゐないか？それから、この人によれば、戯曲家はすべてが Direc narrationt による第一義的の藝術家だ想だ。若し然らば、社會に生きる人間である戯曲家も亦、「最も」詩人である前に、最も社會人であるべき筈ではないか。どうも御説が分り兼ねる。それからこの人は更に、

「戯曲と舞臺」と題する中で、舞臺あつての戯曲か、戯曲あつての舞臺かと設問し、「偖、舞臺は戯曲の延長であると答へてゐる。そしてビヰウネン・ドラマといひ、レーゼ・ドラマといふは、戯曲家が勝手につけたニツク・ネームである」と斷じてゐる。これには僕も賛成だ。ところで、戯曲が作者の手を放れて演出者の手に這入る狀を、「宛も死亡患者が病院の裏門から寺院の本門に入るやうに」當然な順路であると警句を吐いてゐる。そこで僕はこの言葉を補つて「現在の大多數の戯曲は「亡者が病院の裏門から寺院の本門に入つて」葬つて貰ふ如く作者の手から放れた亡者が劇場で火葬に附せられるものである」と云はふ。この適切な形容を敎へて與れた久能氏に感謝する。

以上の外に、加藤英一氏の「民衆の頭腦」小松原健吉氏の「AとBの對話」その他「文壇劇壇四十五氏」の「新興劇壇に對する希望及注文」などがある。

憎まれ口を叩きはしたものゝ、劇に關する斯ういふ雜誌が出たことは愉快だ。一頁も大事な「種蒔き」の頁を費して、僕がわざ〳〵こんなことを書いたのは、批評といふよりも寧ろ紹介のためである。兎に角、今後の活躍を期待する。（孝丸）

稻富喜太夫（一幕三場）

——新小說——

若き作家、若き舞臺監督として知られてゐる三島章道氏の處女作と稱せられる戯曲「稻富喜太夫」を讀んだ。やはらかく、そして、あつさり書かれたものを、すらすらと讀み終へたといふだけで、戯評家でない僕は戯評などといふものを更に試みやうとする意志はないのであるが、最後の一句。

喜太夫……あゝわしは今迄わしの名聲によつて世間を利用して來た。名聲はわしに色々のものを與へてくれた。しかしわしはもうそれがいやになつて來た。しかしこんどは

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

わしの名聲で、世間のほうがこのいやがるわしを利用しやうとするのか……おう小菊。小菊。

といふ獨語が、三島章道氏自身が現在そういつた氣持の苦しみの中にあるやうに思はれてならなかつた。『おう……小菊。小菊。』の代りに『おう……千駄ケ谷青年團。日本少年團其他其他。』と入れかへて見たまへそれが、またどうして喜太夫の三島章道氏でないといはれやうか。

僕は決して三島氏は名聲によつて世間を利用したとはいはない。そういふ人でないことを氏を多少とも個人的に知つてゐる僕は充分に知つてゐるのだ。また、「わしはもうそれがいやになつて來た」といふ氏の正直な心持も充分に察せられる。だが、「しかしこんどは、わしの名聲で、世間のほうがこのいやがるわしを利用しやうとするのか……」とは戯曲全體のくくりとしてはあまりに弱い逃げ口上、そりや聞えませぬ、稲富喜太夫殿。(小牧)

赤き子供等(新小説)

僕は薇薔閑といふ人を全く知らない。どんな人だか知らない。有益なことを書いてくれる人である。「新小説」二月號の卓上燈に載つてゐる「赤き子供等」を大變面白く讀んだ。面白いといふと、それは批評でないと直ぐ批評家から怒られるかも知れないが、僕はここで、薇薔閑の書かれた「赤き子供等」は有益以上に面白いものであつたといひたいのだ。

それは極く短いものであつた。だが、あの記事によつて赤い子供の敎育といふものに何處の國でも如何に注意してゐるか、また注意しなければならぬものであるかといふことがはつきりわかる。

「赤き子供等」は何を取り扱つてゐるかといふと、シドニー・ウエツブ氏等一味の所謂中流社會主義團體なるフアビアン協會主義を悦ばない人たち、即ち革命主義を標榜してゐる共産主義者たちはウエツブ氏等のともすればイギリスの社會運動を何でもかんでも勞働組合主義と社會主義との中に丸めこまれてしまふことを甚だ面白くなく考へてゐてその反抗の一つとして現はれたものがこゝにいふ赤き子供等の養成なのである。

紀して、筆者はその…………一派の連中が近頃グラゴスーで開かれた日曜學校の紀念會でやつたといふ少年少女の問答の餘興なるものを紹介してくれてゐるが、それはまた

頗る露骨なものである。僕はそうすることは最も無難なことと信じて、筆者に無斷にその貴重な部分を更らにここに紹介させてもらうことにした。問答はジョン・ダキツドソンの「無產者の四つの獨語」からとつたものであるそうだ。

少女、階級的觀念と云ふのは何なんでせう。

少年、階級約觀念と云ふのはね、ブルジョアの國でお前たちが皆な物品扱ひされてゐることを認めるつて事だよ。

少女、だつて私達は教會で人間は皆不滅の魂だつてことを教へられてゐるのぢやないの。物品だなんてことはないわ。

少年、そりやそうさ。だけど坊さんだつて、何だつて皆な、ブルジョアの國の人達なんだもの、そんなことを云つてお前達を盲目にしやうとしてゐるのさ。

少女、だつて神樣は坊さん達よりはよつ程偉らいんぢやないの。皆それあ認めてゐるのぢやないの。

少年・駄目だよ、宗教なんてものはね働く世界の反映だつてことをよく呑込まなきやあ駄目だよ。だから僕等の時代に適當した神樣を造り上げるより他はないんだよ。

少女、だつておかしいわ。若し基督教が本當の宗教でないのなら何故大勢の人が皆それを信じてゐるんでせう。

少年、それはお前基督教が矢張り、階級國の一部分だからさ。階級國の人に都合のいゝやうに出來てゐるから皆が信ずるだけの話なのさ。

少女、階級國つて何なの。

少年、階級國つて云ふのはね……………………………國の事さ。

少女、ぢやあ階級戰爭つて云ふのは何のことなの。

少年、それは勞働する者と資本家階級とが爭ふことさ。

少女、ぢや造船所つてなあに。

少年、造船所はごちや〳〵した變な所つて、弱蟲の勞働者が大喜びで…………働らいてゐる所だよ。

少女、ぢやあ、人夫頭の親方つてなあに。

少年、あいつかい。あいつはイスカリオテのユダだ。………………………泥棒だ。何でもかんでも無暗矢鱈に勞働者階級をだますことばかり考へてゐる教會の柱さ。

さつとこんな工合のことを平氣にすましてやつてゐるのだといふ。

何んと諸君、面白い問答ではないか。僕の面白いとさつきからいつてゐるところはここだ。ところが、反抗に對す

る反抗が當然の結果として起つて來て、ソウヰート全スコツトランドの父母に對してどこまでもこの痛快な赤き子供等の養成を撲滅しやうとする團體なるものが出來上り、無邪氣な子供の心に宗教を愚物視し、――――――――――――――――――るものが澤山出來て來たそうである。

さて日本の現狀はどうであるか。撲滅どころの騷ぎか。そういふ大切な運動を起そうとする人すらあまり無い今日の有樣である。何んといふ情けないことだ。そのうちには兒童赤化撲滅團なんていふものが出來ることだらうが、何んとか僕らは專心にこの方の開發を實行しやうぢやないか一日も早くそうしたいものだ。さしあたり無產少年團などを組織する抱負と實行家がないものか知ら。

與へられたこの機會に於て「種蒔き少年」の聲援者並に讀者にお願いたします。頗るちつぽけな、そして貧弱なものであつたに不拘ず、「種蒔き少年」は各方面から同情ある御手紙と親切な御注意を受けましたことは僕らの非常な面目とするところであります。來る五月には世界の無產少年のための「少年週間」のある月ですから、それまでには一層の努力と準備を要します。皆の力で「種蒔き少年」はどのやうにも活動が出來るのです。先づ寄稿して下さい。今後とも「種蒔き少年」の活動のためになる意見を遠慮なく聞かして下さい。（小牧）

再び無產兒童教育の獨立

我々プロレタリアの若き時代者たちは、完全にプロレタリアの自覺に基いた教育を與へられねばならぬ。如何なる外界よりの力をもつてしても、すでに我々階級自身の子供を仇敵に賣るほど私達は力弱くはない筈だ。我々は我々自身の家庭の年少男女たちに向つて、――――――――――――――――だ。さうして、我々の家庭、我々の周圍よりして、先づプロレツトカルトの實を擧げねばならぬ。

その方法はいくらでもある。たゞ我々の決心と實行方法の眞劍な考究がつくされて來さへすれば、明日からでも、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

我々の家庭の年少男女がブルショアの精神的搾取から直ちにのがれられる。そしてプロレタリアのための勇敢な闘士としての教養をかれらに徐々に與へるに困難でない。

プロレタリアの意志の前に『不可能』の文字はあらぬ。我々の若き時代者を一人でも二人でも、二十人三十人でも我々のプロレタリア的自覺、

――――、――――――、――――――

ある。

我々のすべてが不幸にして中途に於いて斃れるにもせよブルジョアの世界的反動勢力が如何ほど力強く、時代の潮流を逆行させ得るにもせよ、我々の階級の若き時代者の間にプロレタリア的自覺と、

我々は當面の他の諸々の仕事と共に若き時代者達へのプロレツトカルトの實際的方法を眞劍に考究、實行しなければならぬ。それについては重ねて私一個の具體案を提示してみることにする。（N・M）

內辰閣下へ

內辰君、君は「空を指さして語」つたゞけでは出版ブルジョアを喜ばせるの外何ものも、君を出身さして反つて踏み付けにされてゐるプロレタリアートに貢献しない、と言ふ事は隱さなくとも內々知つてるだらう!? 大體君は生來働くべき善良なるプロレタリアでありながら、生産機關から離れ、言はゞ無理に失業の燒印を押さるゝまで待たないで、自らプロレタリアの威力である生産場裡から脫出したのも實は何か腹に一物がある故と、闘士としての君の足音を待つて居たんだ。「空に指して語つ」た後を刻々に期待して居たんだ。然るに君は最早。「空に幻想をえがいて吠ゆる」犬に姿を變へて仕舞つたのか!! これと言ふのも一重に出版ブルヂョアの御蔭と思えば種々なる雲をかく犬的行動も良いだらう。「社會的に意味ある大藝術」ぢやなくて、「個人的に利益ある純藝術」だらう。然し文藝中央執行委員、等とは、咄！「もつと貴族的の文章」を捧げられたい。「七千万人だもの……一人や二人へんな男」……の君には勿體なくて役に付け得られないだらう。何せい、下品で、泥まみれのものですからね。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『惜むらくは彼等社會的に意味ある純藝術を創らず、依つて内藤辰雄及び彼が以て新作家なりと廣告する若手に亡ぼさるべきなり。——とは一體醉興でせう。醉興ならお互ひ様、いゝ氣になつて一つ……それア、聞えませぬ内辰さまア……聞えぬう筈だよう、シャンシャン、と。

——「社會的に意味ある純藝術」とは一體何だい!? 宇野や八重吉は、確かにブルヂョア「社會に意味ある純藝術」を君の主張通り間違ひなく「創つて」ゐるよ。然らばプロレタリア「社會に」と言ふのか。プロレタリア「社會」は内辰閣下に抽象さるゝが如き「意味ある純藝術」を「創らず」——何故つて、見たまへ此の回轉椅子だつてクルクルの段梯がある如く、プロレタリアアートにも「社會的に意味ある純藝術」を「創る間暇」までの苦鬪の段梯がありますからね。この段梯故に、遂にプロレタリア社會は「よつて内藤辰雄及び彼が以て新作家なりと廣告（此處に於て出版ブルヂョアに隨喜せよ!）する若手に亡ぼさるべきなり」!

良く解りました。むさ苦しい處ですが此の階級鬪爭の社會の末梢神經の文壇で一つ草鞋脱きは御説の通り「貴族的」「純な人とやら」でありませんから、ゆるゆると一つしなやかな馬脚へ（しいつ!）をあらはし遊ばされましたら!? 貴下。……（啓蒙生）

福士先生の『挑戰』

——「新潮」二月號——

現在の所謂プロレタリア文學、社會主義文學といふものを、邪惡な鬼婆でゝもあるかのやうに言ふ人々のうちに、數種類の型があるやうである。

一は始めつからの貴族主義の人々、（とでも言はうか、至上主義者とでも言はうか。）それから、一部の反動主義者のごろつき共、第三には福士先生のやうなノン・キホーテである。愚は惡であるといふ人があるが、僕は愚も時には愛嬌があつていゝと思ふ。けれども、餘りに度々だと流石に厭になつて來る。今更ノン・キホーテを相手にして、あゝだこうだと言ふだけ野暮だが、まあ野暮になつてみやう。

先生に從へば、『徳川時代の武士が町人百姓の上に威張つてゐたからとて、武士の精神には搾りとれなどゝいふ精神は支配してない。唯だひとつ「人間道」こそ其處に大きく輝やいてゐた。そして武士と百姓とが社會的秩序のもとに結合してゐた。精神の明徹は其處にある。』——と仰せられ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るが、先づ先生はどんな頭で歴史を見られたものであるか町人百姓と武士の關係がそんなものであつたか。殊に德川時代の惡政がエタといふ尤も虐げられた人々の最後の製造者であることも忘れ、先生は德川時代を理想社會のやうに思つてをられる。

それから進んで、『社會最高の地位に座をしめて、暴逆には改革がひらかれ、蹉跌には創意があらはれ、すべてその時代の最高意識をふるつて、一切の道が切りひらかれ、新來の傳説が附加され、正義が混和され、時代の精神の顯耀される役目に當つたのだ。』と又々德川時代といふ妄念を持ち來つて、社會主義思想を頭からやつつけるつもりで、自分の頭の渾沌さを示してゐられる。

續いて今迄の文壇を責め、(『人間』といふ雜誌で、自分の愚の爲めに、舊來のデカダン小説家共からブルジョアジーの門番としてかつがれたことも忘れて、)――次には、健全なる信念を說かれる。先生に從へば、

『現在の階級文學運動に於て、あとになるほど低劣氣味なのは、まさしくわたし等日本人の西洋文明のとり方に、謬りのある證據である。……成り行は皆面白くない。自然主義はそのセンチメンタリズムの爲め、人道主義はその衒氣のため、社會主義は未だ進行中のものだが、その狂暴の爲めだ。……社會主義に到つてはゴロツキだ。』

先生は何うも社會主義仲間のこともよく御存知ないらしい。社會主義者と不良少年とをとり違へられては困る。强いて言ふならば、不良少年型社會主義者は、逐次社會主義運動の圏外に逐放されてゐる。人物陶汰は常に行はれてゐる。僕等の眼にははつきりとそれが分る。(何時かは小說に書かうと思つてゐることだから、その時には改めて御覽に入れやう。)――さて、更に進んで、先生は、

『……公儀をおそれ、名聞を憚り、身分を守り、そして何より今の人と違ふのは、道理といふものを恃んだその時代の明白な精神、こゝを足場としてその後の一切の時代の推移の產物との關係をたゞしたい。』と、昔の人は現代の人間よりも正直者ばかりであると考へられ、『德川時代の武士や町人や百姓やと共通に、公儀といふ權威に畏怖する心をわれ等のなかに見出せよ。名聞といふ體面を維持する心をわれ等の中に見出せよ。……』と、難有くも、權力階級は何時も正しくて、正義で、人民は奴隷であると仰しやる。中學で習つた修身以上のこと勿論である。

そうして、社會主義思想を(福士先生の所謂修身の敎科

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

書には書いてないらしいが、)如何に不可いものと仰せられるか。『わたし等の心に必然に存在する權威に對する畏怖の感情を、社會主義思想家が剝ぎとりにかゝつてゐるのは、これはとりもなほさず權威の破壞でなくて、人間の心性そのもの丶破壞である。』それから、『……日本に於ての本來の傳説は、この隣人論、この平等論以上に、國民は一家だといふ精神である。』

それから、今度は先生にも似ず悲鳴をあげられることはプロレタリア作家は、文學への闖入のしやうが不可いそうである。『しかるにプロレタリア思想家の實際生活や思想生活に兎に角、文學に對するその闖入しかたは、たしかに、この人間普遍な道を破壞してゐる。』『蒙昧主義、汚辱であることを知らぬガムシヤラ振り、權威への反逆心、體面への無感知、嘗て徳川時代の人間には明徹されて存在したものが、……』と、先生に從へば徳川時代は實に、ユートピアである。人間歴史の華である。權力が一番よく使はれ、意久地のない人間が、それに妄從した時代が一番いゝ時代である。先生に從へば社會學は權威がないのである。

最後に、十五頁にもわたる冗々した修身の講義に飽き足りないで、先生は言はれる。

『わたしの理想に從ふと、現在の日本人は徳川時代の公儀名聞、身分、道理を、現代の思想に飜譯し、權威、社會、境遇、意義の名のもとに、新に繼承すべきである。』『日本をよくするものは世界思想でなく、民族思想である。概念でなく、感情である。經濟組織でなくて、家族組織である。唯物論でなくて、唯心論である。反抗でなくて、服從である、突進でなくて發明である。破壞でなくて建設である。無産階級一階級でなくて、國民全體である。』……

頭の惡いことはたまには愛嬌であると思つてゐたが、此處まで來れば惡である。福士先生のユートピアは、地面の上に現在どんなことが行はれてゐるかも見ないで、自分ででつち上げた空想の方へ人間生活の總べてを持つて行かれ樣とする。それも社會主義といふものを理解もしないで。……詩人は雲を眺めて暮すものか。雲の上には人間の邪惡は反映せぬのか。おゝ徳川時代よ、徳川時代よ。(弘二)

ロシヤの教育

「社會主義研究」を讀みて

ロシヤは實驗室だといふ言葉、ブルジョア社會にも滿足

できず、さうかと言つてプロレタリアの創造力に信頼もできない日和見派の口からもしば〳〵洩れた言葉である。けれどもそれは別の意味でも、革命的の意味でも、ロシヤは偉大なる實驗室(ラボラトリイ)だといへる。

この實驗室の中には、どうかすると思ひもよらぬ技術と製品とが見られる。それは從來の無產階級運動の全期間をあはせたよりも遙かに貴重な教訓と暗示を與へる。從來の社會黨を戰慄させた無產階級獨裁からブルジョア國家さへも微笑させる新經濟政策に亘る戰線の延長にびくともしないプロレタリヤ國家の强靱さはこの實驗室が見せてくれた最も大なる驚異である。

けれどもその外に、たとへば教育事業の如きは五年間の慘憺たる逆境の中であれだけの事業を完成したといふことは、無限といつてもいゝプロレタリヤの創造力、建設力を親知させるに十分である。「社會主義研究」一月號の山川夫人の論文及びランズベリーの見聞記並びに二月號のブレイルスフォードの印象記を讀むと、どんな反動的な人だつてロシヤに關する考へが一變するだらうと思ふ。それ程私はあれを讀んで感動した。ブレイルスフォードの言葉ではないが、日本では教育費を國庫と市町村とになすりつけあつてゐるとき、ロシアの中央政府と地方ソヴィエットとの協力による教育の普及、しかもその教育全體にわたる水々しい創意！ 子供の幸福！ 實際ロシヤは子供の天國である（大人の天國となる日も遠くはあるまい）。

ランズベリイやブレイルスフォードの見聞記は、少しの偏見もなく誇張もない、ありのまゝの記録である。そして實に面白い記録である。それが誰にでもわかるやうに平易に譯されてゐる。私は、ロシアの實狀を知りたい人々に向つて、政治や經濟上のむづかしい論文よりも先づこの文章をすゝめるに躊躇しない。

（初之輔）

無産婦人運動の注意しなければならぬ點は婦人の特別な生活に眼を注ぐことである。この特別な條件それが偶々婦人のいろいろと異つた心理狀態をつくつたのであるからなのである。總じて、婦人の活動は秘密運動に於て最も有効なものである。トリノに於ける無産婦人の運動、武器を手にしてフアシステに對抗したことなどはその眼醒しい實例である。

無産婦人の教育方針はなるべく多方面であつて欲しい。そして、私たちは到る所の資本主義國に於て、しつかりした共産主義婦人の團體をつくらねばならぬことだ。かうして組織されたロシアの婦人團體は今では建設方面に於ても貴重なる活動力となつてゐるのである。

世界欄

第三インターナショナル第四大會に於ける共産主義婦人運動報告

クララ・ツエトキン女史（ドイツ）は昨年十一月の第四世界大會で大要下のやうな共産インターナショナル婦人部の報告をなした。

共産主義婦人部は目下第三インターナショナル執行委員會の管下に活動してゐるのであるが、元來、共産主義婦人運動といふものは無産婦人それ自身の運動に區切られたものではなく、共産黨全體からいつて最も大切な役割をなすものであるから、今後無産婦人は共産黨の内部にあつて、もつとより以上の活動を示めさなければならぬ。その意味に於て、ロシア共産黨の活動は稱揚に價するといひ得る。それにしてもイギリスやポーランドに婦人部がないといふことは殘念なことであるのだが、フランスの共産黨が最近パリ大會で（一九二二年十月）切角の婦人部を廢止したことはまたどうしたことか。倘ほ、スキーデンやノールキーには共産黨に直接屬してない特種の無産婦人團體があるのであるが、これは共産黨の精神から見て決していゝものとはいはれないのである。―

婦人共産主義者は主として組合やコオペラチイブの内部に於て活動しなければならぬことはいふまでもないことだけれど、中産階級の婦人にも手をつけることは心がけべきことなのである。この意味に於て、ブルガリア共産黨は同國で共産主義に厚意をもつた婦人の團體をつくり得たことは學ぶべきことである。

何處も同じこと、共産主義婦人運動のモットーは「大衆の中へ」である。常に勇斷で、鮮明でその上輕はづみをせずに、

る。

第二の報告者、ヘルタ・スツルム女史は（ドイツ）はツエトキンの後を受けていふ。

現在の婦人運動はそれを世界的のある大運動なものにするためにはその勢力は甚だ微弱であるといはざるを得ない。從つて、各國の共産黨内に婦人委員會をつくることは急務中の急務であるのだ。組合の中にもまた工場の中にも共産主義婦人の核心をつくることを忘れてはならない。尙且、共産黨機關紙には特に婦人欄を設けるやうにしなければならない。(筆者曰、日本には一つの共産主義婦人雜誌すらない。)

それから、ロシア側からスミドキッチはロシアの婦人運動の現狀に亘つて述べてゐるが、勞農ロシアには三万の婦人共産主義者と百五十万の婦人組合員がゐるが、それらは共産黨内部や組合やコオペラチイヴの内部に活動してゐる許りでなく、饑民救濟や、勞働婦人教育に從事してゐるそうである。尙ほ、ロシアの共産黨は婦人勞働者及び農業婦人を勞働者の協同戰線の中に引入れることを實現したが、この點はヨーロッパの共産黨の大に學んで欲しいと思ふと希望し、同じくロシア側のカスパロワは東洋に於ける無産婦人運動の概況を述べ、日本や支那や印度ではこれまで幾度となく無産婦人がストライキに參加してゐるといつてゐる。

イサドラ・ダンカンの言葉

「ロシアの魂は歐羅巴にある只一つの正氣なものです。他の國々は皆昔の憎しみや怨みを考へてゐるのですが、只ロシアだけが未來を望んでゐるのです。この世界で未來をしつかり見詰めてゐるのは他にアメリカがある許りです。アメリカがロシアを理解しなければをけないといふのはこれが爲めなのです。

「彼等は(曾つて彼女が生れ故郷に歸ることを拒んだアメリカ政府の移民當局者のことを指す)妾がプロパガンデイストであり革命を說くものであると云つてゐます。妾は政治家ではありません、妾は一箇の藝術家なのですけれども妾は妾の舞踊によつてアメリカがロシアのあの素晴しい魂を理解することを助けたい氣なのです。その魂には五年間の戰爭と饑饉後でも猶少しの憎しみも烈しさもないのです。今日この世界で一番素晴しいものです

「ロシアの魂は至る處の普通の人達の魂です。それだけ眞實なものです。そして美を探し求めてゐる魂です。

「今でも思ひ出すことですが、妾がアメリカを離れて東海岸を下る前、妾の生徒達が踊をおどつた時に觀衆中の貧しい人達が聲をあげて妾に其處に留つて自分達の子供が妾の弟子達の樣に踊れる樣に敎へてくれまいかと賴まれました。けれども妾には出來ませんでした妾には學校もなければ助けてくれるものもないのですもの。何故かと云ひますと妾の夢見てゐた學校には一國の政府の助けが必要だつたんですから。で妾はフランスへ參りました其處で妾が子供達がダンスをして暮す學校について妾の夢を語りました處が笑殺されてしまつたのです。

「そこで妾はロシアへ參つたのです。敎員人民委員は妾に一軒の素晴しい家と地所とを委せてくれたのです。始め妾は殆んど千人許りの子供を妾の學校へ入れましたのですがあの怖ろしい饑饉がやつてきて、政府ではそんなに多くの人達に食物を續けることが出來なくなつたので二十人殘して後は全部家へ歸されました。この二十人が妾の全生徒の中で一番腕利きでした。彼等をアメリカに連れてくる望みはあります。彼等は妾以上にロシアの魂の何であるかをアメリカに示すことが出來るでせう。

「ロシアの生活は大變難儀で從つて藝術も苦んでゐます、けれどもこの皆の難儀から一つ

Digitized by Google	Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の共通した理解、卽ち一つの魂が生れてきたのです。皆が皆平等に難儀してゐます。皆が皆難儀のおかげでぴつたり寄り添つてゐます。妾がロシアの魂と云ふのはそれなのです「あの魂を、一番よく知つてゐる人は敎育人民委員のルナチャルスキイです。妾がモスコーで彼の人に出會ひましたのは何でも暗の夜のことで彼の人は帽子も冠らないで舖道をサク〳〵歩いてゐました。自分の周圍のことには何も氣付かぬらしく首をたれて何か未來の計畫でも樹てゝゐた樣でした。

「ロシアでは何時も未來があるのです」

以上はイサドラダンカンが渡米した翌日會見したカール・ブレッホルド氏の記述に據つたものである。實際アメリカは「未來」を凝視してゐるかどうかは知らない。兎にかく今秋にはダンカンが來朝して彼女の妙技を見せることになつてゐる相だが僕たちは彼女のダンシングによつて日本人にも「ロシアの魂」を理解させる一助となるのを望んでやまない。

ヨッフエ氏小傳

アドルフ・アブラモヴィッチ・ヨッフエ

一八八三年、クリミアに生る。

革命運動當時、旣に第二種學校の上級生であつた。

一九〇二年以來社會黨に入る。

政治上の理由で、ロシアにては大學敎育を受けず、ウィンナ、ベルリン及びチユーリッヒ等、外國で勉學し、一九〇八年までに數回ロシアに歸つた。研究は醫學であつた。

その後も法規上の手續を經ずに數回ロシアに歸つた。

一九一二年逮捕され、投獄されて、重懲役を宣告され、一九一七年までシベリアにおかれた。

「二月革命」の後、ロシアに歸り、一九一七年の第一議會以來「全ソヴィエット・ロシア中央執行委員」に選擧され、爾來引續き「ソヴィエット執行委員」の任にある。

一九一七年の十月革命を指揮した「ペトログラード戰爭革命委員」會の議長。

ドイツとの間に行はれたブレストリト・ヴスク講和會議の前半に於けるロシア代表員の首班であつたが、ブレスト・リトヴスク條約に署名することを快しとしなかつたので、その任を辭し、その後暫くの間、社會事業擔任の「人民委員」となつた。

一九一九年より一九二一年までの間、對エストニア、ラドヴイア、リスアニア、ポーランド各國の講和會議にロシア代表員首班として臨んだ。

一九二二年、ジノエノア會議にロシア代表員として出席。

一九二二年九月、對日本長春會議にロシア代表員首班として出席。

一九一八年、ベルリン駐劄ロシア大使となる。

一九二二年七月以降、支那駐劄ロシア特命全權公使となる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

皆人

[illegible]

た。

[illegible]

村のお正月

深谷赤人

[illegible]

正月三日

殘秋暮

松田庄吉

秋々々　すべてが初めに
歸り行く姿　後より眺める
おゝ是が最後の秋なのか
木葉が土に歸る
あの悲しい時に共に泣てくれた
虫も土に復歸した
人間も寒氣を越して
初めに歸る
すべてが　あの大事な
骨をはなれて
すべてが　初めに歸り行く

終り少なく初めに歸る
後ろ姿が秋
おゝその姿　悲しみに滿ちたり
現實を　破りて
初めの創造に歸る
おゝ秋は苦るしかろう
其の苦痛　其悲哀
……………………
……………………
……………………
……………………
今哉すぎて　實行に
資本制度の秋を

混凝土

松田庄吉

石と石砂と砂　破る鐵拳はたり上られ
打降り落す時　石砂狂ひて
轟きの音を立　地上にたすけをもとめんとす
くだくる由なく
然し生んが爲め　反抗の鐵拳は
力上りて　突進をとゞめず
何日も弱い彼も　生んが爲め勇氣に
久交の鐵拳は　正しき處に
力强くあたる
大風の時の赤火の様に
さすが固い　こんくれとも
石は飛ぶ　砂は飛散る
資本制度の　鐵城も　見るも愈快哉
正義の鐵拳に打くだかれ
プロレタリヤの熱愛する
……………………
……………………
……………………
……………………

お姫様よ

京都　A子

「なんて濕ひのない
とげ〳〵した目付なんでせう
まるで塵箱をあさり歩く
やせ犬の様な卑しさだわ」と
その白粉の顔があざ笑つてゐますね

ブルジョワ階級の御姫様方よ
やせ犬共には　あまりに勿體ない
御世辭　笑です
あんまり　笑ふと
白粉が　はげますよ。

御姫様方よ
あなた方の優越を感じたいばかりに
わざ〳〵やせ犬共のゐる工場へ
見學と御いでなすつたね！
あなた方の慰み者に
撰ばれた私達女工こそ
いゝつらの皮だ！
あなた方の着物を織る爲に
私達の仲間は生命を
なげ出さねばならないのだ！

ちゝむさい　やせ犬共に
近づいては　いけません
勿體ない　御召物がよごれますよ
機械の音で　御耳がこわれますよ
早くこゝを出て下さい
もう　それ丈け威張つたら
澤山だらう！
御上品な
……………………
……………………

●　●

もう鳴りよつたな！
あゝ又　いやな仕事だ！
おしつけがましいよ
そんなに長く引ぱつて
鳴りつゞけて！
ね、もう解つてる、やめて呉れ！
そんなにせき立てないで呉れ！

晝の休のたつた十五分の間
私達を休まぜた事が

いかにも　惜しい様に、
そして　又　恩着せがましい様に
葉巻を片手に油ぎつた社長の奴が
ほざいてるその聲だ！

まだ　せき立てゝ鳴りつゞけてるな！
あゝ　又　いやな仕事だ！

出頭を命ぜられた日

赤　岩　光　彌

日はとつぷりと暮れた
甍の波間に
燈は光り出した
工場の汽笛は
ボー　ボー…………
夕空高く
一日の仕事の終りを報じた

△

薄暗い
電燈のついた
赤煉瓦の門からは
生きんが爲の
苦しさと
生れ出でたる
悲しさとを
毎日々々
繰返してゐる
どん底生活の人間が
空の辨當箱さげ
油に滲んだ
淺黄服を身に纏ひ
青白い顔して
暗の世界へ
姿を沒した

△

生氣を失つた
綿の様な身體を
我家へ運んで來ても
其處には
何等自分を
慰めるものはない
冷い蒲團で
はかない夢を結ぶのが
せめても
心の慰安であつた
自分の生活は
何時もこうした
陰鬱な
そして
平凡なものである

△

其夜は
二人の仲間が
遊びに來た
五燭光の下で
火の無い
火鉢を圍んで
お互の境遇や前途を
語り合つた

△

ガラリと表戸が開いて
色の淺黒い
毒々しい眼附の
大きな洋服の男が
入口に表れた
そして
其男は言つた
「俺は〇〇署の刑事であるが赤岩光彌君は
居るか」
自分は其男が
〇〇署の刑事と知つて
ドキンと胸に波立つた
然しさあらぬ態で
「ハイ　私がその赤岩です何か御用ですか」
自分は刑事の顔をのぞき込んだ
二人の仲間は
驚き顔で
刑事と自分を見較べた
刑事は更に
「少し調べる事があるから明日の午前九時
に當署に出頭するやう」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と言ひながら
一枚の紙を取り出して
「之をその時持つて來て呉れ」と
刑事は
それを置いて出て行つた
何の理由で
出頭を迫るか
何が何やら
サツパリ判らない
二人の仲間も
呆氣に取られて
三人互に
顏を見合すばかりである　一〇、六

プロレタリアンの心よふざけるな。

梅野草二

追ひやられし獸の如き性欲餓狼者は
樹林の上を走る人群がれる電車の窓に
追ひ難き紫の淺間しき反趣をはぐむ。
KiSSをせし女の肉色と唇と頬よ！
脂粉に塗り罩められし女の顏よ！
紅燈の街裏にみし若き娼婦よ！
着襁めし乾魚の如き濕なき女よ！
[illegible]
[illegible]
衾毘の中にみし一本の女の毛髪までが
未來派の繪の如く横に縦に縞に踊る。
蒼流に戯るゝ裸體女の幻をみつめし時
「なにをぼんやりしてゐるんだ。
弱みたいな眼をして、――」
「あゝ堪らなかつた。體が大分弱つてるね」
「なにを言つてるんだよ」
「ふふ、あらみろ、ずつと向ふを。」
ヒマラヤの樹木にも似し奇しき樹林の下を
犬の皮着た獵人は雪に埋もれはてし路を
すたすたと辿り行く。
斜めに玩具の如き電車は何處までも走る。
ラ！　ラ！　ラ！　ド！　ド！　ド！
俺の心を誰も知らないと思ひしや
何處かの隅で堪らない佛樣の嘲笑が
微かに、微かに、きこえてくる。
――一九二三年一月二十日――

壓迫の支配

イスエス生

壓迫の支配下に
纔に生存の繩を握れる
プロレタリアよ
奮起の期は來れり
闘ふ可く覺めよ。
不安と恐怖の大旋風に
生きる苦しみを
命に刻まれて
闇を行く
兄弟よ。
輕蔑と罵笑の洗禮に
闇の彼方に行く兄弟よ
互ひの魂を呼び起し
抱き結びて
闘はう。

ゆきの日

東京　安岡黑村

あのものものしい救世軍は
いさましく雪の街路をすすんでゆく
ちらり、ちらり
雪は美くふつてくる
救世軍の瞳にはゆきの美はない
ただ冷たいなかにも
感激の血がおどつてゐるだらう
一人の詩人が
がつがつふるえてゐる
あらゆるものを求めてもとめえざる悲しみ
ふるえてゐる
救世軍はいさましく
空虚な進軍をつづけてゐる！

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

創作

火事の夜まで

今野賢三

一しきり吹雪がバツと二人を包んだ。

――涙ぐみながら、心から微笑んでゐるちよ子の顔がおれの眼の前にある。歯をガタ〳〵させながらからだをすぼめて、ひしとより添ふて、顔見合せて立止つた二人をまた、バツと吹雪が襲ふた。

警察から此處まで來る（五六町の間）ちよ子が、疲れ切つてゐながらも、ろはごとでも言ふやうに、のべつにしやべつたことを書く前に、ちよ子とおれとの仲を一寸ことわつておかねばならぬ。

おれは新聞配達夫なのだ。

〇〇新聞の擴張のために東北の此の小さな町に來てゐる。擴張に駈けまはつてゐる間に、ふと、ちよ子の家を知つた。家と言つたところが名ばかりで、馬小屋よりちつとばかり體裁がいゝのだ。正直に書く。それは晩秋の或る一日である。ちよ子が世間に内密で、淫賣をやつてゐることを知つて……………。

が、ちよ子の身の上を知つてからのおれは、遊ばふ――といふ氣持どころの話ではなくなつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ちよ子の母はある寺に飯焚きとなつてゐた。弟は、ある商店に奉公にやつてあるのだが、どうやら肺病になつてゐるらしいのを、すぐに引取つて療養も出來ず、その商店に秘してそのまゝにしてあるといふのであつた。

おれはつひに夫婦の約束をした。それは此の冬を迎へてからだ。輕卒だ、と笑ふものは笑ふがいゝ。どんな困難も引受けるだけの、誰もが前にもなんの恥るところもない、立派な決心をしたのだから……。

それから暫く後の或る日――。

おれはその馬小屋のやうな家でも、新婚のよろこびをたゝへて、仲間と共にほんの形ばかりの式をあげた。そしてみんな安酒でたわいなく醉拂つた。夜遲くまで騷ぎちらした。隣り近所へはなにも知らせないから、そのらんちき騷ぎも、たゞ、『あんな女のところへ來て醉拂ふなんて……』と眉をひそめさせたことだらうと思ふ……。その夜――。

その夜を！　おれはどうして忘れられるか！　なるほど、ちよ子は淫賣として警察から睨まれてゐたことをおれは知らないこともなかつた。

が、なにごとだ。

仲間の歸つたあとで、おれたち二人の寢入りばなを、警官に踏み込まれた。

ちよ子の擧動がいけなかつた。あはてゝ逃げようとしたのだ。それはわかつてゐる。ちよ子は單純な考へより出來ない女だ。あまりの不意打ちに面喰つてあはてたまでに過ぎないのだ。おれにはその場でさうハツキリわかつた。ところが同じ人間でありながら、警官には、やましいところがあるから逃げようとした、ずるいもの――と見えたのだ。

そしてちよ子は、その場から、あの寒い夜を、ブル〳〵震えながら警察に引立てられたのだ、おれの辯解なんて、てんでとりあげられなかつた。おれは警察までくツついて行つて、喧嘩口調になつて、署長にまで面會を求めたが誰一人とりあつてくれなかつた。顏を蒼ぐして、あはれみを求めるやうにふりかへつてぢいツとおれを見詰めたちよ子の眼をあたま

にのこして、世間がすつかり寢しづまつた夜中を、しよんぼりと警察を出たおれの心持は!!

翌日、ちよ子が一週間の拘留を言ひわたされたことを知つたものゝ、その不法に對して戰ふだけの、ちからのない自分に腹を立てるだけだつた。それでもおれは、ちよ子を一刻も早く警察から出してやりたい一心に、たゞ一人で、もがきあせつた。しまひに、仲間を駈けまはつて訴へた。が、仲間は『金があつたらなんとかなるだらう!』と言ふだけにすぎなかつた。泣き寢入りになつて了ふことはたまらないことだつた。と言つて、やつぱり、泣き寢入りになるより仕方がなかつた。おれの心は熱した。呪はしさに熱した。

晝は家のなかでもがいてばかりゐた。

配達に出ると、新聞のとつてゐない家にまでぼんやり、投り込んで歩いて、あとで氣がついてその新聞をとりもどしたりした。朝日のゆくところへ、報知を投り込むなどのヘマが、幾度もくりかへされた。

夜は——他人とすれ違ふと、なんとなく後ろぐらい氣持になつたりしながら、野良犬のやうに警察のまはりをうろついた。

此處が監房かな!と思はれるあたりをそれとなく眺めて、口笛を鳴らして見たりした。

そして待ち遠しい一週間は過ぎた…………。

——吹雪の晴れ間に、ちよ子は油氣のないほつれた髮を搔きあげる。顏はまつたくやつれた。それでなくとも痩せてゐるのに……。

おれを見詰めてゐるうちに、その眼はます〳〵潤んで來るやうに見える。それでも、口元の微笑だけは崩さない。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

……ハアく息を切りながら、ちよ子のしやべつたのはかうである。

『警察に行きさへすれば、すぐに尋問がはじまつて、あかりがたつて、あの巡査を、それ見ろ！と見かへしてやることが出來ると、ほら……途中から、さう思ふようになつて……。警察の門を入る頃はあたしの心もよつぼどおちついてゐたのさ……。安々とすぐに歸れるものとばかり思つちやつたの。さうなんだよ、ねえ。心ではちつとも惡いことはないんだから……。

すると、すぐにあたしをしらべるどころか、おどかすやうにして、留置所へだまつて入れッちまつたのさ。

それから一時間以上も、じりく待つたけれど、誰一人呼び出しに來ないぢやないか！あたし、最う……情けなくなつちやつてね。廊下の高い天井に、薄暗い電氣がたツた一ツぶら下つてゐるばかりなんだらう……。そして、外から、ピーンと戸が閉められてあるんだからね。

それでも、はじめ、留置所へ入れられる時は自分ながら感心するくらゐ、氣强くなつてゐたのさ。まつたく、おかしいくらゐ平氣だつたの……。

だけど……しまひに、やりきれなくなつちやつた。

コト、コトといふ靴の音を聽いてゐるとたまらなくなつてねえ……。あんた！

やつと、部長さんか、誰かゞ近づいて來たんだな――と、思つて、ほツとして身體をシヤンとして顏をあげると、なんのこツた。便所へ反れて行つた靴音だつたの。

それは、生れてはじめて、泣くにも泣かれない心持であつたのさ……。

夜明けが近くなつた時、腋下から冷々と寒さが沁み込むんだものねえ。

あたし、ぶるツく震えて、さうしてゐるうちに、ねえ、どうしても這ひ上ることの出來ないやうな、暗い穴の中へでも、はうり込まれてゐるやうな氣がしちやつたの。

ねえ、どうなるんだらう？と思ふと、心配でたまらなくなつちやつたのさ。……そして……しまひに、あたし、泣いた！

だけど、あたし、それア新米の巡査だからなにもわからないんだらう。夜が明けるときつと、署長さんがしらべてくれる、さうするとわけなくゆるされる……馬鹿だつたねえ。あたし、さう思つて、自分をなだめたものさ。……ところが、署長さんは、まるきり駄目だつたの。ほんとに腹が立つてならない……。口髭をひねりながら、あの助平ツたらしい眼で、あたしをじろじろ見てさ。

あんまり威張るものぢやないよ――と、怒鳴つてやりたかつたの。ほんとに癪にさわる面つたらなかつた。それでも、あたしは、あの新味さんが間違ひだらうから、すぐ歸つてもかまひませんか、と、おとなしく言つてやつたその實、それア、まつたく、すぐに歸れるものとばかり思つてゐたのさ。だから、まア、あたしもあたしよ。すぐ立つて出ようとすると、いきなり、あの、いけ好かない署長が、ぐつと睨みつけて、誰が歸れと言つたツと、怒鳴つたのさ。あたし、びつくりしちやつた。

その時、署長もやつぱり、あの巡査と同じ仲間だと思つたら、最うおさへようとしても涙が出て、……そして、あたしのがれツこないと思つちやつたの……。

『おまへにやましいところがなければ、逃げる必要がないぢやないか。どんなに僞を言つても、金を取つて、あの男を客にしたことはわかつてゐる』から言つてあたしを責めたのさ。あたしが、幾ら夫婦になつたのだと言つても、『なにをごまかすかッ！』とおどかしつけて、そしてとうとう一週間の拘留にしツちやつた、あたし、口惜しくてくく、ほんたうに！　あたしたちは、同じ人間でありながら結婚することも出來ないのかと思つたらね。あたし、どんなに情けなかつたか知れない。

あたりまへに、夫婦になつたから寢たといふだけなのに、なぜ悪いのか、あたしには、どうしてもわからない。あんたわかる？　悪いことか知ら？　ねえ、どこが悪いの？　どうして悪いの？……それも、みんな貧乏だからだ――と、あた

し思つたの。

だけど、あたし、憎たらしかつた。あの署長も、あの巡査も、みんな……。

……ねえ、そして、あたし、署長に泣いて喰つてかゝつたのさ。

けれども、いくら言つても駄目だつた。泣いて喰つてかゝつた時は、あたし夢中になつてゐたの。殺すんなら殺してくれッといふ心持だつたのさ……。

それで、あんまり腹が立つて、なんとかして、仕返しをしてやりたかつたの。ねえ。あたし、留置所のなかで泣きながら考へた……そして、うまいことを思ひついたの。

それは、死んでも警察の辨當は喰ふまいと決心をしたの。どんなに苦しくつても、どんなに、どんなに辛くつても、辨當は口にしまいと、ねえ。

すると、はじめ、あたしをなだめたり、すかしたりしてねえ。子供みたいに……しまひに、怒鳴りつけたの。それでも口を結んで、眼を瞑つて、あたし顔をあげないでだまつた。

あんた、あんた、それは、ずゐぶん、ずゐぶん苦しかつてよ。

そして、あたし、しまひになぐられたの、

だけど、不思議ねえ、なぐられゝばかへつて、強くなつてゆくやうな氣がした。巡査たちが、手古摺つてゐるのを見るのがなによりも氣持がよかつた。ざまア見ろッと笑つてやりたかつた。なぐつた時なんか、あたしぐつと巡査を睨みつけてやつたものさ。可笑しかつてよ。その巡査が一寸面喰つたやうな顔をしたのが……。

ほんたうに、あたし、その時は、自分ながらすごいと思ふほど、強つい心持であつたのさ。

……けど、……。ねえ、あんた。三日まではがまんしたの。三日まではがまんしたけど、とう〳〵、あたし敗けちやつた。あんまりお腹が空いて、水ばかり飲んでゐてもがまんしきれなくなつて、四日目から喰べちやつた。あんた、さうして敗けたのは口惜しい。あれまでがまんしながら……あたし、それを思ふと口惜しくてならない。なんていい口惜しいこと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

だらう！　ほんたうに殘念だ。ねえ。こんな口惜しいことはありやしない。いつそ、死にたかつた、あんたにはすまないけど、彼奴等の見てゐる前で死んだら、どんなに氣持がいゝだらうと思つたの。どんなに！　どんなに……。』

ちよ子の眼は涙でいつぱいになつた。おれはその眼をだまつて見入つた。おれの感情はぶる〳〵と震えた。いろんな持がいつぱいになつて、なんにも言へなくなつてしまつて、だまつて、ちからを込めて、ちよ子の手を握つたのだ……。その瞬間、おれたちの心持がぴつたりと觸れ合つたのを、あきらかに感じた。そして、心のなかで、あたゝかに抱き合つたのだ……。

――のし板のすきから粉吹雪が吹き込む。家のなかを時々、粉雪まじりの冷たい風がながれる。天井裏からも時々チラ〳〵と冷たいものが洩れてくる。

……ちよ子は警察からもどつてから、風邪の氣味で寢てゐる。

それにおれは、ちよ子の弟の三次郎を引取ることをも考へねばならない。肺病だとわかつてゐながら、どうしてうつちやつておくことが出來よう！。

おれが圍爐裡に兩手をかざしてそのことを考へてゐると、寢てゐるちよ子が不意におれを呼んだ。

何氣なくふりかへると、なにかを射るやうにひかつてゐる、ちよ子の眼に出ツくわした。

『あんた、あたし考へれば考へるほど、憎たらしくなつてくるの！　ほんたうに！』

ぼうと熱して汗ばんでゐる顏は、それでなくとも昂奮が波打つてゐるやうに見える。

今の、そのちよ子の言葉で、おれはギクリと胸を刺されたやうな氣がした。

おれの胸にも、今までかつて經驗したことのない、はげしいいきどほりが、今更に刻々燃えて來るのが感じられる。家のなかが、上下左右に、動搖して見えるほどある苦しい感情が昂まつて來た。それは、なにかに、自分のからだぐるみ叩

きつけたい氣持だ。

おれの返辭がないので、ちよ子は蒲團のなかに顔をうづめるやうにして、こんどは靜に眼を瞑つた。

おれがはじめて、此の、ちよ子の家に入つた時の感じがあたまに浮んで來た。家のなかの掃除が小ぎれいゆきとゞいてはゐたが、圍爐裡にちよつぴりとしか、炭をつがないのが、妙におれは氣になつて無駄口をたゝいてゐながら、そのことにたへず心持がつかまつてゐた。そして、ちよ子が炭をつぐとき、一かけか二かけかを大事さうに數へて入れるやうに見えた。おれはその手もとを見つめながら、

『なんていしみッたれだ！』と思つた。

が、今になつてわかつて見ると、それは、貞操とかへッこする炭の一かけらでも、貧乏に打ひしがれたちよ子にとつては、どんなに尊いものであつたか知れなかつたのだ。

ちよ子が淫賣をしてゐた——といふ、そのことを思つて見るさへ、今日はまた不思議に、おれはたまらない氣持になつて來る。

『なにもかも狂ひ出して了へッ！』

から怒鳴つて見たい氣持だ。

ふと、ちよ子が眼を開いた。

『ねえ、あんた、弟もどうかしなければいけない……お母さんだつて、早く家へ連れて來たいんだけどもねえ……』

ほつと溜息をからませるやうに言つた。そしておれの顔をまじ〳〵と見まもつた。

充分におれに氣をかねて、やつと言つた言葉だとはおれによくわかつた。

『おれもそのことを考へてゐたのだよ……。』

輕くから應じて、おれは圍爐裡のなかへ眼を落した。

三次郎、母親——おれの收入は限られてゐる……から思ふと、見る〳〵おれの心持は暗くなつた。果しない暗さのなか

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を、たゞわけもなくもがくやうな苦痛を感じて來た。
……そして、感情だけが、いたづらに燃えて來る。
『なんてい世の中だッ！』
思はずから叫び散らしたくなる。

その日から四五日後——。新聞を入れた袋を小わきにかい込んで、おれは夕暮れの町に飛出した。
手足の冷たさが、あたまのしんまでぴいんと突き透るやうな氣がする。往來は鐵板のやうに固く、そしてなめらかに凍つてゐる。そのうへに、まんべんなく雪がかぶさる。その雪を蹴散らすやうにして、おれはトツ〳〵と駈ける。
……知らず〳〵にからだにぬくもりが出てくる、雪のなかに晒してゐる面や耳がポツ〳〵とほてつてくる。
ふと——その背から、たてがみ、眉毛まで眞白にして、時々フーと白い息を吐いて、首をふかく垂れたまゝ、默々と歩く駄馬がおれの眼に入つた。
あへぎ〳〵生きてゐる、駄馬のやうな生活をしてゐる人間が、そこにも、こゝにも、至るところにうごめいてゐるのがおれのあたまに見えて來た。おれは今更に、足を止めてしみ〴〵と駄馬を見送つた。
——ちよ子のかりそめの風邪が、最う肋膜になつてゐる。
『もしや肺病になりやしないか？』
かうした豫感が、どうしておれのあたまにははたらかずにゐよう。
『拘留されたのが原因だ！』
ハツキリさうわかつてゐる。

そのやうにわかつてゐながら、おれはどうすることが出來るといふのか！。

うしろから、『あぶねいッ！』と叫ばれてハッとわれにかへつた。箱橇を押して來た俥夫の聲である。

その箱橇がつばめのやうにおれのかたわらをすり拔けてゆく。

雪はまんべんなく鼻や口を塞ぐ。

町には最うまばらに灯がはいつた。

人の心を壓しつぶすやうに蔽ひかぶさつてゐる夕暮の空が、刻々、薄暗さを濃くする。

右に、左に、ぽん〳〵と新聞を投り込みながらおれは駈ける。

……ふと、おれのあたまに、あくまで警察の辨當を喰ふまいとした、ちよ子のいぢらしい姿が見えてくる。署長に喰つてかゝつた場面や、なぐられてもだまりこくつた姿や――、想像のなかに明瞭に浮んでくる。

『ちよ子は偉かつた！』

おれはかう思ふ。そして、肺病になつたら？……。

おれの胸は熱して、痛くなつて來た。

『ちよ子ッ！』

おれの心で力いつぱいかう叫ぶ。

かたわらの大きな呉服屋が眼に入る。するおれは機械のとやうに左手で新聞をビーッとこきあげてから、右手はひとりでにその新聞をポンと店へ投り込んでゐた……。

眞黒な夜の空を、がむしやらに吹き荒れる風に載せられて飛ぶ雪が、恐しい力で襲ひかゝるやうに紙窓を叩きつける。

おれは圍爐裡の傍にうづくまつて、煤けたランプの下に憂欝な自分の心持を凝視めてゐた。……すると一しきり、此のちつぽけな家までかツさらつてゆくやうな烈しい風が煽り立つて、ワアツとわめきながら遠くへ駈け去つた。

ちよ子の寢息がかたわらにある……。

それは丁度、水の底から表面の渦巻を仰ぐやうに、今まで自分の眼に映つて來た『世の中』といふものをあたまのなかに描き出して見る。するとなにかしら明瞭にわかつて來たやうな氣がする。

ちよ子が寢返りを打つたので、思はずわれにかへつてその顏を見る。その額から、頬骨の出てゐるあたりに、なんとも言へない、若い女と思はれない生活の疲れが浮き出て見える。

母や弟とわかれ〴〵になるまで、ちよ子はどんなに生活の辛さをなめて來たことか。

……可愛いらしく結ばれた口元にだけ、多少害はれない若さがたゞよつて見える。その油毛のない、バサ〴〵な髪を見るやうに、からだは最う、荒み果てゝゐる。それを思ふことはおれにとつてたまらないことである。さうして、ふみにじられたからだを、おれは今、自分のものとして抱いてゐる。いたわつてゐる。

――そしてちよ子は今、自分によつて幾分か生活の疲れを休めてゐるのだ。充分に安息をあたへなければならない、その時！ 肋膜になつてゐる。

何といふ事だ！

『最うかうしちやアゐられない！』

何事かしずにゐられないといふせつぱつまつた氣持が湧いてくる……。

おれはさうした、目茶苦茶に燃ゆてくる感情を壓さへて、なにかしら、苦痛を呑み込むやうにとにかく眼を瞑つた。

ゴーツと家のまわりをとりまいて流れてゆく風の隙をくゞつて、ふと、おれの耳に半鐘の鳴るのが聞えて來た。

犬がどつかでしきりに吼え立てる。

『ハテナ？』

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と思つて、耳を澄ましてゐるうち、二三ケ所で一時に半鐘を叩きはじめた。

『火事だ！ 火事だ！』

誰ともなく外でわめいたものがある。

近所で、戸をガタピシさせながら、あはてゝ飛び出す氣勢がする。波止場の方の工場の氣笛が、獸が悲しさうなうめき聲を發するやうに鳴り出した。

『ちよ子火事だ！』

先づ、ゆり起しておいて、すばやく家の外に飛び出して見た。

不思議におれの胸は高鳴る……。空の半ばは最う火事の反映で明るくなつてゐる。雪はチラ〳〵と頬にふりかゝる。見える。火が見える。十町ばかりはなれた、黒い人家の屋根の一角を染めて、黒煙りのなかから焔の舌かチロ〳〵と吐き出されてゐる。

ゴーツと風が煽り立つて、雪で眼や口がふさがれる。それでもかまはず、おれは延びあがつて、なほも火の手のあがつてゐる方を見つめる。

雪のなかをまろぶやうに駈けてゆく人の影かある。

家のなかではちよ子がしきりにおれを呼びたてる。

おれの心持は何んといふ變になつてゐることだらう。

大きな家が焔に化して、燒け落ちる樣が、非常に美しいものに思ひ描かれてくる。胸の鼓動はます〳〵高鳴る。

……おれはいきなり、ものをも言はず家のなかに引返して、あはてゝマントをさがした。

『此處は大丈夫だ、一寸見て來るからな！』

かうちよ子に言葉をかけるといつしよに、おれの身體は最う家の外に出てゐた。

遠く仰ぐと、火はます〳〵廣がつてゆくやうである。焔の舌がたけり狂ふやうに雪空を舐めまわすのが、刻々明瞭にな

つてくる。『阿鼻叫喚！』かうした言葉ですぐ想像されるやうな場面がおれの眼にさながらに見えてくる。

おれは駈け出した。雪の路をまろぶやうに駈け出した。半鐘はます〳〵はげしく叩かれる。警笛はしつきりなしに、悲しくうめくやうに鳴らされてゐる。雪のなかを飛ぶやうにあちこちから人々が驅け出してゐる。

おれの心のどつかで叫ぶ。

『もつと燃えてくれ！　もつと燃えてくれツ！』と……。

なにかも燒き拂はれたならどんなに快い氣持だらうと思ひながら、おれはひた走りに走つてゐるのだ……。

（十二、二、十一）

◇既成壇の反逆兒◇三月號の盛觀◇

新興文學

□新社會と建設新興文藝……小島徳彌
□社會詩人出でよ……福田正夫
□プロレタリア治下の藝術……山內房吉
□純文藝の立場から……林政雄
□海外文藝その折々……宮島新三郎
□文壇のダダヰスム……津田光造
□民衆藝術の功過……川崎長太郎
□文藝雜感……伊福部隆輝
□新春の雜誌から……小島健三
□文壇革命の日……岡田光一郎
□藤井眞澄論……內藤石渡 川崎春二

◆文壇時語……新進四氏
◆新春日記抄……尾崎士郎
◆蛇を燒く……林信一
◆發狂詩人……米田曠
◆稻妻……中西悟堂
◆わたしの蟻……赤松月船
◆眞間の里……吉植庄亮
◆霧夜……山口不二花
◆霜凍る道……高梨直郎
◈天文臺◈暖爐の前

□懸賞戲曲大募集
□每號文藝募集有

創作五篇

野呂間の獨語（小說）……宮島資夫
ハ、ハ、ハ（小說）……高橋新吉
何處へ行く（小說）……山川亮
囚人手記（推選）……齋藤憲爾
監獄部屋（戲曲）……渡平民

東京市麴町區內幸町
電話銀座二五六〇
電話銀座三七五四
新興文學社
定價六十錢送料二錢
振替東京六二一八〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

前號目次

水平社運動の經過……………………
水平社とは？……青十字凡人
或る夜のこと　平野小劍
水平社訪問記……佐野學
蒸し返しの過激法案…………………
飢えたる露西亞の兒童を救へ……………
黑煙……中西伊之助
電車に乘つた夢……細井和喜藏
虛無主義者と性の執着……一氏義良
唯物論と神秘主義……武藤直治
無產階被運動のＡＢＣ……小牧近江
啓明會運動……日野樹
來るべき白兵戰の前……松本淳三
「脫船以後」其他……山川亮
名刀の斬味……金子洋文
有島武郞氏の「酒狂」……今野賢三
階級鬪爭と藝術運動……青野季吉
プロレタリア作家の自家撞着……津田光造
□世界欄——犇人欄…………………
□表紙及びカツト………柳瀨正夢

編輯後記

無產婦人運動號の編輯には、山川菊榮女史の多大なる援助を深謝する。原稿が充滿して、普通號では迚も這入らなかつた。よつて、本號は特別號とした。價を十錢あげた。讀者諸君の諒察を乞ふ次第だ。その代りには、何時になくいゝ雜誌だと、編輯同人も自信してゐる。

四月號は、朝鮮同志號として、新たに陣容を立てゝ突進する積りである。

尾崎士郞君から、平林初之輔に宛てた原稿が來てゐるが、平林は御承知のとほり病中であり、本號には間に合はなかつた。四月號には問答共に揃ふて載る筈である。尾崎君に一言謝し、讀者諸君に豫告す。尙、鈴木茂三郞、中西伊之助君の原稿が、締切後到着の爲め本號に載らなかつたことを謝す。

定價　一部三拾錢◇半年前金一圓八拾錢◇一年前金三圓六拾錢御註文はすべて前金のこと◇代金の領收は雜誌發送を以てする◇送料內國壹錢外國四錢

廣告　廣告及廣告料については直接本社へ問合せを乞ふ

宛先　寄贈、通信購讀申込及び送金、其他本誌に關する一切の御用向書籍雜誌等の寄贈は凡て「種蒔き社」宛

締切　每月五日

大正十二年二月廿八日印刷納本
大正十二年三月一日發行

東京府下千駄ヶ谷穩田百一番地
發行人編輯人
印刷人　今野賢三

東京市神田區今川小路一丁目一番地
印刷所　同工社

東京府下千駄ヶ谷穩田百一番地
發行所　種蒔き社
振替口座東京五九三八七

大賣捌　東京堂　上田屋　北隆館　至誠堂　東海堂

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

黑田禮二著

蝙蝠日記

新しい革命獨逸の苦悶と憂鬱と希望とを、このように生々と描き得た通信は、何處にも現れてゐない。表面的な政治的事實に捕はれたり、數字を無意味に羅列したり、新しいことであつても價値のない事實を仰々しく竝べて獨逸を紹介する先生達はちと黑田君の深刻な社會心理的觀察と流麗な藝術家的取扱ひとを見倣ふがよい。(佐野學氏『序』より)

西洋の裏長屋から
日本倶樂部の一夜
『スツルム』運動
ベッテイとエムミイ
氣違珈琲店
亞歷山廣場へ
泥棒市
或る日の朝
亞米利加踊り
「コークス」
藝術避難所

再版發賣

背クロース 菊半截美本　定價 一圓九十錢　送料十二錢

東京神田今川小路
大阪市三休橋南詰
大鐙閣發行
振替 東京三三六一八 大阪二七一五五

種蒔く人 第三年第四卷第十七號 (大正十年十二月一日第三種郵便物認可) 大正十二年二月二十八日印刷納本 大正十二年三月一日發行

本號定價四十五錢

種蒔く人 第三年第四卷第十七號 （大正十年十二月一日 第三種郵便物認可） 大正十二年二月二十八日印刷納本 大正十二年三月一日發行

本號定價四十五錢

再版發賣

菊半截美本

送料十二錢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA